

行政評価調書

事務事業名	ヒューマンライフシンポジウム	評価初年度	平成 29 年度
		担当部署名	男女平等参画課
実施主体	水戸市	担当者名	安島 (TEL: 226-3161)
第6次総合計画上の施策項目	コード	事業の根拠法令等	
大項目	市民と行政との協働による自主・自立した「みと」づくり	4	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 1, 2, 4 名称 男女共同参画社会基本法16条, 水戸市男女平等参画基本条例14条, 水戸市男女平等参画推進基本計画 (第2次)
中項目	市民の多様な活動の推進	1	
小項目	男女平等参画社会に向けた活動の推進	5	

1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	H4 年度	②事業の完了予定の有無 (有/無)	無	年度
③事業の概要 (概要) 多くの市民がともに語り合い、ともに考えることにより、さらなる女性の地位向上及び男女平等参画社会の形成に向けての具体的な方策を考えるシンポジウムとする。また、あわせて男女平等参画に関する取組を推進した個人、団体、事業者の表彰式を実施することにより、多くの市民に、男女平等参画推進に関するロールモデルを周知することにより、男女平等参画社会実現のための機運を高める機会としている。 (主催) 水戸市 (委託先) 特定非営利活動法人M・I・T・O21				
④事業の目的				
ア【対象】誰を(何を)対象に 市民		対象者 (平成29年4月1日) 約27万人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 シンポジウムを開催することにより、男女平等参画について広く市民及び事業者等の理解と関心を深めるとともに、男女平等参画推進に関する活動や取組が積極的に行われるようにする。				
⑤成果指標 (市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)				
成果指標 1				
指標	シンポジウム参加者数	説明	各年度におけるシンポジウムの参加者数	
成果指標 2				
指標	参加者へのアンケート調査での満足度結果	説明	参加者を対象にしたアンケート調査において、シンポジウム内容の満足度を示した割合	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 水戸市が主催となり、シンポジウムの開催に当たって、参加申込受付以外の主たる業務について、業務委託を行っている。(委託先) 特定非営利活動法人M・I・T・O21				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 多くの市民や事業者等に対し、あらゆる場における男女平等参画の取組を推進するため、ともに考える機会を提供するため、毎年9月を水戸市男女平等参画推進月間として啓発活動を行っている。本シンポジウムは月間事業のメイン事業の位置付けであり、より多くの市民の方に参加いただき、男女平等参画推進に向けての市の取組状況や情報提供を発信する場として定着している。例年、シンポジウムに参加された方の7割から8割の方からは、講演内容について満足度が高いとの評価をいただいている。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 シンポジウム参加者数が増加傾向にあり、また、参加者アンケートにおいても、内容の満足度割合の数値は高まっている。このことから、男女平等参画の課題や問題については、普段から身の回りであっても、見えづらく、分かりにくいことが多いため、男女平等参画に関するポイントを分かりやすい視点でとらえて、本市から市民に向けて発信する場であるシンポジウムは有効である。また、市民の主体的な活動を促進する上で有効である。				
⑨類似事業 (民間における類似事業、市が実施している類似事業) 類似事業なし				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察 (市直営⇒民間・NPO, 実行委員会⇒市直営, 民間・NPO) 当シンポジウムは、平成4年から実施し、今年で25回目になるが、実行委員会が実施していた経緯があり、平成19年からは、現在のM・I・T・O21に業務委託をすることによって、効率化を図った。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 シンポジウム参加者数（人）			成果指標 2 参加者へのアンケート調査での満足度結果（満足と回答した割合）		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
26年度	270	303	112.2	70	73	104.3
27年度	300	246	82.0	75	79	105.3
28年度	300	283	94.3	80	84	105.0
29年度	300			80		
30年度	300			80		
①目標値の根拠	会場の定員数			課内方針		
②数値で表せない効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体の支援・育成</li> <li>・市民の意識高揚</li> </ul>					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	予算内訳（千円）		設計額内訳（千円）		
H 26 予算	国県支出金		旅費		4,818.48
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	1,460	役務費		
			委託料	1,460	
	1,460		使用料・賃借料		
			その他		
H 27 予算	国県支出金		旅費		5,934.96
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	1,460	役務費		
			委託料	1,460	
	1,460		使用料・賃借料		
			その他		
H 28 予算	国県支出金		旅費		5,159.01
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	1,460	役務費		
			委託料	1,460	
	1,460		使用料・賃借料		
			その他		
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	1,460	役務費		
			委託料	1,460	
	1,460		使用料・賃借料		
			その他		

③コスト削減の取組

シンポジウム参加者からの要望が高い託児の受入れ人数枠を4名から20名に増やすため、これまで作成していたヒューマンライフシンポジウムの記録集を、平成29年度からは取り止める等、予算総額の増額を抑制した。

4 1年目評価

(1) 1次評価 (内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

事務事業の評価	必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	○	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	男女共同参画社会基本法第16条、水戸市男女平等参画基本条例14条
		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。		・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	○	④対象者のニーズが高い事業である。		・1-⑦必要性	男女平等参画社会に向けた啓発活動の機会であり、参加者の満足度は高く、対象者のニーズが高い事業である。
	○	⑤民間、NPO等に類似事業はない。		・1-⑨類似事業	男女平等参画に関する取組を推進した個人、団体、事業者を表彰し、男女平等参画に対して分かりやすい視点から広く一般市民を対象とした講演会を実施する類似シンポジウムは、民間、NPO等にはない。
	合計			評価結果	A
	3	点			
	有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。		・2-成果指標	
○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。		・1-⑧有効性 ・2-成果指標	男女平等の課題を分かりやすく市民に伝えるとともに、市民の主体的な活動を促進するために、イベントの継続が有効である。	
	③成果指標の実績が目標に達している。		・2-成果指標		
○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。		・1-④事業の目的	広く市民に周知し、全市民を対象としている。	
○	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。		・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	男女平等参画を推進する市民団体に業務を委託しており、手段が適切である。	
合計			評価結果	A	
3	点				
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄	
	①効率性向上の余地はない。		・3-①行政コスト ・別紙1 事業費内訳		
○	②コスト削減への取組を実施している。		・3-③コスト削減の取組	毎年度、事業内容を精査し、必要な項目に予算を配分して取組んでいる。	
○	③他の主体が実施するよりも効率的である。		・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	経験豊富な市民団体に事業を業務委託しており、シンポジウム運営のノウハウも兼ね備えることから、スムーズな運営を図ることができる。	
○	④市の事務事業で類似したものではなく、他の事業と統合することは難しい。		・1-⑨類似事業	男女平等を主題とした大規模啓発事業は、他にないことから統合すべきものがない。	
○	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。		・3-②単位当たりの行政コスト	来場者1人当たりの行政コストは低くなっている。	
合計			評価結果	A	
4	点				

イ 評価結果

①今後の方向性	1	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針
方向性		
1 現状のまま継続		
2 見直しの上で継続		
ア	主体を代える（実施主体を代える）	
イ	手段を改善する（実施の手段を代える）	
ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	
エ	簡素化する（規模を縮小する）	
オ	統合する（類似事業を統合する）	
3 休止，廃止		

②課題と解決方法（「見直しの上継続」及び「休止，廃止」の場合，記入する。）

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価  
委員会による意見

今後の方向性	
評価する点，改善すべき点	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	
--------	--

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止，廃止」の場合に記入する。）

改善目標 (又は休止，廃止の方向性)	
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況

--



(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価 (内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

## (別紙1-②)事業費内訳(委託事業)

## (予算)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度予算	27年度予算	28年度予算	29年度予算		
1 委託料	1,460,000	1,460,000	1,460,000	1,460,000	-	
2 寄附						
3 イベント協賛						
4 参加費						
5 商品売上						
6 諸収入						
合計	1,460,000	1,460,000	1,460,000	1,460,000	-	

## (設計額)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度予算	27年度予算	28年度予算	29年度予算		
1 報償費 (講師謝金, 司会, 手話通訳者等)	694,000	700,000	800,000	940,000	100,000	女性の参加率が高い中, 男性や若者世代にも積極的に参加いただく広い集客を目指し, 男女平等参画推進に向けて, 効果的な事業実施を図ることができる講師を招くため。
2 消耗品費 (看板, 花代等)	90,000	100,000	100,000	100,000	-	
3 食糧費 (係員膳等)	26,000	50,000	60,000	60,000	10,000	
4 会議費 (会議に伴う諸経費)	-	30,000	10,000	20,000	-20,000	
5 印刷製本費 (ポスター, チラシ, 記録集他)	400,000	350,000	350,000	160,000	-	
6 通信運搬費 (案内チラシ等発送)	40,000	40,000	50,000	50,000	10,000	
7 筆耕翻訳料 (速記料)	73,000	50,000	65,000	-	15,000	
8 託児等謝金 (シルバー人材センター)	-	-	-	75,000	-	
9 使用料及び賃借料 (会場使用料, 駐車料)	137,000	80,000	10,000	40,000	-70,000	開催場所の変更のため(予算上はH28年度から変更予定であったが, 実際はH27年度から変更)
10 手数料 (送金手数料)	-	4,000	5,000	5,000	1,000	
11 予備費 (保険料等, その他)	-	55,500	9,500	9,080	-46,000	参加者駐車場負担の廃止
合計	1,460,000	1,459,500	1,459,500	1,459,080	-	

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 ヒューマンライフシモンボジウム

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
水戸市	主催	本部、舞台設営・運営、受付、表彰式、広報等
NPO法人M・I・T・O21	委託先	本部、会場設営、舞台設営及び理型、受付及び会場案内、配給、講師出席依頼等、ポスター等作成、広報活動、その他シモンボジウム運営に関すること

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日：9月11日)

	人数	主な業務
市職員	6人程度	本部1人、舞台運営2人、表彰式2人、広報等1人
委託団体	31人程度	本部3人、進行及び舞台運営8人、駐車場1人、講師接待3人
シルバークラスセンター	2人程度	記録1人、受付及び会場案内10人、救護係1人、場内整理2人、庶務2人
計	39人程度	託児係2人

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年6月	主催者からの開催概要説明
平成28年6月	第1回企画・運営委員会(全体テーマ、講師等検討、担当別役割分担決定)
平成28年6月	第2回企画・運営委員会(全体テーマ等決定、講演形式決定、講師出演依頼、ポスター等検討)
平成28年7月	第3回企画・運営委員会(ポスター、チラシ発注、広報みと原稿案、マスコミ等取材依頼)
平成28年8月	第4回企画・運営委員会(ポスター等納品、開催通知発送、プログラムの検討、講師打合せ)
平成28年8月	第5回企画・運営委員会(全体スケジュール決定、託児手話通訳者依頼、進行表作成等)
平成28年9月	第6回企画・運営委員会(最終確認、当日の係準備と確認、プログラム納品)
平成28年9月	シモンボジウム前日準備(各係の最終打合せと確認、配布資料の準備、看板類設置)
平成28年9月	ヒューマンライフシモンボジウムの開催
平成28年10月	第7回企画・運営委員会(アンケート集計、速記原稿納品、記録集担当作業開始)
平成28年10月～2月	記録集編集(編集会議4回、講師への確認作業、印刷業者への発注)
平成28年3月	第8回企画・運営委員会(全体報告、記録集発送作業)

(これまでの開催実績)

年月日	第○回	会場名	参加者数(人)	(A)係員数(人)	(B)係員数(人)	総数(人)(A+B)
平成24年9月	第20回	エクセルホール	220	20	35	255
平成25年9月	第21回	エクセルホール	295	25	35	330
平成26年9月	第22回	エクセルホール	303	30	35	338
平成27年9月	第23回	みと文化交流プラザ	246	26	35	281
平成28年9月	第24回	みと文化交流プラザ	283	28	39	322

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員(市職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
土浦市	市直営	土浦市男女共同参画センターフェスティバル	平成28年度	97	24	121	160	市費、土浦市女性団体役員会との共催
ひたちなか市	市直営	ハーモニーひたちなかフォーラム	平成28年度	93	7	100	150	市費、ハーモニーひたちなかと共催
日立市	実行委員会	男女共同参画をすすめるつどい2016	平成28年度	600	50	650	1,100	市補助金
笠間市	市直営	ワークライフバランス講演会	平成28年度	121	27	148	264	市費
つくば市	市直営	つくば男女共同参画会議「つくば・男女(みんな)のつどい2016」	平成28年度	315	32	347	823	市費
茨城県	県直営	ハーモニートップアップセミナー	平成28年度	380	12	392	1,000	県費 参加対象者：企業の経営者， 参事担当者，市町村長，市議 会議長，女性関連団体，市町 村職員等

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

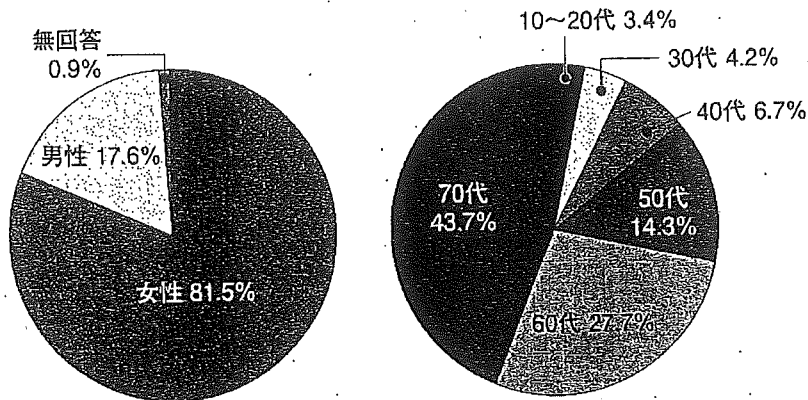
※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。



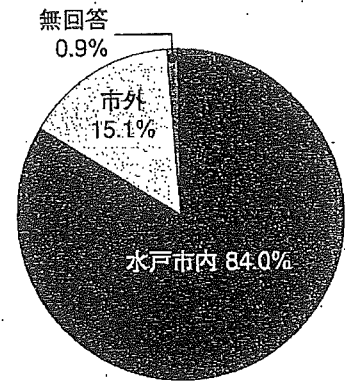
## アンケート集計結果

回答者数 女性 97人 男性 21人 無回答 1人

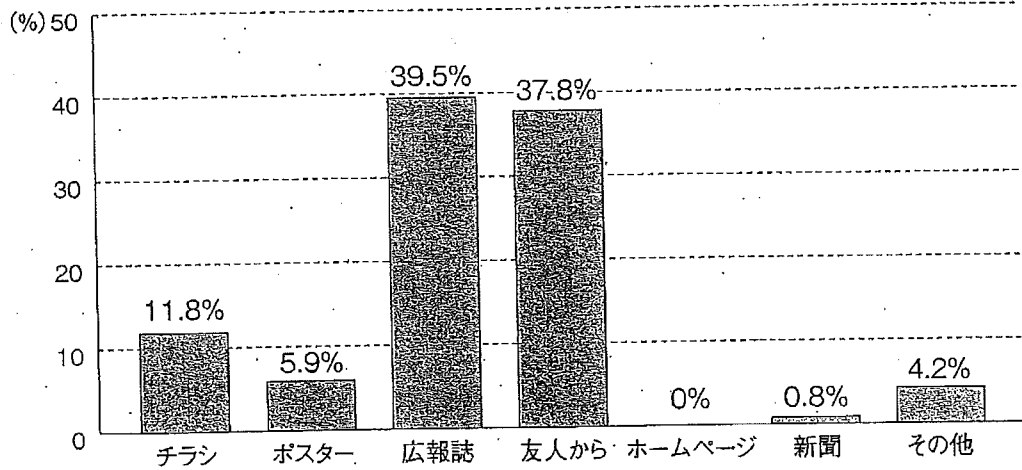
### Q1 男女別・年代別内訳



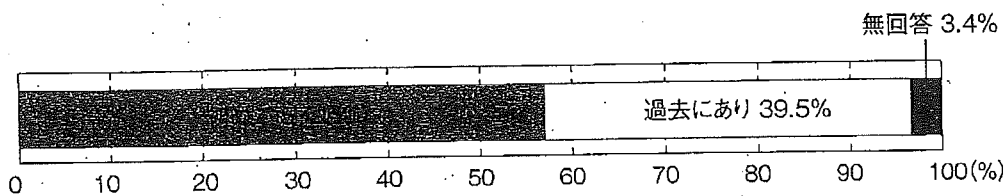
### Q2 あなたのお住まいについて



### Q3 当シンポジウムの開催を何でお知りになりましたか。

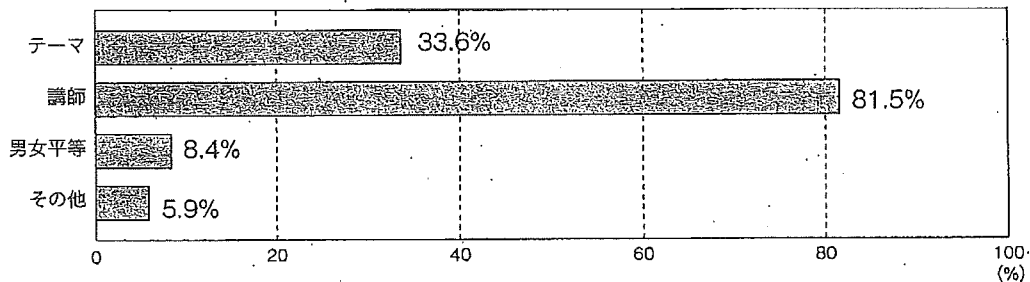


### Q4 これまでに、水戸市男女平等参画課主催の講座に参加されたことがありますか。

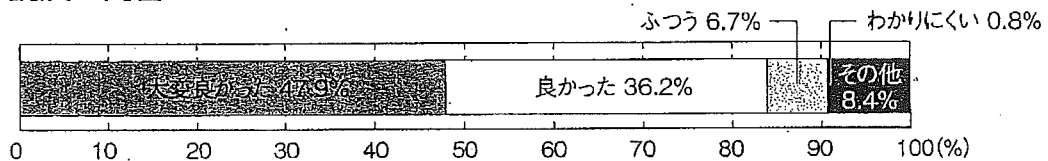




Q5 本日、ヒューマンライフシンポジウムに参加しようと思ったきっかけをお聞かせください。(複数回答あり)



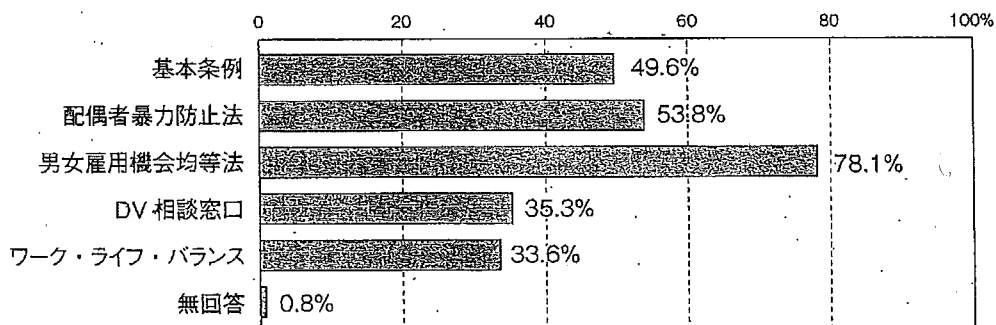
Q6 講演の内容はいかがでしたか。



Q7 本日のシンポジウムについてご感想をお願いいたします。

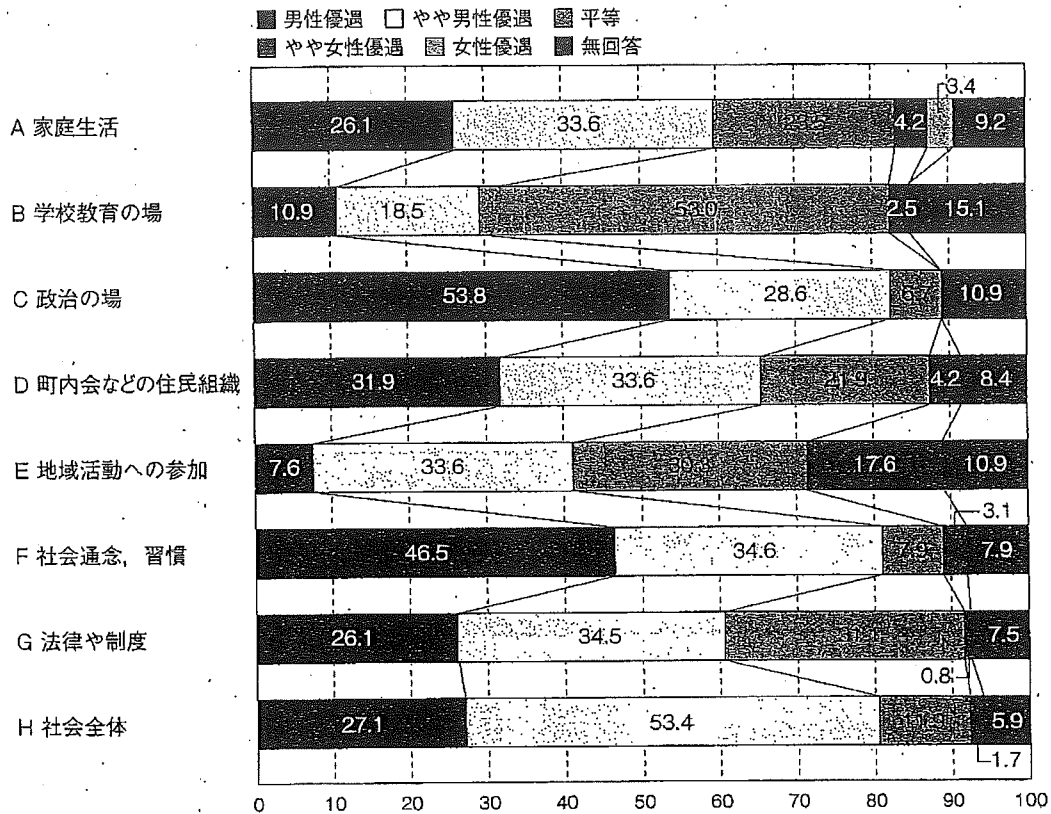
- ・何気ない日常も視点の当て方や切り口によって、分類や決まり作りもでき、納得したり驚いたり。それがよかった。
- ・「男女平等」という内容かと思ってきたが、ハンディ、マイノリティ、人種などすべてに人が平等に生きやすいようにするための気遣いを聞いて今後に活かせたらと思った。
- ・日本文学の話をもう少し聞きたかった。
- ・多面的な考察を、判りやすく、発信していただきました。日頃考えもしなかった方面のお話面白かった。

Q9 次の事柄のうち、御存知のものにチェックを入れてください。(複数回答可)

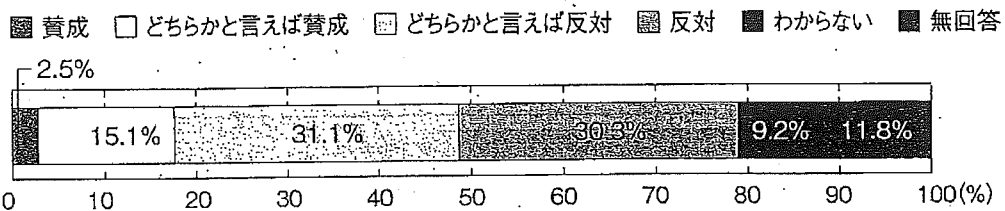




Q10 A～Hにあげる分野では、男性と女性ではどちらが優遇されていると思いますか。



Q11 「男性は仕事、女性は家庭」という考えがありますが、あなたはどのように感じますか。



# 男女平等参画推進月間ポスター

水戸市では、男女平等参画社会の推進について、広く市民及び事業者の理解と関心を深めるため、「水戸市男女平等参画基本条例」が施行された9月を毎年「男女平等参画推進月間」と定めています。

## 平成28年度 男女平等参画推進月間

9月  
September

差別なく  
男女で出来る  
いい仕事



9/3 男女平等参画映画祭  
上映作品「ベトナムの風に吹かれて」  
みと文化交差点プラザ6階大会議室 午後1時30分～

9/10 地域の中の男女平等  
みと文化交差点プラザ5階501研修室 午後2時～

9/11 ヒューマンライフシンポジウム2016  
女と男未来へつなぐメッセージ  
みと文化交差点プラザ6階大会議室 午後1時30分～  
講師/ロバート キャンベル 氏  
(日本文学研究會・東京大学大学院教授)

9/17 SNSで加速する  
女性の新しい魅せ方・働き方  
みと文化交差点プラザ5階501研修室 午後1時30分～

9/24 女がつくった県婦人会館  
—建設から開館まで—  
みと文化交差点プラザ5階501研修室 午後1時30分～

9/25 自分らしく輝く生き方発見塾パート2  
—高世代の女性(あなた)を元気に—  
エクササイズと笑いヨガ編—  
みと文化交差点プラザ4階404研修室 午後1時30分～

【お問い合わせ】 水戸市男女平等参画課 ☎ 029-226-3161



## 行政評価調書

事務事業名	芸術文化活性化事業	評価初年度	平成 29 年度
実施主体	芸術文化活性化事業実行委員会	担当部署名	水戸市市民協働部文化交流課
第6次総合計画上の施策項目	コード	事業の根拠法令等	
大項目	水戸ならではの歴史、自然を生かした魅力ある「ひと」づくり	3	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 5
中項目	歴史、文化の継承と振興	1	
小項目	芸術・文化の振興	2	
		名称	

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	H19 年度	②事業の完了予定の有無(有/無)	無	年度
③事業の概要 (概要) 本事業は、水戸市の文化芸術の発信拠点である水戸芸術館をメイン会場とし、質の高い芸術事業を実施する事業である。継続的に実施することより、市民が芸術を鑑賞し、参加し、あるいは創造する主体となることを身近に感じられるような環境づくりを目指している。 また、東日本大震災により、市民が受けたストレスを、芸術の持つ寛容性、感受性の創造、他者との共感といった作用に触れることで、生きる喜びや希望、心の安らぎへと転換させていく「精神的復興」を担っている。 平成26年度 オペラ「銀のロバ」、こども・こらぼ・らぼ2014, sweet&swing楽しいジャズコンサート 平成27年度 ベルリンフィルの名手とベルリンと水戸の子どもたちの交流コンサート, 青木FUKIドラマティックコンサート 平成28年度 こども・こらぼ・らぼ2016 平成29年度 青木FUKIドラマティックコンサート (主催) 芸術文化活性化事業実行委員会 (市補助金)				
ア【対象】誰を(何を)対象に	対象者(平成29年4月1日)			
市民	約27万人			
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 芸術文化活性化事業を通して、質の高い芸術を身近に感じる機会の提供に努めながら、芸術文化に親しむ市民の増加を推進する。				
⑤成果指標(市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)				
成果指標 1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標 2				
指標		説明		
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 実行委員会が水戸芸術館など市内の文化施設で各種イベントを開催し、市民が興味を持ったプログラムへ参加する。専門家の意見を受けて事業計画を策定しており、手段が適切である。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 世界に誇れる芸術・文化の発信拠点である水戸芸術館など市内の文化施設を会場とし、市民の皆様は質の高い芸術を気軽に楽しむことのできる機会を提供することで、次世代を担う子どもたちをはじめ、芸術を楽しむ素養を育み、豊かな感性や表現力の醸成につながることから、必要性が大きい。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 毎年趣向を凝らしたイベントを開催しており、こども・こらぼ・らぼの事業についてはリピーターも増加しており、イベントへの関心が高まっている。参加者の声もイベントの継続を求める声が増加していることから有効である。				
⑨類似事業(民間における類似事業, 市が実施している類似事業) 類似事業なし				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察(市直営⇒民間・NPO, 実行委員会⇒市直営, 民間・NPO) 芸術文化活性化事業は、水戸市の芸術文化の発信拠点である水戸芸術館を主会場として、質の高い芸術事業を実施しており、美術・音楽・演劇等の個別イベントを開催していることから、学識経験者などの専門家構成された芸術文化活性化事業実行委員会による開催が最も効率的である。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
26 年度	未設定	1,557	—			
27 年度	700	685	97.9			
28 年度	300	811	270.3			
29 年度	300					
30 年度	300					
①目標値の根拠	実施会場の収容数			課内方針		
②数値で表せない効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災からの「心の復興」の実現</li> <li>・市民の意識高揚</li> </ul>					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 26 決算	国県支出金	2,043	旅費		1,312.14
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源		役務費		
			委託料		
	2,043		使用料・賃借料		
			その他	2,043	
H 27 決算	国県支出金	1,400	旅費		3,459.85
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	970	役務費		
			委託料		
	2,370		使用料・賃借料		
			その他	2,370	
H 28 決算	国県支出金	1,093	旅費		1,496.92
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	121	役務費		
			委託料		
	1,214		使用料・賃借料		
			その他	1,214	
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	450	役務費		
			委託料		
	450		使用料・賃借料		
			その他	450	

③コスト削減の取組

--

4 1年目評価

(1) 1次評価（内部評価） ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○		④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	イベント来場者の満足度は高く、対象者のニーズは高い。
○		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑩類似事業	低額な料金での入場・来場を実現しており、事業内容からもこのような類似事業はない。
合計			評価結果	B
2	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
○		②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑧有効性 ・2-成果指標	市民の主体的な芸術文化活動を促進するために、イベントの継続が有効である。
		③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	
○		④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	全市民を対象にしたイベントである。
○		⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	専門家の意見を受けて事業計画を策定しており、手段が適切である。
合計			評価結果	A
3	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト ・別紙1 事業費内訳	
		②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	
○		③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	芸術文化活性化事業実行委員会により水戸芸術館を主会場として、質の高い芸術事業を低額な料金で実施できている。
○		④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑩類似事業	類似事業がない。
○		⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	来場者1人当たりの行政コストは前年度より低くなっている。
合計			評価結果	A
3	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	1	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針
方向性		
1 現状のまま継続		
2 見直しの上で継続		
ア	主体を代える（実施主体を代える）	
イ	手段を改善する（実施の手段を代える）	
ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	
エ	簡素化する（規模を縮小する）	
オ	統合する（類似事業を統合する）	
3 休止，廃止		

②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止，廃止」の場合，記入する。）

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価  
委員会による意見

今後の方向性	
評価する点，改善すべき点	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	
--------	--

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止，廃止」の場合に記入する。）

改善目標 （又は休止，廃止の方向性）	
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業)

## (収入)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 補助金	2,042,998	2,370,000	1,214,000	450,000	-1,156,000	事業内容による補助金変動のため
2 寄附						
3 イベント協賛						
4 参加費						
5 商品売上	1,645,233	1,199,500	431,800	390,000	-767,700	入場料収入が減少したため
6 諸収入	153,654	90	7	1,000	-83	
7 負担金			707,013		707,013	共催者負担金を徴収したため
合計	3,841,885	3,569,590	2,352,820	841,000	-1,216,770	

## (支出)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 旅費						
特別旅費						
2 報償費	35,000	35,000	28,000	42,000	-7,000	
謝礼金等	35,000	35,000	28,000	42,000	-7,000	
3 需用費	2,092		400		400	
消耗品費	1,000		400		400	
食糧費	1,092					
4 役務費	2,828		3,290	10,000	3,290	
通信運搬費	1,208		2,750	6,000	2,750	
手数料	1,620		540	4,000	540	
5 委託料						
6 使用料及び賃借料						
7 その他	4,296,611	3,533,251	2,310,813	789,000	-1,222,438	
事業費	4,296,611	3,533,251	2,310,813	789,000	-1,222,438	事業内容の変動のため
合計	4,336,531	3,568,251	2,342,503	841,000	-1,225,748	

## (収支)

	金額(円)			
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計	-494,646	1,339	10,317	

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 芸術文化活性化事業

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
芸術文化活性化事業実行委員会 公益財団法人水戸市芸術振興財団 水戸市	主催	本部, 事業運営, 広報

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日: 8月20日, 21日)

市職員	人数	主な業務
水戸市芸術振興財団	2人程度	記録, 広報
	59人程度	会場設営, 企画運営
計	61人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年7月	第1回芸術文化活性化事業実行委員会 (顔合わせ, スケジュール確認, 役割分担確認等)
平成28年8月	こども・こらぼ・らぼ2016実施
平成29年2月	こども・こらぼ・らぼ2016記録集完成
平成29年3月	平成28年度第2回芸術文化活性化事業実行委員会

(これまでの開催実績)

年月日	事業名	会場名	参加者数 (A)	係員数 (B)	総数 (A+B)
平成24年7月10日	「ペーパー・ジュニア・ミート」カクリネクト リサイタル	水戸芸術館	267	22	289
平成24年7月21日	オペラ「ピノキオ」	水戸芸術館	521	24	545
平成24年8月18日～19日	こども・こらぼ・らぼ2012	水戸芸術館	430	63	493
平成25年9月14日	ワルター・アウター フルート・コンサート	水戸芸術館	477	22	499
平成25年10月20日	「パロック音楽で楽しむ三匹の子豚」	水戸芸術館	521	24	545
平成25年11月17日	sweet&swing楽しいジャズコンサート	水戸芸術館	433	22	455
平成26年6月14日	オペラ「銀のロバ」	水戸芸術館	317	24	341
平成26年8月9日～10日	こども・こらぼ・らぼ2014	水戸芸術館	648	63	711
平成27年1月31日	sweet&swing楽しいジャズコンサート	水戸芸術館	592	22	614
平成27年7月19日	「ペーパー・ジュニア・ミート」カクリネクト リサイタル	水戸芸術館	442	22	464
平成27年9月5日	青木RUIドラマティックコンサート	水戸芸術館	243	17	260
平成28年8月20日～21日	こども・こらぼ・らぼ2016	水戸芸術館	811	61	872

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員 (市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
						0		
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。



## 行政評価調書

事務事業名	市民スポーツ大会	評価初年度	平成 29 年度
		担当部署名	市民協働部スポーツ課
実施主体	各地区実行委員会	担当者名	石井 306-8136
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	市民と行政との協働による自主・自立した「みと」づくり	4	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 4
中項目	市民の多様な活動の推進	1	
小項目	スポーツ・レクリエーション活動の推進	4	
		名称	水戸市スポーツ推進計画

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	S40 年度	②事業の完了予定の有無 (有/無)	無	年度
③事業の概要 (概要) 地区内での交流と親睦を深めること及び健康の維持増進や体力づくりの意識を高めることを目的に、綱引き、玉入れ、対抗リレー等の多様な種目設定により、市内32地区で開催している。多くの市民の皆様に参加いただいているスポーツイベントである。 (主催) 水戸市・水戸市教育委員会・各地区市民センター・内原中央公民館・水戸市住みよいまちづくり推進協議会・水戸市体育協会				
④事業の目的				
ア【対象】誰を(何を)対象に		対象者(平成29年4月1日)		
市民		約27万人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 市民スポーツ大会の開催を通して、市民がスポーツに参加しやすい環境づくりを推進し、市民の体力づくりや健康の維持増進に寄与する。				
⑤成果指標(市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)				
成果指標1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標2				
指標		説明		
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 各地区会において実行委員会を設置し、実施している市民主体のイベントであり、ボランティアを活用するなど効率的な運営を実現している。 なお、広報など一部業務については、スポーツ課が担っている。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 市民スポーツ大会は、老若男女を問わず多くの市民がスポーツに親しめる場及び地域コミュニティを活性化させるものとして必要である。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 少子高齢化が進む中、体を動かすことで健康づくりにつながる場を提供するとともに、多世代との交流の場にもなっており、有効である。				
⑨類似事業(民間における類似事業、市が実施している類似事業) 同規模のイベントでは、他に類似事業は存在しない。				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察(市直営⇒民間・NPO, 実行委員会⇒市直営, 民間・NPO) 市民スポーツ大会においては、市民主体のイベントであることから、各地区が考案した多種多様なスポーツ活動に係る個別種目を実行委員会が実施している。自主・自立したまちづくりのため、その運営には各種目を考案した各地区会等関係者のボランティアによる参画が必要である。そのため、これらの団体等により構成された実行委員会による開催が最も効率的である。				

## 2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
26 年度	60,000	56,436	94.1			
27 年度	60,000	43,251	72.1			
28 年度	60,000	39,223	65.4			
29 年度	60,000					
30 年度	60,000					
①目標値の根拠	課内目標 ※平成27・28年度は雨天により来場者数が少なかった。					
②数値で表せない効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の体力づくりや健康の維持増進</li> <li>・地域コミュニティの活性化</li> <li>・町内会加入の促進</li> </ul>					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

## 3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 26 決算	国県支出金		旅費		149.44
	市債		報償費		
	その他		需用費	178	
	一般財源	8,434	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	8,434		その他	8,256	
H 27 決算	国県支出金		旅費		197.17
	市債		報償費		
	その他		需用費	252	
	一般財源	8,528	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	8,528		その他	8,276	
H 28 決算	国県支出金		旅費		216.17
	市債		報償費		
	その他		需用費	186	
	一般財源	8,479	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	8,479		その他	8,293	
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費	188	
	一般財源	8,504	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	8,504		その他	8,316	

### ③コスト削減の取組

会場設営等については、ボランティア等を活用し、経費削減に努めた。

4 1年目評価

(1) 1次評価 (内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。		・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	市民がスポーツに親しめる場をつくり、地域コミュニティの活性化に寄与しており、必要性がある。
	④対象者のニーズが高い事業である。		・1-⑦必要性	
○	⑤民間、NPO等に類似事業はない。		・1-⑩類似事業	全ての地区で開催される大規模な地域スポーツの大会は他に類似が無い。
合計			評価結果	B
2	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。		・2-成果指標	
○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。		・1-⑧有効性 ・2-成果指標	市民の健康増進や多世代交流につながっており、有効である。
	③成果指標の実績が目標に達している。		・2-成果指標	
○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。		・1-④事業の目的	全市民を対象にしたイベントである。
○	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。		・1-⑩手段 ・別紙2 イベント詳細シート	地域活動を推進する各地区のボランティアが主体的に運営に関わっており、手段が適切である。
合計			評価結果	A
3	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①効率性向上の余地はない。		・3-①行政コスト ・別紙1 事業費内訳	
○	②コスト削減への取組を実施している。		・3-③コスト削減の取組	会場設営にボランティアを活用しており、コスト削減への取組を実施している。
○	③他の主体が実施するよりも効率的である。		・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	ボランティアで構成される実行委員会が運営することが、大会運営上効率的である。
○	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。		・1-⑩類似事業	市の事業で類似したものは無い。
	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。		・3-②単位当たりの行政コスト	
合計			評価結果	A
3	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	1	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針
方向性		
1 現状のまま継続		
2 見直しの上で継続		
ア	主体を代える（実施主体を代える）	
イ	手段を改善する（実施の手段を代える）	
ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	
エ	簡素化する（規模を縮小する）	
オ	統合する（類似事業を統合する）	
3 休止，廃止		
②課題と解決方法（「見直しの上継続」及び「休止，廃止」の場合，記入する。）		

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価  
委員会による意見

今後の方向性	
評価する点，改善すべき点	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	
--------	--

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止，廃止」の場合に記入する。）

改善目標 （又は休止，廃止の方向性）	
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価（内部評価）

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価 (内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

(別紙1-①)事業費内訳(市直営事業)

(収入)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 国庫支出金						
2 市債						
3 その他						
4 一般財源	177,872	251,505	186,345	187,720	-65,160	
合計	177,872	251,505	186,345	187,720	-65,160	

(支出)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 旅費						
特別旅費						
2 報償費						
謝礼金等						
3 需用費	177,872	251,505	186,345	187,720	-65,160	
消耗品費	78,512	147,177	89,685	70,000	-57,492	各地区からのプログラム印刷の要望数が少なかったため
印刷製本費	99,360	104,328	96,660	117,720	-7,668	
4 役務費						
通信運搬費						
5 委託料						
6 使用料及び賃借料						
7 その他						
補助金						
合計	177,872	251,505	186,345	187,720	-65,160	

(収支)

	金額(円)			
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計				

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業)

## (収入)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 補助金	8,256,000	8,276,000	8,293,000	8,316,000	17,000	
2 寄附						
3 イベント協賛						
4 参加費						
5 商品売上						
6 諸収入						
合計	8,256,000	8,276,000	8,293,000	8,316,000	17,000	

## (支出)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 旅費						
特別旅費						
2 報償費						
謝礼金等						
3 需用費						
消耗品費						
印刷製本費						
4 役務費						
通信運搬費						
5 委託料						
6 使用料及び賃借料						
7 その他	8,256,000	8,276,000	8,293,000	8,316,000	17,000	
補助金	8,256,000	8,276,000	8,293,000	8,316,000	17,000	
合計	8,256,000	8,276,000	8,293,000	8,316,000	17,000	

## (収支)

	金額(円)			
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計				

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 市民スポーツ大会

(実施主体等との関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
水戸市	主催	広報
水戸市教育委員会	主催	広報
各地区市民センター・内原中央公民館	主催	企画運営
水戸市住みよいまちづくり推進協議会	主催	企画運営
水戸市体育協会	主催	広報
各地区実行委員会	実施主体	企画運営

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日：10月9日)

	人数	主な業務
水戸市職員	140人程度	本部1人, 各地区見回り6人, 各地区実行委員会事務133人
各地区実行委員会	4,800人程度	各地区の運営
計	4,940人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年5月	各地区会長へ説明資料の配布
平成28年7月	各地区における実行委員会会議
平成28年10月9日	水戸市体育祭市民運動会開催
平成28年10月10日	水戸市体育祭市民運動会開催 (雨天順延地区)

(これまでの開催実績)

年月日	第○回	会場名	参加者数(人)(A)	係員数(人)(B)	総数(人)(A+B)
平成28年10月9日・10日	第55回	各小学校等	39,223	4,940	44,163
平成27年10月10日・11日	第54回	各小学校等	43,251	4,940	48,191
平成26年10月12日	第53回	各小学校等	56,436	4,940	61,376
平成25年10月13日	第52回	各小学校等	54,419	4,940	59,359
平成24年10月14日	第51回	各小学校等	70,916	4,940	75,856

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員(市職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を含めてください。



(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
那珂市	自治会又は自治会と学校	(〇〇小学校合同) 〇〇地区市民運動会	平成28年度					自治会主催のため、市では参加者数等を把握していない。
つくば市	つくば市体育協会	〇〇地区大運動会	平成28年度	1,200	80	1,280	1,040	一部の地区のみで開催している。
ひたちなか市	自治会	市民運動会	平成28年度					自治会主催のため、市では参加者数等を把握していない。
前橋市	各地区体育協会	市民運動会	平成28年度	66,700		66,700		各地区体育協会主催のため係員数及び事業費は把握していない。

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。



## 行政評価調査書

事務事業名	水戸市環境フェア	評価初年度	平成 29 年度
		担当部署名	生活環境部 環境課
実施主体	水戸市 (H26まで) ・実行委員会 (H28から)	担当者名	木村 (内線343)
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	水戸ならではの歴史、自然を生かした魅力ある「みと」づくり	3	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 4
中項目	豊かな自然との共生	2	
小項目	地球環境・生活環境の保全と向上	1	
		名称	水戸市環境基本計画

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	20 年度	②事業の完了予定の有無 (有/無)	無	年度
③事業の概要 (概要) 以前は、環境フェスタとして隔年の開催をしていたが、環境フェアにリニューアルしてイベントの目的を明確にすることによって、内容の充実を図り、地球温暖化やごみの問題等、環境について、市民が考えるきっかけをつくるために開催している。 また、環境問題に積極的に取り組んでいる民間企業及び市民団体並びに農産物の地産地消に取り組んでいる飲食店及び販売店のPRや活動の促進を図る。 (主催) 水戸市環境フェア実行委員会 (市補助金)				
④事業の目的				
ア【対象】誰を(何を)対象に		対象者 (平成29年4月1日)		
市民		約27万人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 水戸市環境フェアの開催を通して、市民の環境に関する意識の醸成を図り、市民が主体的に環境問題について考え、行動できるまちづくりを推進する。				
⑤成果指標 (市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)				
成果指標 1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標 2				
指標	来場者への環境活動の取組に関する意識調査の結果	説明	来場者を対象に、日頃、環境のために取り組んでいることに関するアンケートを実施し、「常に実行している」と回答した方の割合	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 実行委員会が主催する市民主体のイベントであり、環境団体関係者や学生ボランティアの協力等により効率的な運営を実現している。特に、イベントの効果を上げるために、ワークショップや体験型の企画を取り入れている。 なお、会場及びステージ音響の設営等は、業務委託により対応している。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 環境フェアは、環境に関する情報の提供の場として市民の中でのニーズが高く、また、環境イベントとしては県内では大規模であり、他に類似事業は存在しないことから必要性が大きい。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 環境に対する市民の意識を高め、主体的な行動を促進するために有効である。				
⑨類似事業 (民間における類似事業、市が実施している類似事業) 類似事業なし				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察 (市直営⇒民間・NPO, 実行委員会⇒市直営, 民間・NPO) 環境フェアにおいては、地球温暖化やごみ問題等、幅広い環境問題に関する個別イベントを開催しており、その運営には環境団体等関係者のボランティアによる参画が必要である。そのため、これらの団体等により構成された実行委員会による開催が最も効率的である。				

## 2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2 来場者への環境活動の取組に関する意識調査の結果 「常に実行している」の割合（%）		
	目標	実績	達成率（%）	目標	実績	達成率（%）
24 年度	未設定	6,000	—	—	—	—
26 年度	未設定	2,000	—	—	—	—
28 年度	10,000	8,300	83.0	40	41	102.3
29 年度	10,000			45		
30 年度	10,500			50		
①目標値の根拠	過去の実績に基づく数値			課内方針		
②数値で表せない効果	環境問題に関する市民意識の高まり					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

## 3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 24 決算	国県支出金		旅費		1,133.33
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	6,800	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	6,800		その他	6,800	
H 26 決算	国県支出金		旅費		3,496.00
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	6,992	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	6,992		その他	6,992	
H 28 決算	国県支出金		旅費		843.37
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	7,000	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	7,000		その他	7,000	
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	7,000	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	7,000		その他	7,000	

### ③コスト削減の取組

会場の設営に関しては委託により行っているが、当日の運営に関しては学生ボランティアを活用している。  
また、会場を中心市街地で開催し、公共交通機関での来場を呼びかけることにより、駐車場賃借料等のコスト削減に努めている。

4 1年目評価

(1) 1次評価（内部評価） ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	市民が主体的に環境について行動できるまちづくりを推進するために、イベントによる啓発を続けていくことが必要である。
○		④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	環境問題を考えるきっかけを求めている市民が多い。
○		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	千波湖環境学習会等、地域に特化したイベントはあるが、環境関連団体が集結して行うイベントは他にない。
合計			評価結果	A
3	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
○		②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑧有効性 ・2-成果指標	市民の、環境に配慮した活動を促進するために、イベントを実施することは有効である。
		③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	
○		④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	全市民を対象にしたイベントである。
○		⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	イベントの内容に、ワークショップや体験型を多く取り入れ、楽しみながら学べるよう工夫しており、手段として適切である。
合計			評価結果	A
3	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト ・別紙1 事業費内訳	
○		②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	学生ボランティアの活用を図るなどコスト削減の取組を実施している。
○		③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	市民団体、企業及び行政で組織している実行委員会であり、運営を柔軟かつ迅速に行うことができるため効率的である。
○		④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	環境の意識啓発に特化した類似事業はない。
○		⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	来場者1人当たりの行政コストは低くなっている。
合計			評価結果	A
4	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	1	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針
方向性		
1 現状のまま継続		
2 見直しの上で継続		
ア	主体を代える（実施主体を代える）	
イ	手段を改善する（実施の手段を代える）	
ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	
エ	簡素化する（規模を縮小する）	
オ	統合する（類似事業を統合する）	
3 休止，廃止		
②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止，廃止」の場合，記入する。）		

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価  
委員会による意見

今後の方向性	
評価する点，改善すべき点	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	
--------	--

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止，廃止」の場合に記入する。）

改善目標 （又は休止，廃止の方向性）	
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

(別紙1-②)事業費内訳(H26年度まで:市直営, H28年度から:補助事業)

(収入)

科目	金額(円)				増減(28-26年度)	増減理由
	24年度決算	26年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 補助金			7,000,000	7,000,000	7,000,000	市直営から補助事業に移行したため。
2 寄附						
3 イベント協賛			720,000	450,000	720,000	市直営から補助事業に移行したため。
4 参加費			22,000	190,000	22,000	市直営から補助事業に移行したため。
5 商品売上						
6 諸収入				1,000		
7 一般財源	6,800,478	6,992,530			-6,992,530	市直営から補助事業に移行したため。
合計	6,800,478	6,992,530	7,742,000	7,641,000	749,470	

(支出)

科目	金額(円)				増減(28-26年度)	増減理由
	24年度決算	26年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 旅費						
特別旅費						
2 報償費	35,000	40,000	899,280	400,000	859,280	
謝礼金	35,000	40,000	899,280	400,000	859,280	市直営から補助事業に移行したため。
3 需用費	656,937	573,938	1,238,678	1,033,000	664,740	
消耗品費	277,997	129,830	599,358	280,000	469,528	市直営から補助事業に移行したため。
印刷製本費	141,960	185,976	608,580	700,000	422,604	市直営から補助事業に移行したため。
食糧費	236,980	258,132	30,740	53,000	-227,392	市直営から補助事業に移行したため。
4 役務費	44,270	8,040	13,780	30,000	5,740	
通信運搬費	31,670	7,954	13,780	30,000	5,826	市直営から補助事業に移行したため。
手数料	12,600	86			-86	
5 委託料	5,967,500	6,242,400	5,183,385	5,608,000	-1,059,015	
委託料	5,967,500	6,242,400	5,183,385	5,608,000	-1,059,015	市直営から補助事業に移行したため。
6 使用料及び賃借料	96,771	128,152	406,877	570,000	278,725	
	96,771	128,152	406,877	570,000	278,725	市直営から補助事業に移行したため。
7 その他						
臨時雇賃金						
合計	6,800,478	6,992,530	7,742,000	7,641,000	749,470	

(収支)

	金額(円)			
	24年度決算	26年度決算	28年度決算	29年度予算
合計				



(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 水戸市環境フェア

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
水戸市環境フェア実行委員会	主催	本部, ステージ, 案内, 広報, 記録, マスコットキャラクター
水戸市	共催	本部, ステージ, 案内, 広報, 記録, マスコットキャラクター
イベント会社	その他	会場設営等

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日: 6月4日・5日)

	人数	主な業務
市職員	27人程度	本部8人, 記録2人, 来場者カウンター2人, アンケート2人, スタンプラリー2人, マスコットキャラクター2人, 講演会9人
実行委員会	9人程度	本部9人
委託会社職員	8人程度	ステージ4人, 警備4人
ボランティア	10人程度	案内2人, リュース食器回収4人, アンケート2人, ペットボトル回収2人
計	54人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年2月	第1回実行委員会 (役員選出, 実施要項案, 出展者募集要項案提出等)
平成28年4月	第2回実行委員会 (予算案, 出展者募集状況報告等)
平成28年5月	出展者説明会
平成28年5月	第3回実行委員会 (実施計画案, 補正予算案提出等)
平成28年6月	環境フェア2016開催
平成28年9月	第4回実行委員会 (事業報告, 収支決算提出等)

(これまでの開催実績)

年月日	第○回	会場名	参加者数 (A) (人)	係員数 (A) (B) (人)	総数 (A) (A+B) (人)
平成20年10月5日		借楽園公園 四季の原	6,000	20	6,020
平成21年10月4日		借楽園公園 四季の原	7,500	40	7,540
平成24年9月30日		借楽園公園 四季の原	6,000	35	6,035
平成26年10月5日		借楽園公園 四季の原	2,000	35	2,035
平成28年6月4日・5日		県三の丸庁舎前広場	8,300	54	8,354

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員 (市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
笠間市	実行委員会	環境フォーラム	H28	423	20	443	400,000	
ひたちなか市	ひたちなか市	環境四季時計	H28	181	32	213	185,000	
東海村	実行委員会	東海環境フェスタ	H28	4,000	40	4,040	3,300,000	

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	(有)
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

## 水戸市環境フェア2016 アンケート調査結果

### I 環境フェアについて

#### 質問1-1

環境フェアは、何でお知りになりましたか。(回答数137)

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1 市のHP, SNS    | 11.7% |
| 2 市民センター等のポスター | 8.0%  |
| 3 広報みと, 折込チラシ  | 49.6% |
| 4 テレビ          | 1.5%  |
| 5 ラジオ          | 0%    |
| 6 新聞           | 1.5%  |
| 7 その他          | 27.7% |

(家族, 学校, 主催者, スーパー, 表彰関係, ボランティア, 友人, 通りすがり)

#### 質問1-2

環境フェアにご来場された動機について。(回答数143)

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| 1 環境問題に関心があったから     | 30.8% |
| 2 事前の告知等で興味がわいたから   | 25.9% |
| 3 家族や職場の仲間が出展しているから | 14.0% |
| 4 友人等に誘われたから        | 7.0%  |
| 5 たまたま通りがかりに立ち寄った   | 7.7%  |
| 6 その他               | 14.7% |

(近所, 子供がでる, 市からの通知, 主催者, 出展者関係, セグウェイ, 楽しそうだから)

#### 質問1-3

環境フェアに参加してみて、全体的な印象を1つ選びOをつけてください。(回答数120)

- |          |       |
|----------|-------|
| 1 満足     | 35.8% |
| 2 まあ満足   | 40.8% |
| 3 ふつう    | 20.8% |
| 4 やや期待外れ | 2.5%  |
| 5 不満     | 0%    |

理由

- ・家の検査, 漏電とか知れた
- ・いろいろな種類の出店がある
- ・エコに関する情報をたくさん知れた
- ・天気も良く, 人でも多くイベントとして良い
- ・環境, リサイクル等いろいろ知れた
- ・環境保全について楽しく学べた
- ・テントがごちゃごちゃしていて本部など分かりにくい
- ・子どもと一緒に楽しめた
- ・ごみの分別が良く分かった
- ・将来を思う子ども達の参加が多く見られた
- ・様々な環境対策に取り組む諸団体に敬意だ
- ・たくさんブースがあってあきない
- ・来場者数も多く, 企業の取り組みをPRできた
- ・市内の取り組みがわかった

質問 1-4

出展イベントの規模や内容についての感想を 1つ選び○をつけてください。(回答数 119)

- |          |       |
|----------|-------|
| 1 満足     | 31.9% |
| 2 まあ満足   | 37.0% |
| 3 ふつう    | 28.6% |
| 4 やや期待外れ | 2.5%  |
| 5 不満     | 0%    |

理由

- ・「ものを作る」テントがたくさんあって楽しめた
- ・エコカーが目についた
- ・エコの内容は充実していた。しいて言えば、飲み物のコーナーを増やしてほしい
- ・環境に対する知識が得られた
- ・子どもと一緒に楽しめる内容で良かった
- ・市民団体の参加も多く、面白かった
- ・駐車場が少なく、もう少し広い場所がいい
- ・広すぎず、まわりやすいスペースだった

質問 1-5

開催場所（県三の丸庁舎広場）についての感想を 1つ選び○をつけてください。

(回答数 119)

- |          |       |
|----------|-------|
| 1 満足     | 41.2% |
| 2 まあ満足   | 26.9% |
| 3 ふつう    | 24.4% |
| 4 やや期待外れ | 6.7%  |
| 5 不満     | 0.8%  |

理由

- ・アクセスが良い、周辺の歴史的景観とマッチしている
- ・歩いてこれるので便利
- ・行きやすいが駐車場代がかかる
- ・駅が近い
- ・以前は千波湖でやっていたと思うが、この場所の方が良い
- ・開催場所は良いが、ベビーカーだと動きにくい（芝生のため）
- ・講演を外で聞いたが、暑くて大変。テントの屋根が欲しい。昨日の映画は寒くて大変。図書館を利用した映画があればより多くの入場者があったのかな。
- ・交通の便が良い
- ・出展者駐車場から荷物を運ぶ場合、やや遠く感じた
- ・千波公園よりは来やすい。しかし、駐車場がない
- ・駐車場がない

### 質問 1-6

今後、環境フェアに期待することやお気づきになった点。

- ・アンケートの内容がわかり辛い。団体ブース等、内輪な空気が出ていて入り辛い所がある。知人とはしゃぐのはいいが、このイベントの主旨にそぐわないのでは？
- ・飲食の方々が図書館水道を利用していましたが、残飯等が周りにちらばっていました。処理にザル等があると良いと思いました。一つひとつイベントは楽しかったです
- ・各企業ブースの名前が分かりにくい。      ・環境について、よくわかった
- ・環境問題に関心がある人が多くいることがわかった
- ・休憩所にリサイクルの除籍本があり、手に取りやすかった。パラソル等で日除けがあり、過ごしやすかった
- ・食事するイスが少ない      ・駐車場が無料だとよいと思います
- ・スタッフの笑顔、会場 環境 緑に恵まれてとてもすてきな一日になりました
- ・ちょうどEM（微生物）に興味があったからよかったです
- ・どこになんのブースがあるのか少し分かりづらかった。簡単な地図？でもあるともっと動きやすいかも
- ・野口さんの講演感動しました      ・町の中のため、駐車場に不安があった
- ・日頃、環境には気を付け生ゴミ処理機やなるべくゴミを出さず人にゆずれる物は交換したりしている
- ・日頃、環境には気を付け生ゴミ処理機やなるべくゴミを出さず人にゆずれる物は交換したりしている
- ・本のリサイクルは分かりづらかった。トイレが分かりづらかった。駐車場の案内が欲しかった
- ・水戸市の市報に合わせて、環境フェアの案内書を入れたので、より市民に周知されたと思う
- ・黄色ゴミ袋にあみをかけない人とか、町内があり、カラスが袋を破って残飯をちらしたりしている時がある

### 質問 1-7

前夜祭のキャンドルナイトの感想を教えてください。（回答数 22）

- |          |        |
|----------|--------|
| 1 満足     | 22. 7% |
| 2 まあ満足   | 36. 4% |
| 3 ふつう    | 22. 7% |
| 4 やや期待外れ | 9. 1%  |
| 5 不満     | 9. 1%  |

理由

- ・倒れた時はきけんでしたね      ・自分で作った紙をまきつけて明かりをつけたから
- ・とても綺麗だったし、自分でキャンドルを作るというのもよい

質問 1-8

前夜祭の映画上映の感想を教えてください。(回答数 18)

- |          |       |
|----------|-------|
| 1 満足     | 27.8% |
| 2 まあ満足   | 33.3% |
| 3 ふつう    | 33.3% |
| 4 やや期待外れ | 5.6%  |
| 5 不満     | 0%    |

理由

- ・風が強く、寒かったのが残念
- ・画面が大きく、観やすかったから

質問 1-9

野口健講演会の感想を教えてください。(回答数 19)

- |          |       |
|----------|-------|
| 1 満足     | 52.6% |
| 2 まあ満足   | 15.8% |
| 3 ふつう    | 31.6% |
| 4 やや期待外れ | 0%    |
| 5 不満     | 0%    |

- ・画面は小さいが、音ははっきり聞こえた
- ・環境問題を語るには適任者

## II 環境問題に関する意識調査

質問 2-1

あなたは水戸市の環境基本計画（平成14年3月策定）を知っていますか。該当するものを1つ選んで○をつけてください。(回答数 96)

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 1 どういった内容か知っている        | 7.3%  |
| 2 あることは知っているが、内容は分からない | 38.5% |
| 3 知らなかった               | 54.2% |
| 4 その他                  | 0%    |

質問 2-2

あなたが日頃、環境のために取り組んでいることや、今後実施したいことがあれば教えてください。それぞれの項目について該当する欄に○をつけてください。また、その他に行っている取り組みがあればお書き下さい。

		常に実行している	時々実行している	今後実行したい	実行するつもりはない
ぐくむまち 安全で快適な生活環境をは	地域での歴史との触れ合いの活動などに参加している。	6.3	31.6	45.3	16.8
	家の維持管理をしてまちの景観維持に勤めている。	38.5	32.3	22.9	6.3
	たばこや空き缶の投げ捨てをしない。	91.1	5.0	1.0	3.0
	市全体や地域の環境美化活動へ積極的に参加している。	24.5	35.1	39.4	1.1
	マイカー通勤を控え、自転車や公共交通機関の利用に心がけている。	23.4	22.3	30.9	23.4
	駐停車時はアイドリングストップを実行する。	44.8	26.0	24.0	5.2
	ごみの分別を徹底している。	79.6	17.5	2.9	0.0
廃棄する際に有害化学物質の発生する製品は、購入・使用を避けている。	36.8	37.9	22.1	3.2	
ぐくむまち 豊かな自然環境をはぐ	水辺に生息・生育する動植物に関心を持っている。	40.4	36.4	22.2	1.0
	残飯などの生活排水を流しに捨てない。	68.9	21.4	8.7	1.0
	河川や湖沼の水質をチェックしている。	5.4	7.5	53.8	33.3
	庭や生垣など、木や花の植栽を行っている。	55.0	25.0	17.0	3.0
	レジャーで外にごみを捨てない、植物を傷つけないようにしている。	82.4	12.7	3.9	1.0
	自然観察会に参加している。	8.3	16.7	53.1	21.9
自然の動植物を大切にし、むやみに採取したりしないようにしている。	65.3	23.8	9.9	1.0	
地球環境を大切にす るまち	環境家計簿を利用するなど、二酸化炭素の排出量を把握し、削減に努めている。	17.5	28.9	39.2	14.4
	雨水を貯留して洗車時に使用するなど、雨水の有効利用をしている。	9.0	9.0	56.0	26.0
	毎月のエネルギー（電気、ガスなど）使用量を把握し、節約に努めている。	42.4	32.3	22.2	3.0
	太陽熱給湯システムや太陽光発電システムを設置している。	19.0	2.0	39.0	40.0
	毎月のごみの量を把握している。	28.0	19.0	42.0	11.0
	マイバッグを活用し、レジ袋削減に努めている。	75.2	18.8	5.0	1.0
	生ごみの発生抑制に心がけ、コンポスト容器などで堆肥化をしている。	25.8	10.3	42.3	21.6
	ゴミ出しの時間や場所のルールを遵守している。	88.0	10.9	0.0	1.1
詰替え商品や再生利用しやすい商品を優先的に購入している。	75.0	19.6	2.2	3.3	
一人ひとりが環境を 考え、進んで行動す るまち	修理できるものは修理して長く使う、フリーマーケット、リサイクルショップなどを積極的に利用している。	39.1	39.1	19.6	2.2
	環境教育や環境学習にかかわる活動へ積極的に参加し、環境への関心、理解を深めるよう心がけている。	21.7	31.5	42.4	4.3
	家庭内で環境問題について話し合う機会をつくり、また自然とふれあう体験を家族で共有するよう努めている。	23.1	33.0	39.6	4.4
	地域の清掃活動や、花壇作りに参加している。	23.1	25.3	44.0	7.7

様々な団体や個人間で、環境保全の取組に関する情報の交換に努めている。	15.6	31.1	42.2	11.1
------------------------------------	------	------	------	------

その他、行っている取り組み

- ・エコキャップ運動
- ・ゴミの出し方は厳守する
- ・スーパーのリサイクルボックスを利用している

### 質問 2-3

あなたは、環境を守るために金銭的負担や労力の負担をすることに対し、どのようにお考えですか。該当するものをすべて選んで○をつけてください。(回答数 121)

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| 1 金銭的負担をしてもよい                | 15.7% |
| 2 地域活動を通じて時間と労力を提供する         | 32.2% |
| 3 多少不便でも、環境にやさしいライフスタイルを実践する | 43.0% |
| 4 すべて税金ですべきだ                 | 5.0%  |
| 5 何もしなくてよい                   | 0.8%  |

### 質問 2-4

環境問題に関する取り組みを進めるため、企業や事業所に求めたいことはありますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選んで○をつけてください。(回答数 176)

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| 1 大気、水質、騒音などの公害に対する取り組みの強化 | 21.4% |
| 2 低公害車の積極的な導入              | 8.9%  |
| 3 公共交通機関を利用した通勤の推進         | 7.3%  |
| 4 電気、燃料、水などの省エネルギー活動の強化    | 17.7% |
| 5 ごみの適正な処理、リサイクルの推進        | 14.6% |
| 6 環境に配慮した商品の製造・販売          | 8.3%  |
| 7 自然エネルギー（太陽光発電など）の積極的な利用  | 7.8%  |
| 8 ISO14001など環境管理システムへの取り組み | 0.5%  |
| 9 環境保全活動への支援、協力            | 5.2%  |
| 10 工場、事業所の緑化の推進            | 5.7%  |
| 11 環境に関する情報の積極的な公開、周知      | 2.6%  |
| 12 その他（ ）                  |       |

### 質問 2-5

最近、新聞やテレビのニュース等で地球温暖化について報じられていますが、あなたは地球温暖化問題に関心をお持ちですか。該当するものを1つ選んで○をつけてください。

(回答数 99)

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 1 とても関心がある         | 49.5% |
| 2 少し関心がある          | 45.5% |
| 3 あまり関心がない         | 4.0%  |
| 4 全く関心がない          | 1.0%  |
| 5 地球温暖化の意味がよく分からない | 0%    |



### 質問 2-6

地球温暖化によって、自然界や私たちの生活に様々な影響が出ていることが予測されています。あなたが身近に感じている影響について該当するものをすべて選んで○をつけてください。(回答数 258)

- |                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 1 猛暑や熱帯夜の日数が増えている                  | 31.0% |
| 2 夏の雷や豪雨の勢いが増し、発生回数も増えている          | 25.6% |
| 3 梅や桜の開花時期が早くなったり、紅葉の開始が遅くなったりしている | 13.6% |
| 4 冬に雪が降っても以前のように積もることが少なくなった       | 15.5% |
| 5 コメや果樹などの農作物の栽培に適した時季や地域が変化している   | 14.3% |

### 質問 2-7

地球温暖化防止のために、市はどのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。あなたの考えに該当するものを3つまで選んで○をつけてください。(回答数 262)

- |   |       |
|---|-------|
| 1 森林や公園などの身近な緑を計画的に保全する                 | 18.3% |
| 2 大規模開発の際に、省エネルギー構造や新エネルギー設備等の導入を義務付ける  | 9.2%  |
| 3 子どもたちの環境教育を充実させる                      | 15.3% |
| 4 バスなどの公共交通機関の利便性を向上させ、自動車からの転換を促す      | 13.7% |
| 5 省エネ機器や太陽光設備等を企業等に普及させる                | 5.0%  |
| 6 省エネ機器や太陽光設備等を個人住宅等に普及させる              | 5.3%  |
| 7 市が率先してエコカーや太陽光発電設備等を導入する              | 8.8%  |
| 8 地球温暖化対策に熱心に取り組む団体や企業等を市が表彰する制度を設ける    | 5.0%  |
| 9 自転車の利用しやすい環境を整備する                     | 15.6% |
| 10 既成の市街地の都市機能の更新を計画し、再開発や区画整理などの整備を進める | 3.8%  |

### 質問 2-8

温室効果ガス削減には、交通施策として環境負荷の少ないバスなどの公共交通の利用を促進し、バス料金・割引制度の改善や利用しやすいネットワークづくりが重要と考えています。あなたが普段お使いの交通手段などについて、平日1日当たりの平均的な利用距離をお答えください。解答は、交通手段ごとに該当するものを選んで○をつけてください。

- |       |       |
|-------|-------|
| ・電車   | 7.6%  |
| ・バス   | 6.3%  |
| ・自家用車 | 40.5% |
| ・バイク  | 0.6%  |
| ・自転車  | 15.8% |
| ・徒歩   | 29.1% |

・ 電車利用者の中で(回答数 12)

1~19km	16.7%
20~49km	66.7%
50~99km	0%
100km 以上	16.7%

・ バス利用者の中で(回答数 10)

1~19km	70.0%
20~49km	30.0%
50~99km	0%
100km 以上	0%

・ 自家用車利用の中で(回答数 64)

1~19km	34.4%
20~49km	45.3%
50~99km	9.4%
100km 以上	10.9%

・ バイク利用の中で(回答数 1)

1~19km	0%
20~49km	0%
50~99km	0%
100km 以上	100%

・ 自転車利用者の中で(回答数 25)

1~19km	68.0%
20~49km	20.0%
50~99km	4.0%
100km 以上	8.0%

・ 徒歩の中で(回答数 46)

1~19km	63.0%
20~49km	26.1%
50~99km	8.7%
100km 以上	2.2%

### Ⅲ ごみ問題に関する意識調査

#### 質問3-1

ごみの減量化・資源化を進めていくために、あなたが実践しているものをすべて選んで○をつけてください。(回答数404)

- |    |  |        |
|----|--|--------|
| 1  | 商品を買う際には、使い捨てのものは買わない。                       | 5. 0%  |
| 2  | 商品を買う際には、詰め替え製品を買う。                          | 18. 8% |
| 3  | 商品を買う際には、再生資源を利用した商品（エコマーク・グリーンマーク商品等）を購入する。 | 4. 7%  |
| 4  | リサイクルショップ等で中古品や再生品を購入する。                     | 5. 2%  |
| 5  | 購入した製品は、長期使用に努める。                            | 13. 6% |
| 6  | コンポスト・電気式生ごみ処理機等を使用し、生ごみを堆肥化する。              | 3. 5%  |
| 7  | 生ごみを捨てるときは水切りを徹底する。                          | 11. 9% |
| 8  | 食べ残しが出ないよう食事を作る。                             | 14. 6% |
| 9  | 買い物の際、過剰包装は断る。                               | 11. 1% |
| 10 | マイカップ・水筒等を使用し、ペットボトル等の飲み物を買わない。              | 6. 7%  |
| 11 | マイ箸を使用し、割り箸を使用しないようにする。                      | 3. 0%  |
| 12 | フリーマーケットを積極的に活用している。                         | 2. 0%  |
| 13 | その他  | 0%     |

#### 質問3-2

ごみの減量化・資源化を進めていくためには、市がどのような取組みをすると効果的だとお考えですか。効果的であると思うものをすべて選んで○をつけてください。(回答数297)

- |    |  |        |
|----|--|--------|
| 1  | 過剰包装防止、レジ袋削減運動の推進、マイバックの推進など、ごみの減量化・資源化の呼びかけ・キャンペーン・イベント等の啓発活動を行う。 | 19. 5% |
| 2  | 商品等の生産・販売における、事業者へのごみの減量化・資源化を義務付けるよう、国や県に働きかける。                   | 12. 1% |
| 3  | リサイクルステーションを新設する。  | 15. 5% |
| 4  | 資源の分別収集品目を追加する。  | 7. 1%  |
| 5  | 資源回収報償金（資源の回収量に応じて自治会に金額を支払う）を増額する。                                | 5. 4%  |
| 6  | 資源の拠点回収場所を増設する。  | 8. 8%  |
| 7  | 不用品の再利用のPRなど再利用事業を拡大する。  | 5. 4%  |
| 8  | フリーマーケットを定期的に関催する。   | 5. 7%  |
| 9  | コンポスト・電動生ごみ処理機等の購入補助金を増額する。  | 6. 1%  |
| 10 | 剪定枝のリサイクルやレアメタルを含む製品等の回収を行う。                                       | 7. 7%  |
| 11 | 資源の回収品目を増やす。   | 6. 7%  |
| 12 | その他  | 0%     |

質問3-3

分別回収すべきだと思うものをすべて選んで○をつけてください。

1 生ごみ	14.8%
2 廃食油	20.2%
3 剪定枝	10.8%
4 レアメタルを含む製品	17.2%
5 廃プラスチック製品	19.7%
6 粗大ごみ	16.7%
7 その他	0.5%

質問3-4

リサイクルなどに関するご意見

- ・ 過剰包装を避けるような世の中になるとよいと思います
- ・ ゴミの分別（市）、一人ひとりの意識の向上でゴミ出しがスムーズにきれいにできると思いますね。ゴミの置き場への出し方等がひどくて回収の方のご苦勞を痛感します
- ・ 市がフリマを開催する
- ・ 町内全部義務化する事
- ・ まだまだ資源ごみを燃えるごみと分別していない家庭が多い
- ・ リサイクルしやすい、リサイクルステーションを設けてほしい
- ・ リサイクルをもっとたくさんしてほしい

IV あなたご自身のことについてお聞きいたします  
該当するものを1つ選んで○をつけてください。

質問4-1

あなたの性別を教えてください。(回答数97)

1 男性	32.0%
2 女性	68.0%

質問4-2

あなたのご年齢を教えてください。(回答数96)

1 20~29歳	6.3%
2 30~39歳	21.9%
3 40~49歳	33.3%
4 50~59歳	13.5%
5 60~69歳	18.8%
6 70~79歳	5.2%
7 80歳以上	1.0%

質問4-3

あなたのご職業を教えてください。(回答数91)

- |   |            |       |
|---|------------|-------|
| 1 | 会社員(給与所得者) | 29.7% |
| 2 | 農業・水産業     | 2.2%  |
| 3 | 自営業        | 2.2%  |
| 4 | 公務員・団体職員   | 9.9%  |
| 5 | 主婦(パート含む)  | 47.3% |
| 6 | 学生         | 3.3%  |
| 7 | 無職         | 5.5%  |
| 8 | その他        | 3.3%  |
- ( ・施設障害者利用者 ・老人 )

質問4-4

あなたのお住まいはどちらですか。2及び3の方は、市町村名または都道府県名をお書きください。(回答数95)

- |   |      |       |        |      |         |       |
|---|------|-------|--------|------|---------|-------|
| 1 | 市内   | 75.8% |        |      |         |       |
| 2 | 市外   | 22.1% |        |      |         |       |
|   | ・潮来市 | ・牛久市  | ・大洗町   | ・笠間市 | ・城里町    | ・つくば市 |
|   | ・土浦市 | ・那珂市  | ・常陸太田市 | ・日立市 | ・ひたちなか市 | ・鉾田市  |
| 3 | 県外   | 2.1%  |        |      |         |       |
|   | ・埼玉県 |       |        |      |         |       |



## 行政評価調査

事務事業名	水戸まちなかフェスティバル	評価初年度	平成 29 年度
実施主体	水戸まちなかフェスティバル実行委員会	担当部署名	産業経済部商工課
		担当者名	杉本（内線517）
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	未来に躍動する活力ある「みと」づくり	2	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 4
中項目	魅力ある都市機能の充実	1	
小項目	都市核（中心市街地）の強化	1	
		名称	水戸市中心市街地活性化ビジョン（第3次） 水戸市中心市街地活性化基本計画

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	H24 年度	②事業の完了予定の有無（有／無）	無	年度
③事業の概要 （概要）中心市街地のメインストリート（国道50号の大工町交差点から水戸中央郵便局前の区間）を、一般車輛等の通行を規制して歩行者天国とし、アート、ワークショップ、エンターテイメント、デザイン、グルメ、マーケットなどをテーマとした様々な催しを実施する。 （主催）水戸まちなかフェスティバル実行委員会（市補助金）				
④事業の目的				
ア【対象】誰を（何を）対象に 市民及び周辺市町村の住民等		対象者（平成29年4月1日） 約716,000人（水戸市及び周辺8市町村）		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 商業・観光の振興を図るため、本市のメインストリートを舞台に、商店街団体やボランティアなど市民との協働によるイベントを開催し、中心市街地の魅力創造やにぎわいを創出する。				
⑤成果指標（市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。）				
成果指標 1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標 2				
指標	ボランティア等の市民参加者数	説明	各年度におけるボランティア等の市民参加者数	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 出展団体や関係者を構成員とする実行委員会が主催する。 商工課が事務局となり、実行委員会をはじめ、各種部会を開催し、イベント内容等の協議・調整を行っている。 運営経費については、市からの補助金のほか、出展団体からの負担金等を財源としている。 負担金等による自主財源の確保、運営経費の見直しに取り組むほか、ボランティアの活用など、効率的な運営に努めている。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 現在では中心市街地の一大イベントとして定着し、地元商店街等のニーズも高く、アンケートでも好意的な回答が多くあることから、中心市街地のにぎわいの創出を通し商業・観光の振興を図るとともに、水戸の魅力を発信していく上で、必要性が高い。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 イベント出展団体の多くが市民団体であり、イベント来場者数も年々増加している。市民と協働で実施することで、にぎわいの創出につながっていることから、開催目的にかんがみ、有効である。				
⑨類似事業（民間における類似事業、市が実施している類似事業） なし				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察（市直営⇒民間・NPO、実行委員会⇒市直営、民間・NPO） 将来的には、民間を主体とした実施に移行していくことを想定する必要があると考えるが、実施に当たっての各種手続や様々な関係機関・関係者との調整は多岐にわたることから、現状としては、実行委員会（事務局：商工課）による開催が最も効率的である。				

## 2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2 ボランティア等の市民参加者数（人）		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
26年度	60,000	74,000	123.3	60	10	16.7
27年度	70,000	82,000	117.1	70	25	35.7
28年度	80,000	93,000	116.3	80	84	105.0
29年度	90,000			90		
30年度	100,000			100		
①目標値の根拠	平成30年度以降には100,000人以上の来場を目標とし、その目標に向けて毎年度10,000人の増として設定。			平成30年度以降には100人以上の参加を目標とし、その目標に向けて毎年度10人増として設定。		
②数値で表せない効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水戸の魅力の発信</li> <li>・中心市街地活性化に向けた市民団体等の活動促進</li> </ul>					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

## 3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 26 決算	国県支出金		旅費		131.74
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	9,749	役務費		
			委託料		
	9,749		使用料・賃借料		
			その他	9,749	
H 27 決算	国県支出金		旅費		118.24
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	9,696	役務費		
			委託料		
	9,696		使用料・賃借料		
			その他	9,696	
H 28 決算	国県支出金		旅費		94.97
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	8,832	役務費		
			委託料		
	8,832		使用料・賃借料		
			その他	8,832	
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	8,500	役務費		
			委託料		
	8,500		使用料・賃借料		
			その他	8,500	

### ③コスト削減の取組

- ・市民及び学生ボランティア等を活用し、経費削減に努めている。
- ・イベントの分類・出店場所に応じた負担金を拠出し、自主財源の確保に努めている。



4 1年目評価

(1) 1次評価 (内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。		・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○	④対象者のニーズが高い事業である。		・1-⑦必要性	中心市街地の一大イベントとして定着し、地元商店街等のニーズも高く、アンケートでも好意的な回答が多いこともあり、にぎわいの創出及び魅力を発信するうえで、必要性が高い。
○	⑤民間、NPO等に類似事業はない。		・1-⑨類似事業	中心市街地のメインストリートである国道50号を歩行者天国として、多くの団体が出展し、様々な催しを実施するイベントはない。
合計			評価結果	B
2	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。		・2-成果指標	
○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。		・1-⑧有効性 ・2-成果指標	にぎわい創出及び魅力の発信に資する事業であることから、イベントの継続が有効である。
○	③成果指標の実績が目標に達している。		・2-成果指標	前年度を上回る実績となっている。
○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。		・1-④事業の目的	市民だけでなく、周辺市町村の住民等の誘客も想定したイベントである。
○	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。		・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	中心市街地を会場として、多くの市民団体等が出展し、多数の来場者があることから、目的を達成するための手段としては適切である。
合計			評価結果	A
4	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①効率性向上の余地はない。		・3-①行政コスト ・別紙1 事業費内訳	
○	②コスト削減への取組を実施している。		・3-③コスト削減の取組	ボランティアを活用するなど、コスト削減を図っている。また、負担金の徴収など自主財源の確保に取り組んでいる。
○	③他の主体が実施するよりも効率的である。		・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	各種手続きや関係機関・関係者との調整をスムーズに行うことができる現状の実行委員会による開催が最も効率的である。
○	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。		・1-⑨類似事業	メインストリートを歩行者天国とし、多くの民間団体が出展して様々な催しを実施するイベントはなく、中心市街地で開催される他のイベントと内容も異なることから、統合は難しい。
○	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。		・3-②単位当たりの行政コスト	来場者1人当たりの行政コストは低くなっている。
合計			評価結果	A
4	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	1	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針
方向性		
1 現状のまま継続		
2 見直しの上で継続		
	ア	主体を代える（実施主体を代える）
	イ	手段を改善する（実施の手段を代える）
	ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）
	エ	簡素化する（規模を縮小する）
	オ	統合する（類似事業を統合する）
3 休止，廃止		

②課題と解決方法（「見直しの上継続」及び「休止，廃止」の場合，記入する。）

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価  
委員会による意見

今後の方向性	
評価する点，改善すべき点	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	
--------	--

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止，廃止」の場合に記入する。）

改善目標 （又は休止，廃止の方向性）	
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況

--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価 (内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業)

## (収入)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 補助金	9,748,639	9,695,582	8,831,239	8,500,000	-864,343	事業内容を精査し、補助金の交付額を削減したため
2 寄附						
3 イベント協賛						
4 参加費						
5 商品売上						
6 諸収入	400	264,308	754,022	800,000	489,714	負担金の設定を行ったため
合計	9,749,039	9,959,890	9,585,261	9,300,000	-374,629	

## (支出)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 旅費 特別旅費						
2 報償費 謝礼金等	461,000 461,000	499,000 499,000	276,000 276,000	400,000 400,000	-223,000 -223,000	ボランティアスタッフ等の増加のため
3 需用費 消耗品費 印刷製本費	2,016,035 888,991 1,127,044	1,985,973 679,173 1,306,800	2,004,956 764,576 1,240,380	1,900,000 700,000 1,200,000	18,983 85,403 -66,420	必要な消耗品が増加したため 印刷部数の見直しを実施したため
4 役務費 通信運搬費	64,494 64,494	40,060 40,060	69,244 69,244	80,000 80,000	29,184 29,184	広域的に広報活動を行ったため
5 委託料 委託料	6,555,862 6,555,862	6,577,964 6,577,964	6,145,211 6,145,211	5,900,000 5,900,000	-432,753 -432,753	事業内容の見直しを行ったため
6 使用料及び賃借料 使用料及び賃借料	612,856 612,856	805,572 805,572	806,360 806,360	850,000 850,000	788 788	
7 その他 臨時雇賃金 食糧費 広告料 手数料 保険料 公課費 次年度繰越金	38,792 10,000 24,192	51,321 21,600 23,160	283,490 81,000 21,600 16,308	170,000 100,000 30,000 20,000	232,169 81,000 -6,852	警察官へ昼食を用意したため し尿処理費用をトイレ設置業務委託に含めたため
合計	9,749,039	9,959,890	9,585,261	9,300,000	-374,629	

## (収支)

	金額(円)			
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計				

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 水戸まちなかフェスティバル

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
水戸まちなかフェスティバル実行委員会	主催	本部、ステージ、案内、広報
みとペタ実行委員会	協力	みとペタの実施 (水戸まちなかフェスティバル関連企画)
水戸市中心市街地各商店会	協力	みとペタの実施 (水戸まちなかフェスティバル関連企画)
水戸市商業・駐車場公社	協力	みとペタの実施 (水戸まちなかフェスティバル関連企画)、案内、広報
水戸商工会議所	協力	案内、広報
イベント会社	その他	ステージ設営等
警備会社	その他	警備等

※ ワンコイン商店街と共催で実施するイベント。参加店の商品を購入した方にスタンプを押し、押印数に応じて抽選を実施するスタンプラリー事業。

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日：9月25日)

	人数	主な業務
市職員 (動員)	28人	本部8人, 遊軍8人, エリア管理6人, P&Rバス停4人
市職員 (ボランティア)	41人	安全管理27人, ステージ・休憩所管理10人, 駐輪場4人
市民ボランティア	13人	安全管理7人, ステージ・休憩所管理6人
学生ボランティア	71人	本部1人, ステージ・休憩所管理26人, インフォメーション19人, 来場者アンケータ19人, 駐輪場6人
水戸商工会議所	5人	インフォメーション5人
水戸商業・駐車場公社	4人	ステージ・休憩所管理2人, インフォメーション2人
警備会社	96人	道路封鎖箇所71人, その他警備10人, 市場駐車場8人, 桜山駐車場7人
計	258人	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年5月30日	第1回実行委員会
平成28年6月29日	第1回イベント部会
平成28年8月22日	第2回イベント部会
平成28年9月2日	第2回実行委員会
平成28年9月8日	ステージ出演者説明会
平成28年9月14日	学生ボランティア説明会
平成28年9月14日	市民ボランティア説明会
平成28年9月21日	係員・ボランティア説明会
平成28年9月25日	水戸まちなかフェスティバル開催
平成29年3月3日	第3回実行委員会

(これまでの開催実績)

年月日	第〇回	会場名	参加者数 (人) (A)	係員数 (人) (B)	総数 (人) (A+B)
平成24年10月28日	第1回	中心市街地	35,000	282	35,282
平成25年10月26日, 27日	第2回	中心市街地	67,000	193	67,193
平成26年9月28日	第3回	中心市街地	74,000	201	74,201
平成27年10月25日	第4回	中心市街地	82,000	193	82,193
平成28年9月25日	第5回	中心市街地	93,000	258	93,258

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員 (市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数 (人)	係員数 (人)	総数 (人)	事業費 (千円)	備考
						0		
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数 (市町村職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

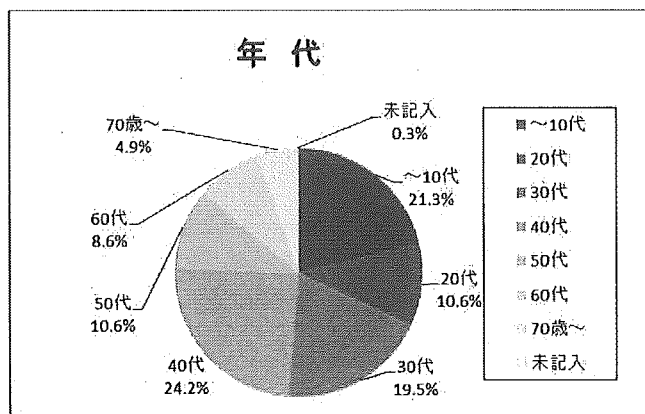
## 参考

### 1 アンケート調査の結果

イベント会場内において、来場者に無作為でアンケートを実施し、385名から回答を得ました。

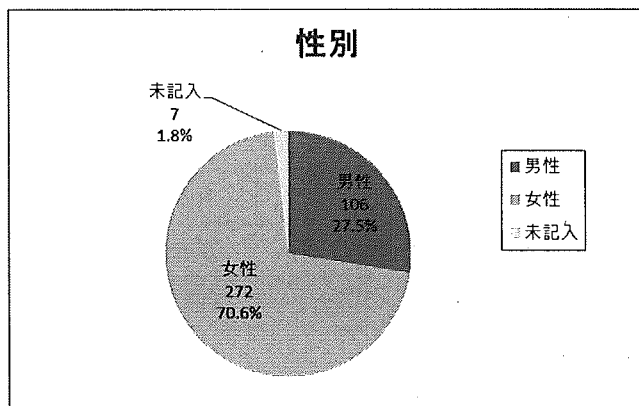
#### ■ 年代

～10代	82人	21.3%
20代	41人	10.6%
30代	75人	19.5%
40代	93人	24.2%
50代	41人	10.6%
60代	33人	8.6%
70代～	19人	4.9%
未記入	1人	0.3%
合計	385人	100.0%



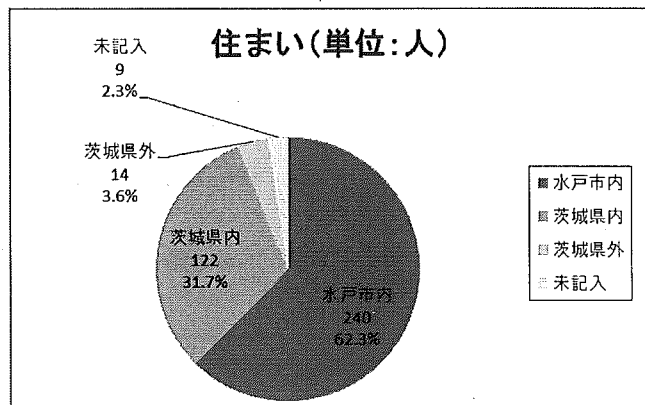
#### ■ 性別

男性	106人	27.5%
女性	272人	70.6%
未記入	7人	1.8%
合計	385人	100.0%



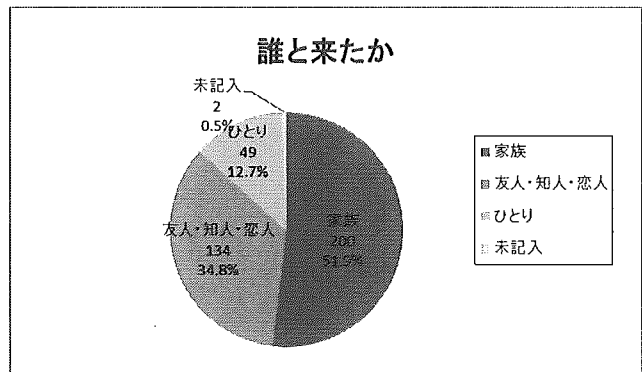
#### ■ 住まい

水戸市内	240人	62.3%
茨城県内	122人	31.7%
茨城県外	14人	3.6%
未記入	9人	2.3%
合計	385人	100.0%



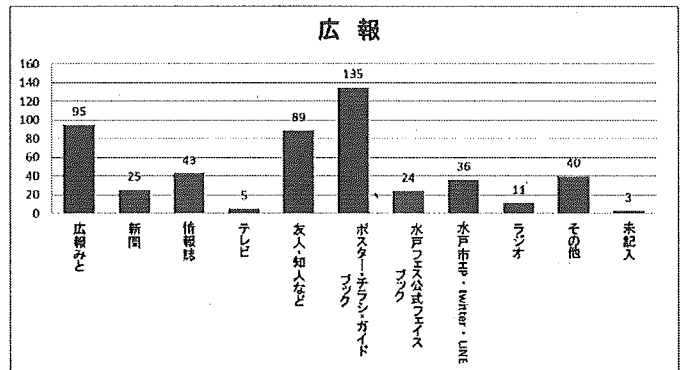
■ 誰と来たか

家族	200 人	63.6%
友人・知人・恋人	134 人	17.9%
ひとり	49 人	17.5%
未記入	2 人	1.0%
合計	385 人	100.0%



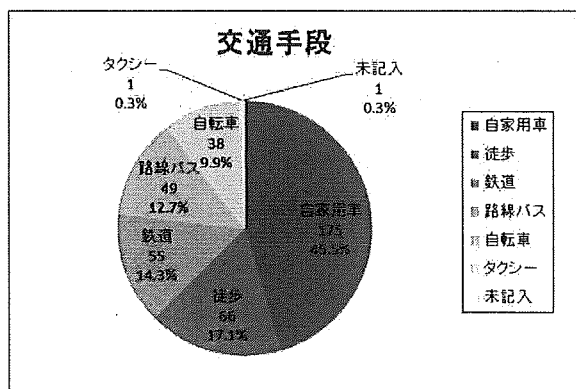
■ 何で知ったか (複数回答)

市報	95 人	18.8%
新聞	25 人	4.9%
情報誌	43 人	8.5%
テレビ	5 人	1.0%
友人・知人	89 人	17.6%
ポスターチラシ	135 人	26.7%
公式 SNS	24 人	4.7%
水戸市 SNS	36 人	7.1%
ラジオ	11 人	2.2%
その他	40 人	7.9%
未記入	3 人	0.6%
合計	506 人	100.0%



■ 何で来たか

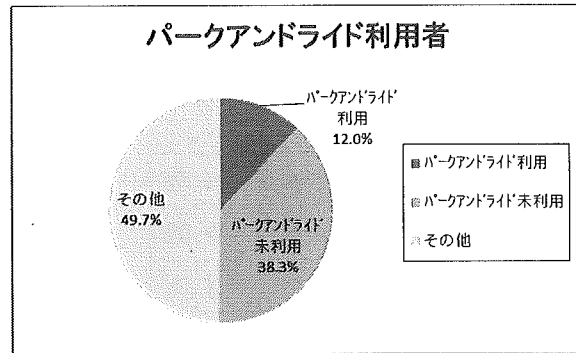
自家用車	175 人	45.5%
徒歩	66 人	18.1%
鉄道	55 人	14.3%
路線バス	49 人	12.7%
自転車	38 人	9.9%
タクシー	1 人	0.3%
未記入	1 人	0.3%
合計	385 人	100.0%





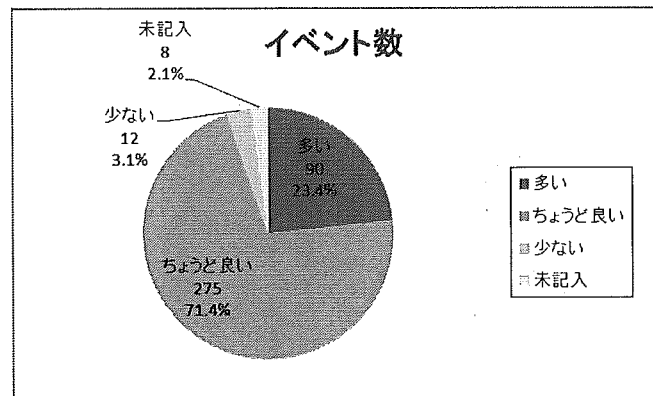
□パーク&ライドを利用したか  
(自家用車で来た方へのみ回答)

利用した	21 人	12.0%
利用していない	67 人	28.3%
その他	87 人	49.7%



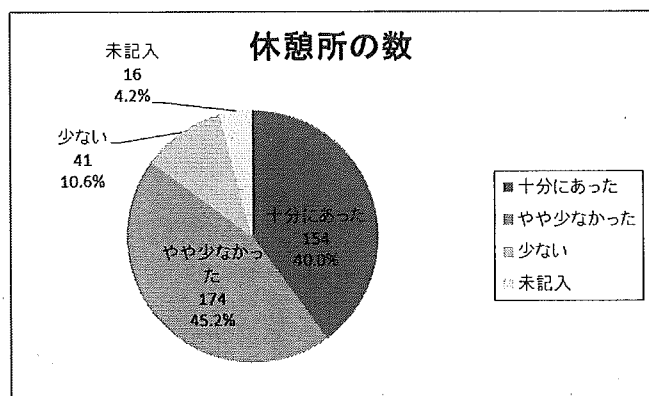
### ■ イベント数

多い	90 人	23.4%
ちょうど良い	275 人	71.4%
少ない	12 人	3.1%
未記入	8 人	2.1%
合計	385 人	100.0%



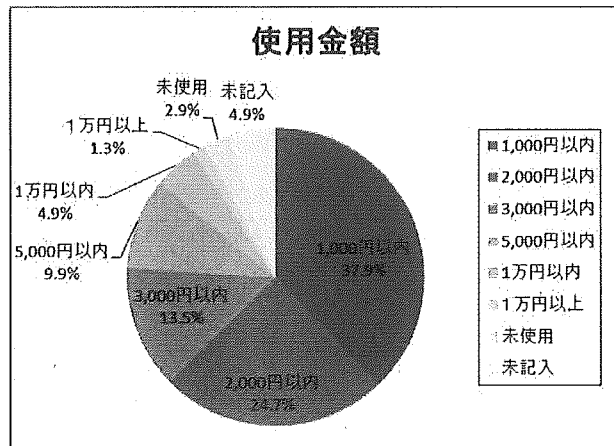
### ■ 休憩所の数

十分にあった	154 人	40.0%
やや少なかった	174 人	45.2%
少ない	41 人	10.6%
未記入	16 人	4.2%
合計	385 人	100.0%



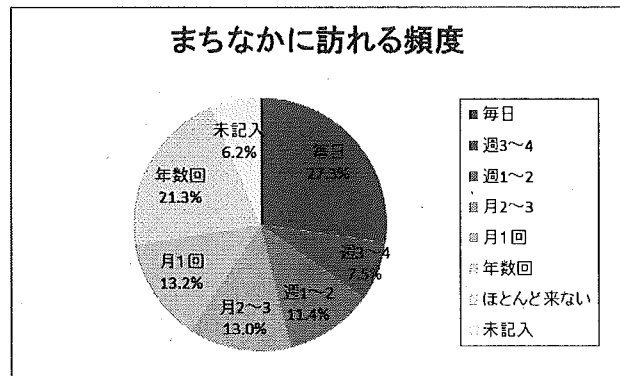
■ 使用金額（1人あたり）

1,000円以内	146人	37.9%
2,000円以内	95人	24.7%
3,000円以内	52人	13.5%
5,000円以内	38人	9.9%
1万円以内	19人	4.9%
1万円以上	5人	1.3%
未使用	11人	2.9%
未記入	19人	4.9%
合計	385人	100.0%
使用平均額	1,789円	



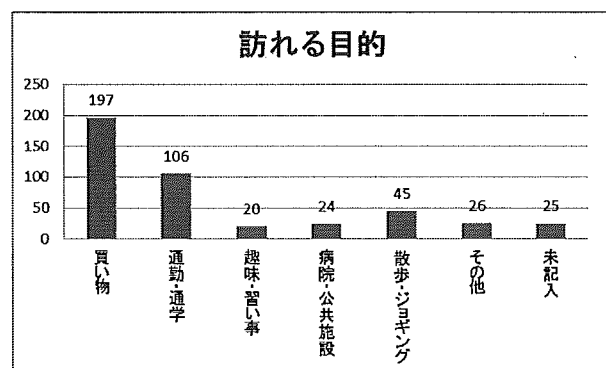
■ まちなかに訪れる頻度

毎日	105人	27.3%
週3~4	29人	7.5%
週1~2	44人	11.4%
月2~3	50人	13.0%
月1回	51人	13.2%
年数回	82人	21.3%
ほとんど来ない	0人	0%
未記入	24人	6.2%
合計	385人	100.0%



■ まちなかを訪れる目的（複数回答）

買い物	197人	44.5%
通勤・通学	106人	23.9%
趣味・習い事	20人	4.5%
病院・公共施設	24人	5.4%
散歩・ジョギング	79人	10.2%
その他	44人	5.9%
未記入	33人	5.6%
合計	443人	100.0%



■ 水戸フェスに対する感想・要望（自由回答）※同類の内容をまとめ、一部表現を修正しています。

**【感想】**

- ・毎年開催してください。
- ・楽しいので続けてください。
- ・今日は人がいっぱいいてよかったですと思います。
- ・楽しかったです。
- ・水戸の街が活気づいて、とても良いフェスだと思いました。
- ・続けて行って欲しいです。
- ・来年も開催してほしい。
- ・楽しかったです。
- ・毎年続けて欲しい。
- ・活気があって楽しいです！
- ・これからも、回数をふやしてほしい。
- ・水戸市民が集まって活性化して良い。
- ・これからも、毎年開催してほしい。
- ・来年も希望。
- ・これからも続けてください。
- ・市内の活気が持続するようにお願いしたいです。
- ・みとちゃんダンス大好きです。
- ・常磐大高校生がフレッシュでかわいくて、親切でした。
- ・全年齢に合った（小児，大人，老人向け）いろいろなイベントや出店者が面白い。

**【要望】**

- ・飲食店がもう少し多いと良い。
- ・遊べる内容の出展を増やして欲しい。
- ・水戸駅の近くに飲食のブースが少ない。
- ・ふわふわの滑り台や、中に入るやつがあるといい。
- ・出展者がもっと増えると良い。驚宮を見本にしてほしい。
- ・開催時間をあと少し遅くまでやってほしいです。7時くらいまで。
- ・もう少し涼しい季節に開催して欲しい。
- ・10月頃の開催が良いと思う（暑い）。
- ・もっと宣伝すると遠方の人たちも来られるかもしれない。
- ・大きい音で演奏する場所は落ち着かない。静かな場所も増やしていただければありがたい。
- ・ジャンルごとに出店の案内があればよい。
- ・店が多くてわかりにくい。

- ・もっとトイレを増やして欲しい。
- ・水戸駅から中央郵便局の間にスタッフの人員を増やしてほしい。
- ・休憩所のうち、日差しが強い場所があったため、パラソルなどを設置してほしい。
- ・イスを増やしてほしい。
- ・アンケートの内容が多いように感じる。
- ・アンケートを取っている場所が固定していない、動き回っているので回答できないことがある。
- ・ゴミ箱の数が少ないため、数を増やしてほしい。
- ・距離が長すぎる。
- ・雨が降ったらたいへん。
- ・半年に1回くらい開催してほしい。
- ・出店しているお店でもみとペタを実施してほしい。
- ・人が多い。
- ・バスを止めないでほしい。
- ・開催時間が短くてまわりきれない。

■ まちなかに対する意見・要望（自由回答）※同類の内容をまとめ、一部表現を修正しています。

- ・まちなかに人が集まる企画は活気が出ていいと思います。たくさん開催してほしいです。
- ・トイレやごみ箱が少ない。
- ・もっと、活気づいてくれるといい。バスが来ない。
- ・もっと、イベントふやしてもいいかもしれないですね。
- ・もっと車が便利な方がいい。
- ・中心街なのに静かすぎると思う。
- ・来年も楽しみです。
- ・いばらき大好き！！
- ・水戸芸術館の駐車場が利用しにくい。
- ・道路をきれいにしてほしい。
- ・子どもの遊び場が必要
- ・活気が少しなくなってきたのが寂しく思われる。
- ・駐車場を止めやすくしてほしいです。
- ・安くおいしいお店を増やしてください。
- ・南街のサントピアがあったあたりがさびしいかな？
- ・クレープ屋さんが欲しいです。
- ・もっと水戸が元気になってほしい。
- ・キャバクラを減らしてほしい。
- ・まちなかに花がたくさん植えられ心が安らぎました。

## 平成 26 年度補助金等検討報告書

### 1 補助金等の現状

水戸市においては、行財政改革プランに基づき定期的に補助金等の検討を行うこととしており、前回の平成21年度の検討から5年が経過している。

この間の補助金等の推移を平成21年度と平成25年度の決算を基に分析すると、まず負担金については、後期高齢者医療の一部事務組合に対する負担金などの変動が大きなものや臨時的なものを除いた経常的なものについて、団体加入負担金の見直しを行ったことにより、件数は35件減少し、金額は約580万円減少している。

補助金については、外郭団体に対する補助金や市街地再開発事業に対する補助金など臨時的なものを除いた経常的なものについては、件数は1件減少したが、金額は約4,250万円増加となっている。

この増加は、前回の検討委員の報告に基づき約3,460万円の削減を行ったが、私立幼稚園就園奨励費補助金や住宅用太陽光発電システム設置補助などが大幅に増額となったことや、新たにプレミアム付商品券発行支援事業補助金、まちなかフェスティバル実行委員会補助金、不妊治療費補助金などを実施したことが要因となっている。

### 2 補助金等の検討

補助金については、専門分野の団体の活用や事業の奨励などにより市の政策目的を実現する有効な手段であり、提案型協働事業補助金など新たな制度創設により、時代の変化に伴う課題に対し積極的に対応していることは評価すべきである。

しかしながら、補助金は一旦制度化されると必要性や効果の検証が疎かになり、特定の相手に継続的に支出されることで既得権益化してしまうという懸念がある。また、負担金についても、同一団体に対して定例的に支出されるものになってしまうことから、定期的な検討が必要である。

この検討に当たって、私たちは、全ての負担金及び補助金について、前回検討からの新設廃止及び増減額の確認を行った。特に補助金については、個別調書により内容の確認を行うとともに、詳細な確認が必要なものについては、事務を担当する部署から直接ヒアリングを行った。

その結果については、次のとおりである。

### 3 総括的な意見

#### (1) 負担金

- ア 団体加入による費用対効果の検証を厳しく行い、加入の是非を検討するとともに、構成団体の立場から団体の存廃についても検討を促すこと。
- イ 各自治体が財政改革による経費削減を行っていることに鑑み、それぞれの団体に対し負担金額の削減に向け徹底した経費削減を強く要望すること。

#### (2) 補助金

- ア 補助対象の実績や効果を十分に分析し、所期の目的に合致したものとなっているか常に確認を行い、必要に応じ制度の見直しを行うこと。
- イ 補助金による財政支援の必要性について、多額の剰余金が生じていないかなど対象団体や事業の収支状況を把握し精査を行うこと。なお、団体運営に対する補助金については、収支状況のみならず資産などの財務状況まで踏み込んだ精査を行うこと。
- ウ 対象経費に対する補助金額の割合(以下「補助率」という。)が低く自立性の高いものについては、廃止に向け段階的に削減を行うこと。
- エ 補助率が高く補助金に対する依存度が強いものについては、会費収入や実費徴収金などの財源拡充による自立性を高める努力を促し、補助率の適正化を図ること。
- オ ひとつの団体に対して複数の補助金を支出している場合は、申請・交付手続きに要する事務の簡素化を図るとともに、総合的な補助効果の検証のため制度の統合を行うこと。
- カ 市からの補助金を下部組織などの他団体に支出している場合は、透明性の向上を図るため、対象団体へ直接補助するように制度の変更を行うこと。
- キ 広く市民を対象とした補助金については、広報の方法を工夫するなど積極的な制度周知により利用促進を図るとともに、公平性を確保すること。

なお、負担金と補助金ともにその内容からみて名称に具体性や整合性に欠けるものがあることから、改めて名称の検討を行うこと。

#### 4 個別補助金に対する意見

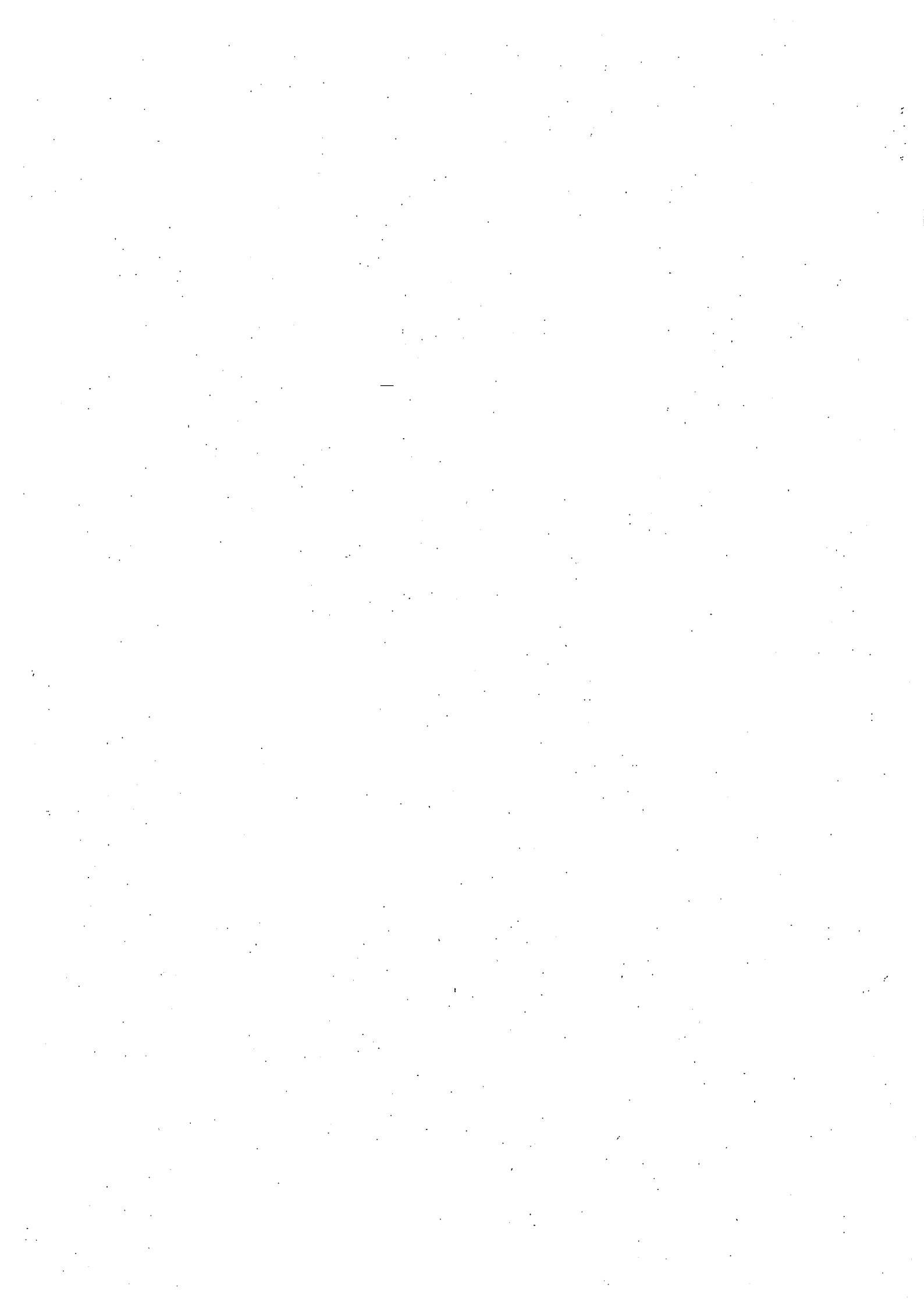
次の補助金については、特に意見を付して見直しを求めるものである。

番号	名称	担当課	意見
1	住みよいまちづくり推進協議会補助金	市民生活課	市補助を財源として住みよいまちづくり推進協議会が地区コミュニティ組織へ支出をしているものと、市から地区コミュニティ組織へ直接補助しているものがあり、資金の流れが分かりにくいものとなっている。
2	地域活動推進事業補助金	市民生活課	透明性の向上を図るため総合的な制度変更を検討すべきである。
3	消費者団体事業補助金	市民生活課	団体の活動成果が市民生活に反映できるように促すべきである。
4	雨水貯留施設等設置補助金	環境課	さらなる制度周知に努め、利用促進を図るべきである。
5	生ごみ処理容器購入補助金	ごみ対策課	さらなる制度周知に努め、利用促進を図るべきである。
6	生ごみ処理機購入補助金	ごみ対策課	また、処理容器と処理機の補助は統合すべきである。
7	地域活動支援センター激変緩和対策補助金	障害福祉課	制度変更から相当年数が経過しているにもかかわらず激変緩和としているので、制度のあり方について検討すべきである。
8	市高齢者クラブ連合会補助金	高齢福祉課	市補助を財源として連合会が単位クラブへ支出をしているものと、市から単位クラブへ直接補助しているものがあり、資金の流れが分かりにくいものとなっている。
9	市高齢者クラブ補助金	高齢福祉課	また、単位クラブへは2種類の補助を行っている。
10	高齢者クラブ等活動事業補助金	高齢福祉課	透明性の向上を図るため総合的な制度変更を検討すべきである。
11	市医師会補助金	保健センター	団体の自主財源が多く補助率が低いことから、削減をすべきである。
12	水戸食品衛生協会補助金	保健センター	補助対象を明確化し、団体補助から支部団体に対する事業補助に変更すべきである。
13	市鍼灸マッサージ師会補助金	保健センター	補助対象を明確化し、団体補助から事業補助に変更すべきである。

番号	名 称	担当課	意 見
14	不妊治療費補助金	保健センター	県補助金との整合性を踏まえ補助限度額を見直すべきである。
15	商工会議所事業補助金	商工課	当該団体には複数の補助金が支出されているため、整理統合のうえ効果を検証すべきである。 また、剰余金が多額であることから、削減すべきである。
16	商工会議所まちなかの駅事業補助金	商工課	
17	水戸商工会議所中心市街地活性化事業補助金	商工課	
18	常澄商工会事業補助金	商工課	産業の均衡ある振興のため、水戸商工会議所との統合を促すべきである。
19	内原商工会事業補助金	商工課	特に常澄商工会については、市村合併から22年が経過していることから、早急に進めるべきである。
20	市商店会連合会事業補助金	商工課	剰余金が多額であることから、削減すべきである。
21	たばこ販売事業補助金	商工課	喫煙を取り巻く状況や補助対象事業の効果を考慮し、廃止に向け削減すべきである。
22	商店街活力アップ事業補助金	商工課	補助対象の団体及び事業に固定化の傾向がみられるため、効果検証の手法を検討するとともに、新たな取組を促すような制度とすべきである。
23	まちなか交流促進事業補助金	商工課	補助対象団体の水戸市商業・駐車場公社に対しては、別途団体運営補助が支出されているため、整理統合のうえ効果を検証すべきである。
24	まちなかフェスティバル実行委員会補助金	商工課	協賛金や出店料などの自主財源確保を促し、削減すべきである。
25	水戸観光協会コンベンション誘致事業補助金	観光課	受益者負担などの自主財源確保を促し、削減すべきである。 また、補助対象団体の水戸市観光協会に対しては、別途団体運営補助が支出されているため、整理統合のうえ効果を検証すべきである。
26	観光行事補助金	観光課	補助対象団体のうち水戸観光協会に対しては、別途団体運営補助が支出されているため、整理統合のうえ効果を検証すべきである。



番号	名 称	担当課	意 見
27	食の安全・安心支援事業補助金	農業技術センター	補助対象を明確化するとともに、効果を検証するなど制度のあり方を検討すべきである。
28	内原ふれあいまつり事業補助金	内原農政事務所	地域における自主的な運営による事業として経費のあり方について見直すとともに、協賛金や出店料などの自主財源確保を促し、削減すべきである。
29	生垣設置奨励補助金	公園緑地課	さらなる制度周知に努め、利用促進を図るべきである。
30	政務活動費補助金	議会総務課	市民の関心が高いものであることから、ホームページ等で交付先での用途等を公開すべきである。
31	民間保育所地域活動補助金	幼児教育課	補助率が高いため、適正な補助率を検討すべきである。
32	みと青年会補助金	生涯学習課	補助率が高いため、適正な補助率を検討すべきである。なお、会員数が極端に少ないことから、その動向によっては廃止を検討すべきである。
33	市文化振興協議会運営事業補助金	文化課	補助対象団体の設立目的や構成員と事業内容に相違があるため、補助制度の抜本的な見直しが必要である。
34	各種大会選手役員派遣補助金	スポーツ課	競技により異なる基準を見直すべきである。
35	スポーツ推進委員広報発行補助金	スポーツ課	広報みとの活用を図ることにより削減すべきである。
36	チャレンジ・ザ・原始人事業補助金	内原中央公民館	旧内原町の児童生徒が対象であるが、合併から相当期間が経過したため、対象や事業のあり方について検討すべきである。
37	蜂駆除補助金	消防救助課	さらなる制度周知に努めるべきである。また、受付窓口の拡大等により市民の利便性向上を検討すべきである。



## 行政評価調書

事務事業名	内原ふれあいまつり	評価初年度	平成 29 年度
実施主体	内原ふれあいまつり実行委員会	担当部署名	産業経済部農政課
第6次総合計画上の施策項目	コード	事業の根拠法令等	
大項目	未来に躍動する活力ある「みと」づくり	2	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 4
中項目	活力あふれる産業の振興	2	
小項目	農林水産業の振興	3	
		名称	水戸市・内原町合併建設計画〔変更計画〕

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	H2 年度	②事業の完了予定の有無（有/無）	無	年度
③事業の概要 （概要）平成17年2月に水戸市と内原町が合併し、水戸市・内原町合併建設計画の中で「地域コミュニティ形成事業」としてふれあいまつりの開催が位置付けられた。また平成26年12月に水戸市・内原町合併建設計画〔変更計画〕が策定され、その中でも同様に位置付けられ、継続事業となっている。 内原地域（旧内原町）は人口約15,000人、農業が盛んな地域であり、都市と農村の交流促進に適した豊かな農村環境、農村文化を有している。また、集落を中心とした地域コミュニティのまとまりが維持されていることも特徴である。 当まつりは、地域コミュニティの醸成と地域交流の活性化、都市と農村の交流促進、地域産業のPRのため、毎年11月3日（祝）に、内原ヘルスパーク多目的広場において、内原地域自治連合会が中心となり、内原商工会関係団体、JA水戸内原支店、内原地域小中学校、社会教育関係団体、内原地域芸能保存団体等の協力により開催されている。出店・出演者は、公的機関・団体を除きすべて内原地域の事業者・団体等であり、地場製品の販売の他、郷土芸能や小中学生・市民の吹奏楽の発表、地域の風習を伝える「模擬上棟式」なども行われている。また、風船遊具や子ども向けのゲームで遊べる「子供のひろば」を設け、子供から大人までが、1日中楽しめるまつりとして、多くの来場者がある。 （主催）内原ふれあいまつり実行委員会（市補助金）				
ア【対象】誰を（何を）対象に		対象者（平成29年4月1日）		
市民		約27万人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 まつりを通じ、地域コミュニティの活発な交流が継続するとともに、都市住民が農村地域である内原地域を訪れ地域コミュニティと交流することで、市民の農業・農村に対する理解が深まる。また、内原独自の伝統芸能や風習を広く紹介することにより、これらを伝承する。				
⑤成果指標（市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。）				
成果指標 1				
指標	まつり来場者数	説明	まつりへの総来場者数	
成果指標 2				
指標	内原地域からの出店比率	説明	内原地域からの出店参加比率	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。				
内原地域自治連合会を中心に実行委員会により自主的に運営されている。多くの市民ボランティアの協力により効率的な運営に努めている。会場設営や電気施設等は、業務委託により対応している。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。				
内原地域にはイオンモール以外に大規模な集客施設・交流拠点がなく、また、本事業の他に集客規模の大きなイベントは開かれていないことから、地域の活性化のために必要性は大きい。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。				
水戸市内や近隣市町村から多くの来場者を集客している。大規模な交流拠がない内原地域において、地域農産物や伝統芸能など地域の特徴を効果的にアピールするために、まつりの開催は有効な手段である。				
⑨類似事業（民間における類似事業、市が実施している類似事業）				
水戸市産業祭				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察（市直営⇒民間・NPO、実行委員会⇒市直営、民間・NPO）				
主催者である「内原ふれあいまつり実行委員会」は、内原地域自治連合会を中心に構成されており、内原商工会、JA水戸内原支店等、地域団体の連携も良い。市民との協働により開催されており、他の運営主体が実施するより効率的である。				

## 2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 まつり来場者数（人）			成果指標 2 内原地域からの出店比率（%）		
	目標	実績	達成率（%）	目標	実績	達成率（%）
26年度	17,500	22,000	125.7	75	76	101
27年度	17,500	22,000	125.7	75	75	100
28年度	17,500	18,000	102.9	75	76	101
29年度	17,500					
30年度	17,500					
①目標値の根拠	内原地域の人口÷2+10000人			H25の出店団体総数 47 うち内原地域からの出店団体数 35(74.5%)		
②数値で表せない効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活動の活性化</li> <li>・都市と農村の交流促進</li> <li>・郷土芸能・地域風習の伝承</li> </ul>					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

## 3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 26 決算	国県支出金		旅費		227.27
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	5,000	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	5,000		その他	5,000	
H 27 決算	国県支出金		旅費		227.27
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	5,000	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	5,000		その他	5,000	
H 28 決算	国県支出金		旅費		250.00
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	4,500	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	4,500		その他	4,500	
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	4,500	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	4,500		その他	4,500	

### ③コスト削減の取組

補助金等審議会答申を踏まえ、平成28年に補助金を削減した。削減分については、協賛金を集めるなどの取組により、補填している。

4 1年目評価

(1) 1次評価(内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	市民交流の活性化につながり、郷土芸能や地域風習の伝承、地域産業のPRのため継続が有効である。
○		④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	内原地域以外からも多数来場している。
○		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	民間、NPO等に類似事業はない。
合計			評価結果	A
3	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
○		②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑥有効性 ・2-成果指標	まつりの効果が、地域コミュニティ、産業経済、文化継承など幅広く、市民生活向上に繋がっている。
○		③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	毎年度、目標値よりも実績が上回っている。
○		④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	全市民を対象としたイベントである。
○		⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	実行委員会が主体的に運営しており、市はこれを支援している。また、市民ボランティアも運営に関わっており、手段が適切である。
合計			評価結果	A
4	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト ・別紙1 事業費内訳	
○		②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	補助金の削減に伴い、協賛金を集めるなど取り組んでいる。
○		③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	実行委員会は内原地域自治連合会が中心となっており、市民との協働により開催しているため、他の主体が実施するよりも
○		④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	内原地域開催、地域の独自性という点で、他の事業と統合することは難しい。
		⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	
合計			評価結果	A
3	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	1	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針
方向性		
1 現状のまま継続		
2 見直しの上で継続		
	ア	主体を代える（実施主体を代える）
	イ	手段を改善する（実施の手段を代える）
	ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）
	エ	簡素化する（規模を縮小する）
	オ	統合する（類似事業を統合する）
3 休止，廃止		
②課題と解決方法（「見直しの上継続」及び「休止，廃止」の場合，記入する。）		

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価  
委員会による意見

今後の方向性	
評価する点，改善すべき点	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	
--------	--

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止，廃止」の場合に記入する。）

改善目標 (又は休止，廃止の方向性)	
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価 (内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業)

## (収入)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 補助金	5,000,000	5,000,000	4,500,000	4,500,000	-500,000	補助金が減額されたため
2 事業収入	366,550	383,100	453,400	400,000	70,300	子供の広場利用料を一部値上げしたため
3 賛助・寄付金			410,000	160,000	410,000	賛助金を集めたため
4 繰越金	190,600	276,901	196,376	240,975	-80,525	
5 雑収入	10,258	10,255	10,016	9,025	-239	
合計	5,567,408	5,670,256	5,569,792	5,310,000	-100,464	

## (支出)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 旅費						
特別旅費						
2 報償費	910,000	920,000	873,000	820,000	-47,000	
謝礼金等	91,000	920,000	873,000		-47,000	出演団体の報償金を減額したため
3 需用費	1,072,733	1,151,957	1,142,095	1,150,000	-9,862	
消耗品費等	269,704	383,251	293,239		-90,012	平成27年度は新規の出店団体への看板設置に費用を要したため
印刷製本費	128,520	159,840	203,472		43,632	チラシの枚数を増加し、封筒を印刷したため
会議・昼食代	183,925	168,470	129,480		-38,990	弁当・飲み物の個数を減らしたため
上棟式品物等	490,584	440,396	515,904		75,508	まきもの購入寄付金を頂いたため
4 役務費	236,266	276,495	253,971	250,000	-22,524	
通信運搬費	29,356	33,918	50,365		16,447	賛助金依頼の通知等を郵送するため
保険料	84,370	64,540	64,540			
クリーニング・手数料等	122,540	178,037	139,066		-38,971	平成27年度は楽器を修繕したため
5 委託料	3,032,508	3,090,028	3,024,351	3,050,000	-65,677	
イベント一式	2,350,000	2,400,000	2,349,767		-50,233	委託するテントやイスの数により増減するため
水道・電気一式等	164,960	152,000	81,000		-71,000	水道設置は費用が高いため、各自対応にしたため
警備業務一式	155,520	160,000	160,056		56	
模擬上棟式	177,228	177,228	177,228			
地場産品PR委託等	100,000	110,000	103,500		-6,500	試食品の量を少なくしたため
その他の委託	84,800	90,800	152,800		62,000	楽器運搬を委託にしたため
6 使用料及び賃借料	39,000	35,400	35,400	40,000		
バス借上げ料	32,400	32,400	32,400			
消化器リース	5,400					
ヘルスパーク電気料	1,200	3,000	3,000			
7 その他						
臨時雇賃金						
合計	5,290,507	5,473,880	5,328,817	5,310,000	-145,063	

## (収支)

	金額(円)			
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計	276,901	196,376	240,975	



(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 内原ふれあいまつり

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
内原ふれあいまつり実行委員会	主催	本部, ステージ, 案内, 広報
水戸市・内原地域自治連合会・水戸市内原商工会・水戸農業協同組合内原支店	共催	実行委員会に所属している。(運営・出店団体の調整, まつり準備等)
イベント会社	その他	ステージ設営等

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日: 11月3日)

	人数	主な業務
市職員	4人程度	本部2人, マスコットキャラクター
実行委員会	10人程度	本部7人, ステージ1人, 案内2人
委託会社職員	21人程度	ステージ9人, 駐車場警備12名
ボランティア	200人程度	本部10人, 子供のひろば100人, 会場見回り90人
計	235人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年6月30日	第1回実行委員会 (事業計画案・収支予算案, 開催要項及び催事について検討等)
平成28年7月29日	第2回実行委員会 (参加団体, イベント業者選定等)
7月下旬~8月31日	参加団体募集 (前年度参加団体を対象に募集)
平成28年9月3日	第3回実行委員会 (ステージプログラム, 参加団体, 子供の広場, 招待者等)
平成28年9月7日	出店団体代表者会議 (出店団体の紹介, 会場計画・出店場所等)
平成28年10月17日	第4回実行委員会 (運営体制, 本部役員・係員, 全般最終確認等)
平成28年10月29日	各部会係員代表者説明会 (係別分担業務について)
平成28年11月2日	会場準備 (会場・駐車場の準備, 物品整理等の諸準備)
平成28年11月3日	「2016内原ふれあいまつり」開催
平成28年11月19日	第5回実行委員会 (事業の経過報告及び実績について)
平成29年3月21日	第6回実行委員会 (会計決算報告及び監査報告について)

(これまでの開催実績)

年月日	第〇回	会場名	参加者数(人)(A)	係員数(人)(B)	総数(人)(A+B)
平成24年11月3日	第23回	水戸市内原ヘルスパーク	20,000	80	20,080
平成25年11月3日	第24回	水戸市内原ヘルスパーク	20,000	80	20,080
平成26年11月3日	第25回	水戸市内原ヘルスパーク	22,000	335	22,335
平成27年11月3日	第26回	水戸市内原ヘルスパーク	22,000	249	22,249
平成28年11月3日	第27回	水戸市内原ヘルスパーク	18,000	235	18,235

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員(市職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
						0		
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

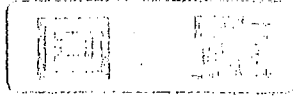
※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

#### 4 個別補助金に対する意見

次の補助金については、特に意見を付して見直しを求めるものである。

番号	名 称	担当課	意 見
1	住みよいまちづくり推進協議会補助金	市民生活課	市補助を財源として住みよいまちづくり推進協議会が地区コミュニティ組織へ支出をしているものと、市から地区コミュニティ組織へ直接補助しているものがあり、資金の流れが分かりにくいものとなっている。 透明性の向上を図るため総合的な制度変更を検討すべきである。
2	地域活動推進事業補助金	市民生活課	
3	消費者団体事業補助金	市民生活課	団体の活動成果が市民生活に反映できるように促すべきである。
4	雨水貯留施設等設置補助金	環境課	さらなる制度周知に努め、利用促進を図るべきである。
5	生ごみ処理容器購入補助金	ごみ対策課	さらなる制度周知に努め、利用促進を図るべきである。 また、処理容器と処理機の補助は統合すべきである。
6	生ごみ処理機購入補助金	ごみ対策課	
7	地域活動支援センター激変緩和対策補助金	障害福祉課	制度変更から相当年数が経過しているにもかかわらず激変緩和としているので、制度のあり方について検討すべきである。
8	市高齢者クラブ連合会補助金	高齢福祉課	市補助を財源として連合会が単位クラブへ支出をしているものと、市から単位クラブへ直接補助しているものがあり、資金の流れが分かりにくいものとなっている。 また、単位クラブへは2種類の補助を行っている。 透明性の向上を図るため総合的な制度変更を検討すべきである。
9	市高齢者クラブ補助金	高齢福祉課	
10	高齢者クラブ等活動事業補助金	高齢福祉課	
11	市医師会補助金	保健センター	団体の自主財源が多く補助率が低いことから、削減をすべきである。
12	水戸食品衛生協会補助金	保健センター	補助対象を明確化し、団体補助から支部団体に対する事業補助に変更すべきである。
13	市鍼灸マッサージ師会補助金	保健センター	補助対象を明確化し、団体補助から事業補助に変更すべきである。

番号	名称	担当課	意見
27	食の安全・安心支援事業補助金	農業技術センター	補助対象を明確化するとともに、効果を検証するなど制度のあり方を検討すべきである。
28	内原ふれあいまつり事業補助金	内原農政事務所	地域における自主的な運営による事業として経費のあり方について見直すとともに、協賛金や出店料などの自主財源確保を促し、削減すべきである。
29	生垣設置奨励補助金	公園緑地課	さらなる制度周知に努め、利用促進を図るべきである。
30	政務活動費補助金	議会総務課	市民の関心が高いものであることから、ホームページ等で交付先での用途等を公開すべきである。
31	民間保育所地域活動補助金	幼児教育課	補助率が高いため、適正な補助率を検討すべきである。
32	みと青年会補助金	生涯学習課	補助率が高いため、適正な補助率を検討すべきである。 なお、会員数が極端に少ないことから、その動向によっては廃止を検討すべきである。
33	市文化振興協議会運営事業補助金	文化課	補助対象団体の設立目的や構成員と事業内容に相違があるため、補助制度の抜本的な見直しが必要である。
34	各種大会選手役員派遣補助金	スポーツ課	競技により異なる基準を見直すべきである。
35	スポーツ推進委員広報発行補助金	スポーツ課	広報みとの活用を図ることにより削減すべきである。
36	チャレンジ・ザ・原始人事業補助金	内原中央公民館	旧内原町の児童生徒が対象であるが、合併から相当期間が経過したため、対象や事業のあり方について検討すべきである。
37	蜂駆除補助金	消防救助課	さらなる制度周知に努めるべきである。 また、受付窓口の拡大等により市民の利便性向上を検討すべきである。



平成 26 年 12 月 24 日

水戸市長 高橋 靖 様

水戸市補助金等検討専門委員

小 野 輝 男

石 川 知 子

井 上 拓 也

岡 部 登志子

鈴 木 祥 順

#### 平成 26 年度補助金等検討について

私たちは、平成 26 年 8 月 18 日に水戸市補助金等検討専門委員の委嘱を受けて、補助金等の検討を行いました。その結果について、「平成 26 年度水戸市補助金等検討報告書」のとおり報告いたします。

## 平成26年度補助金等検討報告書

### 1 補助金等の現状

水戸市においては、行財政改革プランに基づき定期的に補助金等の検討を行うこととしており、前回の平成21年度の検討から5年が経過している。

この間の補助金等の推移を平成21年度と平成25年度の決算を基に分析すると、まず負担金については、後期高齢者医療の一部事務組合に対する負担金などの変動が大きなものや臨時的なものを除いた経常的なものについて、団体加入負担金の見直しを行ったことにより、件数は35件減少し、金額は約580万円減少している。

補助金については、外郭団体に対する補助金や市街地再開発事業に対する補助金など臨時的なものを除いた経常的なものについては、件数は1件減少したが、金額は約4,250万円増加となっている。

この増加は、前回の検討委員の報告に基づき約3,460万円の削減を行ったが、私立幼稚園就園奨励費補助金や住宅用太陽光発電システム設置補助などが大幅に増額となったことや、新たにプレミアム付商品券発行支援事業補助金、まちなかフェスティバル実行委員会補助金、不妊治療費補助金などを実施したことが要因となっている。

### 2 補助金等の検討

補助金については、専門分野の団体の活用や事業の奨励などにより市の政策目的を実現する有効な手段であり、提案型協働事業補助金など新たな制度創設により、時代の変化に伴う課題に対し積極的に対応していることは評価すべきである。

しかしながら、補助金は一旦制度化されると必要性や効果の検証が疎かになり、特定の相手に継続的に支出されることで既得権益化してしまうという懸念がある。また、負担金についても、同一団体に対して定例的に支出されるものになってしまうことから、定期的な検討が必要である。

この検討に当たって、私たちは、全ての負担金及び補助金について、前回検討からの新設廃止及び増減額の確認を行った。特に補助金については、個別調書により内容の確認を行うとともに、詳細な確認が必要なものについては、事務を担当する部署から直接ヒアリングを行った。

その結果については、次のとおりである。

## 行政評価調書

事務事業名	市場活性化事業	評価初年度	平成 29 年度
実施主体	市場協力会	担当部署名	産業経済部公設地方卸売市場
第6次総合計画上の施策項目	コード	事業の根拠法令等	
大項目	未来に躍動する活力ある「みと」づくり	2	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 5
中項目	活力あふれる産業の振興	2	
小項目	工業、流通の振興	4	
		名称	

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	年度	②事業の完了予定の有無（有/無）	無	年度
③事業の概要 (概要) 公設地方卸売市場を一般市民に開放し、イベント等を開催することにより、市場が担っている生産者と消費者を結ぶ重要な役割を理解していただくと共に、生鮮食料品等のより一層の消費拡大を図ることを目的とする。 (主催) 市場協力会 (負担金)  (開催イベント) ・朝市 (毎月第2土曜日開催) ・みとっぼわくわく感謝市 (10月15日開催) ・年末感謝市 (12月27日～30日開催) ・教室 (年6回開催) ・市場見学 (年17回開催)				
④事業の目的				
ア【対象】誰を(何を)対象に		対象者 (平成29年4月1日)		
市民		約27万人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 公設地方卸売市場の役割の理解, 信頼性の向上, 生鮮食料品等の消費を拡大する。				
⑤成果指標 (市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)				
成果指標 1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標 2				
指標	市場の卸売業者 (5社) の取扱高金額	説明	各年度における取扱高金額	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 市場内事業者で構成されている市場協力会が主体となり、市場内事業者と消費者の交流が活性化化する。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 市場活性化事業としてイベント等を開催することにより、公設卸売市場の役割を理解していただけると共に、消費拡大につながる重要な事業である。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 消費者は、公設地方卸売市場内に来場する機会がなく、イベント等に参加することを機に、公設地方卸売市場に関心を持っていただけるようになる。				
⑨類似事業 (民間における類似事業, 市が実施している類似事業) 市が実施している類似事業はない。 民間・NPO等に類似事業はない。				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察 (市直営⇒民間・NPO, 実行委員会⇒市直営, 民間・NPO) 市場活性化事業においては、市場内事業者で構成されている市場協力会が実施主体であり、イベント等の開催には市場内事業者の協力, 参加が最も効率的である。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2 市場の卸売業者（5社）の取扱高金額（百万円）		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
26年度	15,000	14,843	99.0	75,000	72,003	96.0
27年度	15,000	14,014	93.4	75,000	75,808	101.1
28年度	15,000	14,063	93.8	75,000	76,205	101.6
29年度	15,000			75,000		
30年度	15,000			75,000		
①目標値の根拠	課内目標			H23.3に発生した東日本大震災以前の取扱金額相当に取扱金額が回復できるように努める（課内目標）		
②数値で表せない効果	市場への信頼性の向上					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 26 決算	国県支出金		旅費		168.43
	市債		報償費		
	その他	2,500	需用費		
	一般財源		役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	2,500		その他	2,500	
H 27 決算	国県支出金		旅費		178.39
	市債		報償費		
	その他	2,500	需用費		
	一般財源		役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	2,500		その他	2,500	
H 28 決算	国県支出金		旅費		177.77
	市債		報償費		
	その他	2,500	需用費		
	一般財源		役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	2,500		その他	2,500	
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他	2,500	需用費		
	一般財源		役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	2,500		その他	2,500	

③コスト削減の取組

--



4 1年目評価

(1) 1次評価 (内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	公設地方卸売市場の役割の理解と、消費拡大を図るために、イベント等を開催する活性化事業の継続が必要である。
○		④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	公設地方卸売市場への来場機会がなく、活性化事業を通して、市場に関心を持つ市民が多く、ニーズが高い。
○		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	民間、NPO等に類似事業はない。
合計			評価結果	A
3	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
○		②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑧有効性 ・2-成果指標	公設地方卸売市場の役割の理解と、消費拡大を図るためにイベント等を開催する活性化事業の継続が有効である。
		③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	
○		④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	全市民を対象にしたイベントである。
○		⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	市場内事業者で構成されている市場協力が主体となり、市場内事業者と消費者の交流が活性化するなど、手段が適切である。
合計			評価結果	A
3	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト ・別紙1 事業費内訳	
		②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	
○		③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	市場協力を構成する市場内事業者の協力、参加により事業実施しているので効率的である。
○		④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	市が実施している類似事業はない。市場で開催しており、他事業との統合も難しい。
○		⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	来場者一人当たりの行政コストは前年度より低くなっている。
合計			評価結果	A
3	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	1	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針
方向性		
1 現状のまま継続		
2 見直しの上で継続		
	ア	主体を代える（実施主体を代える）
	イ	手段を改善する（実施の手段を代える）
	ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）
	エ	簡素化する（規模を縮小する）
	オ	統合する（類似事業を統合する）
3 休止，廃止		
②課題と解決方法（「見直しの上継続」及び「休止，廃止」の場合，記入する。）		

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価  
委員会による意見

今後の方向性	
評価する点，改善すべき点	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止，廃止」の場合に記入する。）

改善目標 （又は休止，廃止の方向性）	
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況	
------------------	--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業)

## (収入)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 負担金	3,228,000	3,228,000	3,228,000	3,228,000		
2 寄附						
3 イベント協賛	300,000					
4 参加費	20,500	49,000	38,000		-11,000	参加費を徴収する事業に対して、参加者の減
5 商品売上						
6 諸収入	20					
7 前年度繰越金		527,515	735,191	822,716	207,676	
合計	3,548,520	3,804,515	4,001,191	4,050,716	196,676	

## (支出)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 旅費						
2 報償費	13,919	17,712	18,900	50,000	1,188	
謝礼金等	13,919	17,712	18,900	50,000	1,188	謝礼の増
3 需用費	365,985	681,998	590,437	926,875	-91,561	
消耗品費	85,869	376,626	357,407	926,875	-19,219	消耗品等費用の減
食糧費	280,116	305,372	233,030		-72,342	見学会時試食等の費用の減
4 役務費	94,008	94,176	94,176			
通信運搬費	72,408	72,576	72,576			
広告料	21,600	21,600	21,600			
5 委託料	648,000	772,400	907,740	1,250,000	135,340	
警備	648,000	772,400	907,740	1,250,000	135,340	駐車場警備員の単価の増
6 使用料及び賃借料						
7 その他	1,899,093	1,503,038	1,567,222	1,900,000	64,184	
補助金	100,000					
みとつぼわくわく感謝市費用	1,799,093	1,382,080	1,567,222	1,900,000	185,142	みとつぼわくわく感謝市費用の増
義援金		120,958			-120,958	常総市水害に対する義援金
合計	3,021,005	3,069,324	3,178,475	4,126,875	109,151	

## (収支)

	金額(円)			
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計	527,515	735,191	822,716	-76,159



(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
郡山市総合地方卸売市場	朝市実行委員会	市場の朝市	毎年	4,600	20	4,620	100	毎月第4日曜日(参加者数等及び事業費については28月平均実績)
梶市公設総合地方卸売市場	梶市場総合卸売同組合	市民感謝デー	毎年	6,000	100	6,100	0	毎月第2土曜日
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 みとつぼわくわく感謝市

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
市場協力会	主催	公設地方卸売市場を一般開放

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日：10月15日)

	人数	主な業務
市職員 (嘱託員含)	10人程度	本部1人, アナウンス1人, 記録1人, 着ぐるみ1人, イベント会場2人, 案内図配布2人, 案内図整理2人
市場内業者	35人程度	本部3人, 着ぐるみ2人, イベント会場30人
市場内業者	300人程度	卸業者5業者, 仲卸業者28業者, 組合3業者, 関連事業者 (銀行含) 18業者
計	345人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年6月	第1回 活性化実行委員会 (顔合わせ)
平成28年9月	第2回 活性化実行委員会 (企画内容, 予算等)

(これまでの開催実績)

年月日	第〇回	会場名	参加者数 (A) (人)	係員数 (B) (人)	総数 (A+B) (人)
平成28年10月15日		水戸市公設地方卸売市場	2,500	345	2,845
平成27年11月7日		〃	2,600	345	2,945
平成26年10月18日		〃	3,000	345	3,345
平成25年10月19日		〃	3,500	345	3,845
平成24年10月21日		〃	5,000	345	5,345

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員 (市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
柏市公設総合地方卸売市場	かしわ市場まつり実行委員会	かしわ市場まつり	毎年	50,000	450	50,450	3,500	H28実績(第12回)
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	<input checked="" type="radio"/> 無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。





(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
						0		
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。



(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数 (人)	係員数 (人)	総数 (人)	事業費 (千円)	備考
郡山市総合地方卸売市場	朝市実行委員会	市場料理教室	毎年	40	6	46	127	H28実績 (2月に3回)
柏市公設総合地方卸売市場	柏市	調理(青果・水産)・フアラワー講習会	毎年	100	15	115	140	H28実績 (各年1回)
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	(有)	無
-------	-----	---

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。



(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
郡山市総合地方卸売市場	朝市実行委員会	夏休み親子たんけん隊	毎年	53	10	63	0	H28実績(7月に1回)
郡山市総合地方卸売市場	朝市実行委員会	市場見学	毎年(随時)	2,323	200	2,523	0	H28実績(36回)
柏市公設総合地方卸売市場	柏市	市場見学	毎年(随時)	850	5	855	0	H28実績(13回)
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

～アンケートにご協力ください～

今回参加してどうでしたか。

- ① 楽しかった
  - 2. つまらなかつた
  - 3. どちらでもない
- 試食はどうでしたか。

- ① 美味しかった
- 2. ふう
- 3. まずかつた

ご意見、ご感想をお聞かせください。

また、改善点などがありましたら、ご記入お願いします。

ご意見・ご感想  
 スーパーでたべた物は全然違う  
 ので感動しました。め、ちりおいし  
 かったです。ありがとうございます。

ご協力ありがとうございました。

～アンケートにご協力ください～

今回参加してどうでしたか。

- ① 楽しかった
  - 2. つまらなかつた
  - 3. どちらでもない
- 試食はどうでしたか。

- ① 美味しかった
- 2. ふう
- 3. まずかつた

ご意見、ご感想をお聞かせください。

また、改善点などがありましたら、ご記入お願いします。

ご意見・ご感想  
 大変 ~~急~~ べんきょうに なりました。  
 季節の野菜のたべかたや  
 " 集の心 ~~を~~ 知りたくと  
 思っています。

ご協力ありがとうございました。

～アンケートにご協力ください～

今回参加してどうでしたか。

- 1. 楽しかった
- 2. つまらなかつた
- 3. どちらでもない

試食はどうでしたか。

- 1. 美味しかった
- 2. ぶつう
- 3. まずかつた

ご意見、ご感想をお聞かせください。

また、改善点などがありましたら、ご記入お願いします。

ご意見・ご感想

まぐろについて、いろいろと知るとか、でき  
 とよよかった。特にまぐろの切り方、おもしろくろに  
 盛り、そして保存法、好むと好むと、水、お好みで水分と  
 を機会に家庭にもおもしろい、おもしろ  
 食べらぬ子と思つた  
 ・今後このような企画を楽しみに  
 しています。

本日ありがとうございました

ご協力ありがとうございました。

～アンケートにご協力ください～

今回参加してどうでしたか。

- 1. 楽しかった
- 2. つまらなかつた
- 3. どちらでもない

試食はどうでしたか。

- 1. 美味しかった
- 2. ぶつう
- 3. まずかつた

ご意見、ご感想をお聞かせください。

また、改善点などがありましたら、ご記入お願いします。

ご意見・ご感想

知らなかつたこととたくさん教えていただきました。  
 切り方、解凍や解凍の仕方など勉強になりました。  
 普段入ったことの無い市場も見学でき、面白い物も  
 最後には美味しいマクロメロンもいただきました  
 楽しい時を過ごせました。ありがとうございました。  
 (マクロの食べ比べもよかったです。)

ご協力ありがとうございました。



～アンケートにご協力ください～

今回参加してどうでしたか。

- ① 楽しかった 2. つまらなかった 3. どちらでもない

試食はどうでしたか。

- ① 美味しかった 2. ぶつう 3. まずかった

ご意見、ご感想をお聞かせください。

また、改善点などがありましたら、ご記入お願いします。

ご意見・ご感想

さし竹の切り方が勉強になりました。

ご協力ありがとうございました。

～アンケートにご協力ください～

今回参加してどうでしたか。

- ① 楽しかった 2. つまらなかった 3. どちらでもない

試食はどうでしたか。

- ① 美味しかった 2. ぶつう 3. まずかった

ご意見、ご感想をお聞かせください。

また、改善点などがありましたら、ご記入お願いします。

ご意見・ご感想

思ひもよぐぬ内答で大満足  
ごぼんとみよけお茶、+ロソ、2がいの  
種類は一種と思ひぬの敬種及びエセ  
まじりのゆり方、菊の食べ方、わらびの味  
10分間で食べら500円位もとい身試して。

ご協力ありがとうございました。

～アンケートにご協力ください～

今回参加してどうでしたか。

- ① 楽しかった 2. つまらなかった 3. どちらでもない

試食はどうでしたか。

- ① 美味しかった 2. ぶつう 3. まずかった

ご意見、ご感想をお聞かせください。

また、改善点などがありましたら、ご記入お願いします。

ご意見・ご感想

誠に楽しく大変美味で、ご感想で  
出る時は思いませんでした海せん井ほどに  
が参加して色々知って楽しくすこし  
又家庭火とり入れて、人生妙い事に  
暮らしたくないです。

ご協力ありがとうございました。

～アンケートにご協力ください～

今回参加してどうでしたか。

- ① 楽しかった 2. つまらなかった 3. どちらでもない

試食はどうでしたか。

- ① 美味しかった 2. ぶつう 3. まずかった

ご意見、ご感想をお聞かせください。

また、改善点などがありましたら、ご記入お願いします。

ご意見・ご感想

スーパ-なぞで"食バ"でいたまご3の味  
しか知りませんでした。  
今日は全てにおいしく満足いたしました。  
た。又市場見学の中を  
値段の安いことに驚きました。  
今日はありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

～アンケートにご協力ください～

今回参加してどうでしたか。

1. 楽しかった 2. つまらなかつた 3. どちらでもない

試食はどうでしたか。

1. 美味しかった 2. ふつう 3. まずかつた

ご意見、ご感想をお聞かせください。

また、改善点などがありましたら、ご記入お願いします。

ご意見・ご感想

いろいろな気づきも大変  
とても、ありがたうございました。  
基本的に「お楽しみ」が大好きであ  
り、値段については、皆さんの口には合  
うように、とにか  
おいしかったです。



ありがとうございました。  
ご感想ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。



## 《特別会計 負担金》

## 6. 平成29年度 市場活性化負担金 負担額 (案)

(単位:円)

事業所	平成28年度	平成29年度	年度差額
	負担額	負担額	
開設者	2,602,000	2,602,000	0
常洋水産(株)	100,000	100,000	0
茨城水産(株)	100,000	100,000	0
茨城県大同青果(株)	100,000	100,000	0
水戸中央青果(株)	100,000	100,000	0
(株)茨城県水戸中央花き市場	100,000	100,000	0
水戸水産仲卸(協)	100,000	100,000	0
水戸青果仲卸(協)	100,000	100,000	0
花き仲卸	10,000	10,000	0
水戸中央水産(協)			
水戸地方青果物商業(協)			
水戸地方総合食品(協)			
関連店舗組合	100,000	100,000	0
(株)常陽銀行	20,000	20,000	0
合計	3,432,000	3,432,000	0

平成29年度負担額(案)

負担金 3,432,000 円

開設者負担金 2,602,000 円 前年度比 ー

各事業所負担金合計 830,000 円 前年度比 ー

## 内 訳

(1)活性化対策関係費 3,228,000 円

(イベント開催等)

(2)市場ホームページ管理更新費用 204,000 円



## 行政評価調書

事務事業名	チャレンジ・ザ・原始人事業	評価初年度	平成 29 年度
		担当部署名	内原中央公民館
実施主体	チャレンジ・ザ・原始人運営委員会	担当者名	中宮 (259-4044)
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	市民と行政との協働による自主・自立した「みと」づくり	4	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 4
中項目	市民の多様な活動の推進	1	
小項目	生涯学習活動の推進	3	
		名称	水戸市・内原町合併建設計画

### 1 事業の概要, 目標

①事業の開始時期	H3 年度	②事業の完了予定の有無(有/無)	無	年度
③事業の概要 (概要) 平成17年2月に水戸市と内原町が合併し、水戸市・内原町合併建設計画の中で「青少年健全育成事業」としてチャレンジ・ザ・原始人の実施が位置付けられた。また、平成26年12月に水戸市・内原町合併建設計画〔変更計画〕が策定され、その中でも同様に位置付けられ、継続事業となっている。 チャレンジ・ザ・原始人事業は、大自然の中での体験を通して、生きる力、忍耐力、自立心、物を大切に作る心など、青少年の心のたくましさを育む。また、異年齢構成の班活動や宿泊(4泊5日)しての自然体験活動を実施することにより、ジュニアリーダーとしての人材育成を図る。 (主催) チャレンジ・ザ・原始人運営委員会(市補助金)				
ア【対象】誰を(何を)対象に		対象者(平成29年4月1日)		
小学5・6年生及び中学生		約1,900人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 チャレンジ・ザ・原始人(宿泊型自然体験活動)事業の実施を通して、ジュニアリーダーとしての人材を育成する。				
⑤成果指標(市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)				
成果指標1				
指標	イベント参加者数	説明	各年度におけるイベントの参加者数	
成果指標2				
指標		説明		
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。				
平成3年度の事業開始当初から運営委員会が主催する市民主体のイベントであり、青少年育成団体や市民ボランティアの協力により継続的な運営を実現している。なお、当該運営委員会は平成29年4月にNPO法人を設立し、今後、事業の委託についても検討する。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。				
チャレンジ・ザ・原始人事業には、継続的に青少年育成団体からの指導者の協力が得られていることから、「青少年の健全育成」や「地域の教育力の向上」に寄与しており、同規模のイベントでは、他に類似事業は存在しないことから、必要性が大きい。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。				
大自然の中で、4泊5日の異年齢構成による班活動を通して生きる力や心のたくましさを養っており、ジュニアリーダーの育成とともにサブリーダーの活躍の場としての位置付けもあり、有効である。				
⑨類似事業(民間における類似事業、市が実施している類似事業)				
類似事業なし				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察(市直営⇒民間・NPO, 実行委員会⇒市直営, 民間・NPO)				
現在は、ボランティアが中心の運営委員会による運営となっており効率的である。今後、運営委員会が設立したNPOへの委託を検討しているが、運営主体が変わっても同様に効率的な運営を期待できる。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント参加者数（人）			成果指標 2		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
26年度	100	61	61.0			
27年度	100	62	62.0			
28年度	100	83	83.0			
29年度	100					
30年度	100					
①目標値の根拠	定員（小学5・6年生 70人 中学生 30人）					
②数値で表せない効果	・参加者の自己成長					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 26 決算	国県支出金		旅費		33,590.16
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	2,049	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	2,049		その他	2,049	
H 27 決算	国県支出金		旅費		35,241.94
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	2,185	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	2,185		その他	2,185	
H 28 決算	国県支出金		旅費		26,433.73
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	2,194	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	2,194		その他	2,194	
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	2,200	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	2,200		その他	2,200	

③コスト削減の取組

研修施設の利用に当たっては、宿泊料等の利用料が無料の場所を選定し実施している。



4 1年目評価

(1) 1次評価 (内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

事務事業の評価	必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
			①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
			②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		○	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	ジュニアリーダーの人材育成を図るために、イベントの継続が必要である。
		○	④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	自然体験活動への参加のきっかけを求めている小中学生が多い。
		○	⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	民間、NPO等に類似のイベントはない。
		合計		評価結果	A
		3	点		
	有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
			①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
		○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑥有効性 ・2-成果指標	ジュニアリーダーの育成の場となっており、イベントの継続が有効である。
			③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	
		○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	学校や学年の枠を越えた人事交流が図られる。
		○	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	生涯学習活動を推進する市民ボランティアが継続的に運営に関わっており、手段が適切である。
		合計		評価結果	A
	3	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄	
		①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト ・別紙1 事業費内訳		
	○	②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	研修施設の利用に当たっては、利用料等が無料の場所において実施している。	
		③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察		
	○	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	市の事務事業で類似したものはない。	
	○	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	参加者1人当たりの行政コストは低い水準で推移している。	
	合計		評価結果	A	
	3	点			

イ 評価結果

①今後の方向性	1	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針
方向性		
1 現状のまま継続		
2 見直しの上で継続		
ア	主体を代える（実施主体を代える）	
イ	手段を改善する（実施の手段を代える）	
ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	
エ	簡素化する（規模を縮小する）	
オ	統合する（類似事業を統合する）	
3 休止，廃止		

②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止，廃止」の場合，記入する。）

--	--

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価  
委員会による意見

今後の方向性	
評価する点，改善すべき点	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止，廃止」の場合に記入する。）

改善目標 (又は休止，廃止の方向性)	
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況

--	--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価 (内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業)

## (収入)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 補助金	2,048,684	2,185,165	2,194,284	2,200,000	9,119	支出増
2 寄附						
3 イベント協賛						
4 参加費	427,000	455,000	588,000	1,000,000	133,000	参加者の増による
5 商品売上						
6 諸収入	101	64	3	500		
合計	2,475,785	2,640,229	2,782,287	3,200,500	142,119	参加者の増による

## (支出)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 旅費	15,400			10,000		
特別旅費						
旅費	15,400			10,000		
2 報償費	398,000	539,000	496,500	520,000	-42,500	
謝礼金等	398,000	539,000	496,500	520,000	-42,500	指導者(ボランティア)の減
3 需用費	1,393,663	1,416,767	1,523,999	1,550,500	107,232	
消耗品費	468,898	387,554	302,640	380,500	-84,914	在庫利用による減
印刷製本費	247,055	204,120	268,395	250,000	64,275	参加者の増による
食糧費	670,510	802,293	947,823	900,000	145,530	参加者の増による
燃料費	7,200	5,600	5,141	10,000	-459	
修繕費		17,200		10,000	-17,200	修繕対応なしによる減
4 役務費	72,744	86,000	167,400	140,000	81,400	
通信運搬費	22,200		44,640	50,000	44,640	参加者の増による
保険料		29,624	36,008	30,000	6,384	参加者の増による
手数料	50,544	56,376	86,752	60,000	30,376	参加者の増による
5 委託料						
6 使用料及び賃借料	581,708	577,462	587,388	950,000	9,926	
使用料	93,980	140,970	27,084	150,000	-113,886	指導者(ボランティア)の減
賃借料	487,728	436,492	560,304	800,000	123,812	参加者の増による
7 その他	14,270	21,000	7,000	30,000	-14,000	
臨時雇賃金						
その他	14,270	21,000	7,000	30,000	-14,000	参加キャンセル減による
合計	2,475,785	2,640,229	2,782,287	3,200,500	142,058	

## (収支)

	金額(円)			
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計				

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 チャレンジ・ザ・原始人事業

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
チャレンジ・ザ・原始人運営委員会	主催	本部
水戸市	協力	事務局

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日：8月19日～8月23日)

	人数	主な業務
市職員	2人程度	研修指導補助2人
運営委員会	11人程度	本部9人, 事務局2人
指導者	15人程度	研修の指導者15人
ボランティア	20人程度	研修のボランティア20人
計	48人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年4月	第1回運営委員会(顔合わせ, スケジュール確認, 事業計画・収支計画等)
平成28年5月	第1回指導者会議
平成28年6月	第2回指導者会議, 第3回指導者会議
平成28年7月	研修場所下見, 事前研修, 第4回指導者会議
平成28年8月	第5回指導者会議, チャレンジ・ザ・原始人本研修実施
平成28年9月	事後研修
平成28年11月	事業実施報告書作成及び配付

(これまでの開催実績)

年月日	第〇回	会場名	参加者数(人)	(A)	(B)	係員数(人)	総数(人)(A+B)
平成24年8月17日～8月21日	22	福島県「国立那須甲子青少年自然の家」	82	82	29		111
平成25年8月17日～8月21日	23	福島県「国立那須甲子青少年自然の家」	55	55	33		88
平成26年8月21日～8月25日	24	福島県「国立那須甲子青少年自然の家」	61	61	29		90
平成27年8月21日～8月25日	25	福島県「国立那須甲子青少年自然の家」	62	62	40		102
平成28年8月19日～8月23日	26	福島県「国立那須甲子青少年自然の家」	83	83	50		133

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員(市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等)を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数 (人)	係員数 (人)	総数 (人)	事業費 (千円)	備考
鹿嶋市	市	フロンティア・アドベンチャー事業	毎年度	70	100	170	4700	
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数（市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等）を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

## 行政評価調書

事務事業名	農業祭	評価初年度	平成 28 年度		
		担当部署名	産業経済部農政課		
実施主体	農業祭実行委員会				
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等		
大項目	未来に躍動する活力ある「みと」づくり	2	種類	1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項	
中項目	活力あふれる産業の振興	2		4. 計画等 5. 特になし	4
小項目	農林水産業の振興	3		名称	水戸市農業基本計画（第4次）

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	S51 年度	②事業の完了予定の有無（有/無）	無	年度
③事業の概要 （概要）農業の振興と市民生活の向上を図るため、農産物直売や農産物共進会を開催することにより、水戸市の農業を広く紹介するとともに、生産者の意欲向上と水戸市産農畜産物の消費拡大を促す。 （主催）産業祭実行委員会、農業祭実行委員会（市補助金）				
④事業の目的				
ア【対象】誰を（何を）対象に 市民		対象者（平成28年4月1日） 約27万人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 水戸市産業祭（農業祭）の開催を通して、消費者である市民が本市農業の魅力に理解を深め、地産地消を推進するとともに、商工祭との合同開催することで産業の活性化を図る。				
⑤成果指標（市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。）				
成果指標 1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標 2				
指標	農産物共進会出品数	説明	各年度における農産物共進会への出品数	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 実行委員会が主催する生産者と消費者の交流のイベントであり、農業者団体（JA水戸）の自主的な運営を実現している。 なお、会場設営や電気施設等は、業務委託により対応している。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 農業祭は市内最大規模の農産物直売であり、消費者が生産者と顔を合わせる数少ない場である。また、市民ニーズも高く、同規模のイベントは他に類似事業は存在しないことから必要性が大きい。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 農業祭、商工祭を産業祭として合同開催しており、毎年多くの来場者でにぎわっており、農業を含め本市産業全体の活性化を図る目的から有効である。				
⑨類似事業（民間における類似事業、市が実施している類似事業） 内原ふれあいまつり				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察（市直営⇒民間・NPO、実行委員会⇒市直営、民間・NPO） 農業祭を主催する実行委員会は、農業者団体であるJA水戸が中心的役割を果たし運営しており、水戸市との協働事業であることから生産者及び消費者への影響力があり、他の運営主体が実施するより効率的である。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2 農産物共進会出品数		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
25年度	54,000	85,000	157.4	1,100	939	85.4
26年度	54,000	82,000	151.9	1,100	1,118	101.6
27年度	54,000	33,000	61.1	1,100	1,051	95.5
28年度	54,000	42,000	77.8	1,100	788	71.6
29年度	42,000			1,100		
30年度						
①目標値の根拠	来場者数前年度以上			課内方針		
②数値で表せない効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者と消費者の交流促進</li> <li>・農業者の生産意欲向上</li> </ul>					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 25 決算	国県支出金		旅費		19.41
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	1,650	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	1,650		その他	1,650	
H 26 決算	国県支出金		旅費		20.12
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	1,650	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	1,650		その他	1,650	
H 27 決算	国県支出金		旅費		50.00
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	1,650	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	1,650		その他	1,650	
H 28 決算	国県支出金		旅費		39.29
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	1,650	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	1,650		その他	1,650	
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	1,650	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	1,650		その他	1,650	

③コスト削減の取組

JA水戸直売部会員や学生ボランティアを活用するほか、商工祭との合同開催により来場者駐車場の整備等を事務局で実施する等経費の削減に努めている。



4 1年目評価

(1) 1次評価 (内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	市内の生産者と消費者をつなぐイベントであり、必要である。
○		④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	生産者、消費者の双方にメリットがありニーズが高い。
○		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	民間、NPO等に類似のイベントはない。
合計			評価結果	A
3	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
○		②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑥有効性 ・2-成果指標	農業の生産の意欲向上や消費者が求める安全・安心な農産物の提供に繋がるものとして有効である。
		③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	
○		④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	全市民を対象にしたイベントである。
○		⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	農業者団体が自ら事業主体となり運営を行っており手段が適切である。
合計			評価結果	A
3	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト	
○		②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	JA水戸直売部会員や学生ボランティアを活用するほか、商工祭との合同開催により駐車場整備を事務局で実施するなど経費の削減に努めている。
○		③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	生産者団体が自ら運営を行っており関係機関との調整など効率的である。
		④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	
		⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	
合計			評価結果	B
2	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ
方向性			
1 現状のまま継続			
2 見直しの上で継続			
ア	主体を代える（実施主体を代える）		
イ	手段を改善する（実施の手段を代える）		
ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）		
エ	簡素化する（規模を縮小する）		
オ	統合する（類似事業を統合する）		
3 休止、廃止			
<p>②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。）          これまで、天候の影響や駐車場からの距離など開催場所に課題があったことから、来場者数が安定してこなかった。安定した集客が見込めるように、今後の開始場所の検討を行う。          （参考）～平成26年度・・・水戸市総合運動公園          平成27年度・・・千波湖自由広場（雨で地面がぬかるみ出店者からも強く改善が求められている）          平成28年度・・・茨城県三の丸庁舎イベント広場</p>			

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
<p>評価する点、改善すべき点          農業祭は、農業の振興・発展と市民生活の向上を目的とした、実行委員会が実施主体のイベントであり、商工祭と合同で産業祭として開催されている。          本イベントについては、農業者と市民との交流の場として有益であるとともに、実行委員会による運営についても、おおむね評価できるものである。          しかしながら、来場者が8万人を超える中、天候や駐車場によって集客が影響される状況は課題であり、担当課が十分認識しているように、開催場所の検討が必要である。アンケート結果や出店者・来場者の意向を踏まえた上で、適切な開催場所を選定していくべきである。          また、イベントに要する費用は、市からの補助金及びJA水戸の賛助金により構成されるが、それぞれ同額の負担となっており、積算根拠を明確にするなど妥当性について検証が必要である。          さらに、本イベントは、商工祭と合同で産業祭として開催されているが、商工祭は出店者から出店料を徴収している一方、農業祭はJA水戸会員から出店料を徴収していないなど相違があることから、関係団体をはじめ関係者が合理的と評価できるような検証が必要である。          目標設定についても、イベント来場者数の目標は農業祭と商工祭で異なるが、実績は産業祭として同じ実績になっている。そのため、商工祭実行委員会と協議して、目標設定の統一などを図るべきである。          広報についても、JA水戸会員あての広報だけでなく、商工祭と連携をし、水戸市民にとどまらず、茨城県民や県外に対してもPRするなど、効果的な発信方法を検討するべきである。          そのため、1次評価の「見直しの上で継続（手段を改善する）」は、妥当である。          なお、農業祭及び商工祭は、合同で産業祭として実施されているイベントであり、二つのイベントを分けて審議することが難しいことから、次年度以降の評価のあり方について検討するべきである。特に収支報告については、産業祭としてのものを用意した上で、農業祭と商工祭単独のものを作成してもなお不公平や矛盾が生じないように、対応を進めるべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続(手段を改善する)
<p>農業祭は、実行委員会が実施主体のイベントであり、商工祭と合同で産業祭として開催され、農業者と市民との交流の場として有効であるとともに、実行委員会による運営についても適切に実施されている。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、天候や駐車場によって集客に影響が出る状況は課題であるため、出店者からのアンケート結果等を踏まえ、開催場所を検討する必要がある。</p> <p>また、イベントに要する費用は、市からの補助金及びJA水戸の賛助金で構成され、それぞれ同額を負担しているが、補助額の妥当性等の観点から、支出内容を精査し、費用対効果について検証する必要がある。</p> <p>さらに、来場者数の目標設定については、商工祭実行委員会と協議して統一を図る必要があるほか、広報についても、市外や県外に対してもPRするなど、効果的な発信方法を検討する必要がある。</p> <p>そのため、「見直しの上で継続(手段を改善する)」とする。</p> <p>なお、次年度以降の評価方法については、行政評価委員会からの意見にあるとおり、産業祭としての収支報告も作成した上で、商工祭と合同で評価を行うなど、検討するものとする。</p>	

※ 2次評価に記載のある「出店料」について

本イベントは、商工祭と合同で産業祭として開催されており、商工祭は出店者から出店料を徴収している一方、農業祭はJA水戸会員から出店料を徴収していないなど相違があることについて、2次評価において指摘を受けたところである。

市内農産物の多くは、JA水戸を通じて出荷されていることから、農産物直売は、農業祭の事務局であるJA水戸が主催し、JA水戸が販売する形で実施しており、当初から出店料の徴収といった考えはない。そのため、農業祭に係る経費は、水戸市からの補助金とJA水戸からの賛助金により支出しているものである。

5 1年目改善目標(1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	商工祭との合同開催であるため、商工祭実行委員会と協議し、出店者からのアンケート結果等を踏まえ、来場者及び出店者の利便性が向上するよう、開催場所を検討するとともに費用対効果を検証する。また、来場者数の目標設定について統一を図るとともに、効果的なPR方法を検討する。
-----------------------	---

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>平成28年度について、1年目改善目標である開催場所の検討を行った結果、天候等によって集客に影響があることは懸念されるものの、水戸駅から近く公共交通の利便性が良いこと、まちなかのにぎわいに寄与すること、雨天時の水はけが良いことなどの条件等を考慮し、茨城県三の丸庁舎イベント広場で開催した。なお、各実行委員会との協議及び産業祭来場者からのアンケート結果より、来場者駐車場等についての意見があったものの、開催場所はおおむね好評であったと評価することから、更なる来場方法の確保を検討しつつ、本年度も引き続き、同場所での開催に向けて各種手続を進めることとする。</p> <p>費用対効果としては、産業祭来場者アンケート等から計算した経済波及効果が105百万円(商工課が来場者消費額等から算出)あり、一定の効果があったと考える。</p> <p>目標数(来場者数)については、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会と協議し、今年度から統一を図った。</p> <p>イベントPRの手法としては、平成28年度から民間事業者に協力を依頼し、タウン誌へ掲載を行ったほか、市や商工会議所のSNS等の活用による各種広報を強化した結果、来場者数が増加した。</p>
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価 (内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業)

## ※農業祭の事業費内訳

## (収入)

科目	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 補助金	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000		
2 寄附							
3 賛助金	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000		
4 諸収入	138,554	132,163	110,480	110,985	100,000	505	
合計	3,438,554	3,432,163	3,410,480	3,410,985	3,400,000	505	

## (支出)

科目	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 会場設営費	844,500	863,742	761,238	884,142	900,000	122,904	
設営費	724,500	743,742	761,238	884,142	900,000	122,904	会場変更により増額となった。
工事費							
賃借料	120,000	120,000					
2 イベント費	2,183,955	2,161,022	2,301,693	2,188,409	2,120,000	-113,284	会場変更により減額となった。
(共進会, 展示コーナー等)							
3 広報宣伝費							
4 会議費	63,460	37,907	68,130	64,000	50,000	-4,130	
5 管理運営費	260	2,080			30,000		
警備費					30,000		
諸費	260	2,080					
6 事務費	346,379	367,412	279,419	274,434	300,000	-4,985	
印刷費	51,600	51,600	42,400	48,600	60,000	6,200	
通信費	560	732	8,987	1,558	10,000	-7,429	
消耗品費	171,779	199,460	133,152	116,846	130,000	-16,306	
雑費	122,440	115,620	94,880	107,430	100,000	12,550	
合計	3,438,554	3,432,163	3,410,480	3,410,985	3,400,000	505	

## (収支)

	金額(円)				
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計					

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 農業祭

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
農業祭実行委員会	主催	(農業祭) 本部, ステージ, 案内, 広報
産業祭実行委員会	主催	(産業祭) 本部, ステージ, 案内, 広報
水戸市	共催	本部, 農産物共進会, 出店団体調整, 広報
イベント会社	その他	ステージ設営等, テント, 机, 椅子

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日: 11月19日, 11月20日)

	人数	主な業務
市職員	5人程度	本部1人, 農産物共進会4人
農業祭実行委員会	3人程度	本部2人, 案内1人
ボランティア	100人程度	店舗運営ボランティア
産業祭実行委員会	2人程度	本部2人
計	110人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年4月	産業祭第1回ワーキンググループ会議 (商工祭合同開催に向けた顔合わせ, 内容協議等)
平成28年7月	産業祭第2回ワーキンググループ会議 (会場確認, ステージ内容協議等)
平成28年10月	実行委員会, 実施委員会 (スケジュール確認, 役割分担確認, 会場説明等)
平成28年11月	農産物共進会審査委員会 (審査会実施)
平成28年11月	農業祭実施

(これまでの開催実績)

年月日	第○回	会場名	参加者数(人)(A)	係員数(人)(B)	総数(人)(A+B)
24年11月17日～18日	第37回	水戸市総合運動公園	65,000	110	65,110
25年11月16日～17日	第38回	水戸市総合運動公園	85,000	110	85,110
26年11月15日～16日	第39回	水戸市総合運動公園	82,000	110	82,110
27年11月14日～15日	第40回	千波公園ふれあい広場	33,000	110	33,110
28年11月19日～20日	第41回	茨城県三の丸庁舎イベント広場	42,000	110	42,110

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員(市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等)を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
ひたちなか市	推進協議会	ひたちなか市産業交流フェア	平成28年度	27,000	68	27,068	21,273	農業, 交通, 科学等同時開催
那珂市	実行委員会	那珂市産業祭	平成28年度	8,400	12	8,412	5,000	
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	(無)

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。





## 行政評価調書

事務事業名	商工祭	評価初年度	平成 28 年度	
		担当部署名	産業経済部商工課	
実施主体	商工祭実行委員会			
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等	
大項目	未来に躍動する活力ある「みと」づくり	2	種類	1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項
中項目	活力あふれる産業の振興	2		4. 計画等 5. 特になし 5.
小項目	商業の振興	2		名称

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	昭和51年度	②事業の完了予定の有無(有/無)	無	年度
③事業の概要 (概要) 商工祭・農業祭の合同で実施される水戸市産業祭は、水戸市の商工業および農業を広く市民に紹介し、その振興・発展と、市民生活の向上を目的に開催するものであり、各事業者の地場産品の展示即売や、JAによる新鮮野菜の販売、飲食コーナーや各種展示、ステージイベントなどを実施している。 (主催) 産業祭実行委員会、商工祭実行委員会(市補助金)				
④事業の目的				
ア【対象】誰を(何を)対象に	市民	対象者(平成28年4月1日)	約27万人	
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 水戸市産業祭(商工祭)の開催を通して、市民の産業への関心を高めるほか、市内事業者へ各事業等のPRの場を提供するなどし、産業振興を図る。				
⑤成果指標(市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)				
成果指標1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標2				
指標	前年より売り上げの増加した店舗数 ※出店者アンケート	説明	各年度における売り上げの増加店舗数 ※出店者アンケート	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 水戸商工会議所が事務局となり、実行委員会が主催。 市からの補助金のほか、会員から出展料を徴収し運営費としている。 会場設営等を会議所会員に委託し、費用を抑えるなど、効率的な運営に努めている。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 水戸市産業祭(商工祭)は開催回数が40を超え、市内事業者のPRの場として定着し、毎年一定の来場や出展があるほか、水戸市の産業をコンセプトに開催されるイベントはほかに存在しないため必要性が高い。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 毎年、一定の来場や出展があり、協同組合等の出展による、この場でしか受けられないワークショップ等の独自サービスもあるため、産業への関心を高めるイベントとして有効である。				
⑨類似事業(民間における類似事業、市が実施している類似事業) 内原ふれあいまつり				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察(市直営⇒民間・NPO, 実行委員会⇒市直営, 民間・NPO) 市の産業振興にコンセプトを絞って開催されるイベントであるため、市内事業者と密接な関係にある水戸商工会議所が事務局であるのが効率的である。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2 前年より売り上げの増加した店舗 ※出店者アンケート		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
25年度	65,000	85,000	130.8	10	11	110.0
26年度	85,000	82,000	96.5	11	17	154.5
27年度	30,000	33,000	110.0	5	1	20.0
28年度	33,000	42,000	127.3	1	8	800.0
29年度	42,000			8		
30年度	-			-		
①目標値の根拠	来場者数前年度以上			売り上げの増加した店舗前年度以上		
②数値で表せない効果	・市内産業の振興					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 25 決算	国県支出金		旅費		36.47
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	3,100		その他	3,100	
H 26 決算	国県支出金		旅費		37.80
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	3,100		その他	3,100	
H 27 決算	国県支出金		旅費		93.94
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	3,100		その他	3,100	
H 28 決算	国県支出金		旅費		73.81
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	3,100		その他	3,100	
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	3,100		その他	3,100	

③コスト削減の取組

商工会議所青年部の協力や学生ボランティア等を活用するほか、来場者駐車場の整備等を事務局等で実施し、経費削減に努めている。

4 1年目評価

(1) 1次評価（内部評価） ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	市内事業者の発展とともに、市民生活の向上に寄与することから、イベントの継続が必要である。
○		④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	市内事業者が事業PRする場所として積極的に参加している。
○		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	産業をコンセプトに開催されるイベントはない。
合計			評価結果	A
3	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
○		②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑥有効性 ・2-成果指標	市内事業者の発展とともに、市民生活の向上に寄与することから、イベントの継続が有効である。
		③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	
○		④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	全市民を対象にしたイベントである。
○		⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	市内事業者と密接に関わっている水戸商工会議所が事務局を担うことにより、市内事業者の出展等がスムーズに行われている。
合計			評価結果	A
3	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト	
○		②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	会場設営の一部や来場者駐車場の整備などを事務局等で実施し、できる限り費用の掛からないように考慮している。
○		③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	水戸商工会議所が事務局を担うことにより、労力を要する出展調整がスムーズに行われている。
		④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	
		⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	
合計			評価結果	B
2	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ
方向性			
1 現状のまま継続			
2 見直しの上で継続			
ア 主体を代える（実施主体を代える）			
イ ○ 手段を改善する（実施の手段を代える）			
ウ 効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）			
エ 簡素化する（規模を縮小する）			
オ 統合する（類似事業を統合する）			
3 休止、廃止			
②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。） 屋外でのイベントであるため、来場者数は天候により大きく左右されてしまう。 今後は、単位当たりの行政コストの削減が図られるよう、更なる集客に向けたPRや情報発信に努めるとともに、来場しやすい開催場所の検討を進める。			

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
<p>評価する点、改善すべき点</p> <p>商工祭は、商業の振興・発展と市民生活の向上を目的とした、実行委員会が実施主体のイベントであり、農業祭と合同で産業祭として開催されている。</p> <p>本イベントについては、商業者と市民との交流の場として有益であるとともに、実行委員会による運営についても、おおむね評価できるものである。</p> <p>しかしながら、農業祭と同様の観点から、来場者が8万人を超える中、天候や駐車場によって集客が影響される状況は課題であり、担当課が十分認識しているように、開催場所の検討が必要である。アンケート結果や出店者・来場者の意向を踏まえた上で、適切な開催場所を選定していくべきである。</p> <p>また、イベントに要する費用は、市からの補助金、出店者からの出店料、JA水戸の分担金及び商工会議所の負担金で構成されるが、分担金は、農業祭との合同開催により発生する共通経費分であることから、JA水戸が負担するのではなく、農業祭実行委員会が負担すべきものと考えられ、費用負担のあり方を検討するべきである。また、市の補助金額が毎年度同額であることから、積算根拠を明確にするなど妥当性について検証が必要である。</p> <p>目標設定についても、イベント来場者数の目標は農業祭と商工祭で異なるが、実績は産業祭として同じ実績になっている。そのため、農業祭実行委員会と協議して、目標設定の統一などを図るべきである。</p> <p>広報についても、新聞の折り込みや市立幼稚園・小学校へのチラシの配布を行ったとのことであるが、その他にも水戸市のホームページ、SNSなどを通じた広報などにより、新聞を購読していない若者への周知を図るとともに、農業祭と連携をしながら、水戸市民にとどまらず、茨城県民や県外に対してもPRするなど、効果的な発信方法を検討するべきである。</p> <p>そのため、1次評価の「見直しの上で継続（手段を改善する）」は、妥当である。</p> <p>なお、農業祭及び商工祭は、合同で産業祭として実施されているイベントであり、二つのイベントを分けて審議することが難しいことから、次年度以降の評価のあり方について検討するべきである。特に収支報告については、産業祭としてのものを用意した上で、農業祭と商工祭単独のものを作成してもなお不公平や矛盾が生じないように、対応を進めるべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続(手段を改善する)
<p>商工祭は、実行委員会が実施主体のイベントであり、農業祭と合同で産業祭として開催され、商業者と市民との交流の場として有効であるとともに、実行委員会による運営についても適切に実施されている。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、天候や駐車場によって集客に影響が出る状況は課題であるため、出店者からのアンケート結果等を踏まえ、開催場所を検討する必要がある。</p> <p>また、イベントに要する費用については、市からの補助金が毎年度同額であることから、補助額の妥当性等の観点から、支出内容を精査し、費用対効果について検証する必要がある。</p> <p>来場者数の目標設定については、農業祭実行委員会と協議して統一を図る必要があるほか、広報についても、市外や県外に対してもPRするなど、効果的な発信方法を検討する必要がある。</p> <p>そのため、「見直しの上で継続(手段を改善する)」とする。</p> <p>なお、次年度以降の評価方法については、行政評価委員会からの意見にあるとおり、産業祭としての収支報告も作成した上で、農業祭と合同で評価を行うなど、検討するものとする。</p>	

※ 2次評価に記載のある「分担金」について

分担金については、農業祭及び商工祭に共通してかかる経費であり、農業祭実行委員会(事務局:JA水戸)から商工祭実行委員会(事務局:商工会議所)へ支出している。なお、主なものとして、警備費用、ステージ設営費用、電気設備費用等がある。

現在、JA水戸名義で分担金の振込を行っており、2次評価において、農業祭実行委員会名義で振込を行うことについて指摘を受けたところである。しかし、実際は、農業祭実行委員会から支出していることから、今後は、振込名義をJA水戸から農業祭実行委員会に修正するものとする。

5 1年目改善目標(1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	農業祭との合同開催であるため、農業祭実行委員会と協議し、出店者からのアンケート結果等を踏まえ、来場者及び出店者の利便性が向上するよう、開催場所を検討するとともに費用対効果を検証する。また、来場者数の目標設定について統一を図るとともに、効果的なPR方法を検討する。
-----------------------	---

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>平成28年度について、1年目改善目標である開催場所の検討を行った結果、天候等によって集客に影響があることは懸念されるものの、水戸駅から近く公共交通の利便性が良いこと、まちなかのにぎわいに寄与すること、雨天時の水はけが良いことなどの条件等を考慮し、茨城県三の丸庁舎イベント広場で開催した。なお、農業祭実行委員会との協議及び来場者からのアンケート結果より、来場者駐車場等についての意見があったものの、開催場所はおおむね好評であったと評価することから、更なる来場方法の確保を検討しつつ、本年度も引き続き、同場所での開催に向けて各種手続を進めることとする。</p> <p>費用対効果としては、産業祭来場者アンケート等から計算した経済波及効果が105百万円(来場者消費額等から算出)あり、一定の効果があったと考える。</p> <p>目標数(来場者数)については、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会と協議し、今年度から統一を図った。</p> <p>イベントPRの手法としては、平成28年度から民間事業者に協力を依頼し、タウン誌へ掲載を行ったほか、市や商工会議所のSNS等の活用による各種広報を強化した結果、来場者数が増加した。</p>
---

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価 (内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業) ※商工祭の事業費内訳

## (収入)

科目	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 補助金	3,100,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000		
2 事業収入	2,594,000	2,506,500	2,426,500	2,171,500	2,200,000	-255,000	出店者減少のため。
3 分担金	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000		
4 負担金	450,415	347,026	1,385,964	2,187,373	2,800,000	801,409	不足分の事務局負担の増のため。
5 賛助金							
6 雑収入							
合計	6,694,415	6,503,526	7,462,464	8,008,873	8,650,000	546,409	

## (支出)

科目	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 会場設営費	3,486,225	3,527,920	4,814,944	5,089,919	5,165,000	274,975	
①設営費	2,950,000	2,985,000	4,420,000	4,650,000	4,800,000	230,000	値上げのため。(一度不調になったため、再入札を実施)
②工事費	227,000	237,600	394,944	435,120	360,000	40,176	
③賃貸料	309,225	305,320		4,799	50,000	4,799	
2 イベント費	1,381,705	1,305,100	1,227,255	1,272,254	1,410,000	44,999	
3 広報宣伝費	517,860	441,114	433,357	443,037	590,000	9,680	
4 会議費	4,288		2,920		10,000	-2,920	
5 管理運営費	1,046,252	1,011,246	869,236	1,042,343	1,277,000	173,107	
①警備費	569,100	561,600	399,175	676,653	900,000	277,478	駐車場の分散により、警備員を増員したため。
②諸費	477,152	449,646	470,061	365,690	377,000	-104,371	中止の対策として、興業保険に加入していたが、平成28年度は予算の都合から加入しなかったため。
6 事務局費	258,085	218,146	114,752	161,320	198,000	46,568	
①印刷費	114,450	134,420	25,920	25,920	26,000		
②通信費	27,100	13,002	16,632	29,406	30,000	12,774	
③消耗品費	116,535	70,724	58,380	103,801	139,000	45,421	
④雑費			13,820	2,193	3,000	-11,627	
7 予備費							
合計	6,694,415	6,503,526	7,462,464	8,008,873	8,650,000	546,409	

## (収支)

	金額(円)				
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計					

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業) ※産業祭全体の事業費内訳

## (収入)

科目	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 補助金	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000		
2 事業収入	2,594,000	2,506,500	2,426,500	2,171,500	2,300,000	-255,000	出店者減少のため。
3 分担金	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000		
4 負担金	588,969	479,189	1,496,444	2,298,358	2,800,000	801,914	不足分の事務局負担の増のため。
5 賛助金	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000		
6 雑収入							
合計	10,132,969	9,935,689	10,872,944	11,419,858	12,050,000	546,914	

## (支出)

科目	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 会場設営費	4,330,725	4,391,662	5,576,182	5,974,061	6,065,000	397,879	
①設営費	3,674,500	3,728,742	5,181,238	5,534,142	5,700,000	352,904	値上げのため。
②工事費	227,000	237,600	394,944	435,120	360,000	40,176	
③賃貸料	429,225	425,320		4,799	50,000	4,799	
2 イベント費	3,565,660	3,466,122	3,528,948	3,460,663	3,530,000	-68,285	
3 広報宣伝費	517,860	441,114	433,357	443,037	590,000	9,680	
4 会議費	67,748	37,907	71,050	64,000	60,000	-7,050	
5 管理運営費	1,046,512	1,013,326	869,236	1,042,343	1,307,000	173,107	
①警備費	569,100	561,600	399,175	676,653	1,200,000	277,478	駐車場の分散により、警備員を増員したため。
②諸費	477,412	451,726	470,061	365,690	377,000	-104,371	中止の対策として、興業保険に加入していたが、平成28年度は予算の都合から加入しなかったため。
6 事務局費	604,464	585,558	394,171	435,754	498,000	41,583	
①印刷費	166,050	186,020	68,320	74,520	86,000	6,200	
②通信費	27,660	13,734	25,619	30,964	40,000	5,345	
③消耗品費	288,314	270,184	191,532	220,647	269,000	29,115	
④雑費	122,440	115,620	108,700	109,623	103,000	923	
7 予備費							
合計	10,132,969	9,935,689	10,872,944	11,419,858	12,050,000	546,914	

## (収支)

科目	金額(円)				
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計					



(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 水戸市産業祭

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
商工祭実行委員会	主催	本部, ステージ, 案内, 広報, マスコットキャラクター等
イベント会社	その他	会場設営等

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成27年度実績 (開催日: 11月14日, 15日)

	人数	主な業務
市職員	5人程度	本部3人, マスコットキャラクター2人
実行委員会	16人程度	本部10人, ステージ2人, 案内4人
委託会社職員	14人程度	テント12人, ステージ音響2人
ボランティア (青年部)	30人程度	各種イベントの実施30人
計	65人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成27年度実績

年月	内容
平成28年5月	第1回ワーキング会議
平成28年7月	第2回ワーキング会議
平成28年8月	商工祭実行委員会
平成28年9月	産業祭実行委員会 (商工祭+農業祭)
平成28年11月	第41回産業祭

(これまでの開催実績)

年月日	第○回	会場名	参加者数 (A)	係員数 (A)	総数 (A+B)
24年11月17日, 18日	37	水戸市総合運動公園	65,000	65	65,065
25年11月16日, 17日	38	水戸市総合運動公園	85,000	65	85,065
26年11月15日, 16日	39	水戸市総合運動公園	82,000	65	82,065
27年11月14日, 15日	40	千波公園ふれあい広場	33,000	65	33,065
28年11月14日, 15日	41	茨城県三の丸庁舎イベント広場	42,000	65	42,065

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員 (市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	補助額(千円)	備考
那珂市	実行委員会	那珂市産業祭	H28年度	8,400	30	8,430	2,900	一日開催
日立市	実行委員会	日立市産業祭	H28年度	44,000	54	44,054	3,800	二日間開催
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有	無
-------	---	---

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

# 第41回水戸市産業祭(商工祭部門)出店者アンケート集計結果

調査日時	平成28年12月1日～12月9日		
調査方法	産業祭(商工祭部門)出店者へFAXにて調査書を送付		
サンプル数	30	飲食	物販・展示
		4	26

## 1. 次年度開催場所について(複数回答可)

ケースデンキスタジアム	青柳運動公園	三の丸庁舎	その他	無回答
16	8	5	1	0

### ※選定理由

#### ケースデンキスタジアム

- ・駐車場があり来場者・出店者ともに良いと思う。今年は、出店駐車場に駐車できなかった。
- ・駐車場が近くに確保できる。駐車場が遠いと買い物控えめになってしまう。
- ・交通の便が良く、駐車場が確保できるため。(同様5通)
- ・雨天時ぬかるまない。

#### 青柳運動公園

- ・屋内の会場がある。
- ・雨の日でも開催できる会場で開催してほしい。駐車場の広い場所が良い。

#### 三の丸庁舎

- ・バスや徒歩でも来場可能なため。
- ・駅から近いし、雨にも強かった。芝生があるのでレジャー性も高いと思う。
- ・駐車場、休憩スペースの対応ができれば会場としてよいと思う。

#### その他

東町体育館(完成したら)

### [結果]

次年度開催場所について参加店の約5割がケースデンキスタジアムを要望する結果となった。

## 2. 今回の売上について(昨年と比較して)

多い	少ない	昨年度出店なし	同じ	無回答
8	7	2	2	9

### [結果]

前年と比べ、出店者から「少ない」との回答が多く、駐車場の確保や雨天時の対策に対する要望が多かった。

## 3. 産業祭開催にあたって独自に企画した・検討している事項について

- ・サンプル品の提供(同様3通)
- ・店頭価格に比較して割引販売(同様7通)
- ・オリジナル商品の販売・展示(同様5通)
- ・クイズ実施による啓発
- ・集客のため無料のくじを行っている。
- ・購入者へのプレゼントの拡充

## 4. イベント企画について

- ・小中学校の吹奏楽部・ねばーる君を呼んでほしい。
- ・加納真実のバントマイムを呼んでほしい。
- ・シニア層が参加できる出し物などを実施してほしい。
- ・子供向けキャラクターショー・ヒーローショーを実施してほしい。(同様3通)
- ・県内出身タレントによるイベントショー
- ・キッズファッションショーなどのイベントの実施。(同様3通)
- ・演劇・野外シアターの実施。
- ・参加型のイベントの開催。カラオケ大会など(同様2通)
- ・子供が出演するダンス(フラダンス・ヒップホップ・チアダンス)(同様4通)
- ・大洗のマーチングバンドを呼んでほしい。

## 5. 出店希望

どちらでもよい	屋外(必須)	屋外がよい	屋内(必須)	屋内がよい
9	2	6	0	13

## 6. 開催日数

1日	2日	無回答
0	30	1

## 7. その他

- ・10月中旬の開催が良いと思う。(同様3通)
- ・例年通り(11月中旬)の時期の開催がいい。(同様5通)
- ・テントサイズが小さく小間料が高い。(同様3通)
- ・終了時間が早すぎると思う。
- ・チラシを刷新した方が良いと思う(4色カラー・文章を簡略に)
- ・出店者用の駐車場に車を駐車できず有料駐車場を利用した(同様2件)



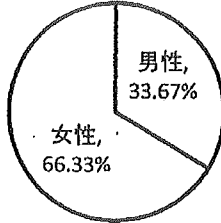
# 第41回水戸市産業祭来場者アンケート集計結果

調査日時	平成28年11月19日(土)・20日(日)の産業祭開催時間中		
調査方法	学生アルバイトによる来場者への聞き取り調査 ※回答者にはみとちゃんシールを配布		
調査場所	産業祭会場内各所		
サンプル数	300		

## 1. 来場者について

### ①性別

男性	女性
101	199
33.67%	66.33%



### 《比較対象(前年度)》

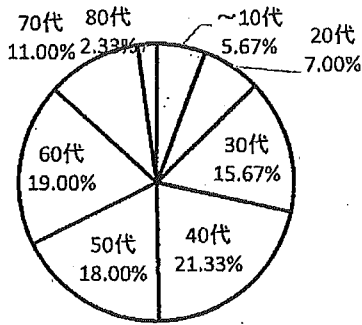
男性	31.20%
女性	68.80%

※割合は前年とほぼ変わらなかった。

### ▲男女比

### ②年齢層

～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
17	21	47	64	54	57	33	7
5.67%	7.00%	15.67%	21.33%	18.00%	19.00%	11.00%	2.33%



### 《比較対象(前年度)》

～10代	2	1.60%
20代	7	5.60%
30代	18	14.40%
40代	29	23.20%
50代	21	16.80%
60代	30	24.00%
70代	14	11.20%
80代	4	3.20%

※前年、最も多かった60代の割合が減少、かわりに50代が増加。割合的には、40代が最も多い結果となった。

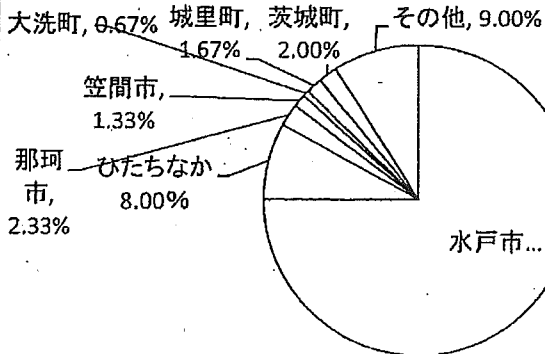
### ▲年齢構成比

### ③居住地

水戸市	ひたちなか市	那珂市	笠間市	大洗町	城里町	茨城町	その他
225	24	7	4	2	5	6	27
75.00%	8.00%	2.33%	1.33%	0.67%	1.67%	2.00%	9.00%

### ※その他内訳

栃木県	阿見町	潮来市	牛久市	小美玉市	鹿嶋市	福島県	埼玉県	
1	1	1	1	2	1	1	3	
高萩市	土浦市	東海村	東海村	東京都	常陸太田市	常陸大宮市	日立市	銚田市
1	1	1	1	2	1	1	5	3



### 《比較対象(前年度)》

水戸市	99	79.20%
ひたちなか市	8	6.40%
那珂市	1	0.80%
笠間市	3	2.40%
大洗町	0	0.00%
城里町	2	1.60%
茨城町	5	4.00%
その他	7	5.60%

※前年に引き続き、水戸市の来場が7割を超えているが、若干の減少がみられる。かわりにひたちなか市などの市外や県外からの来場が増加した。県外からの来場者のうち電車利用が数名

### ▲居住地割合

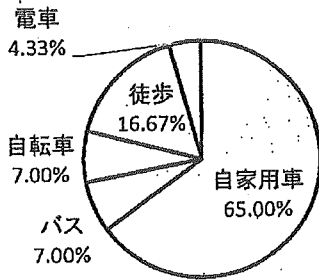
いた。

来場者の内訳では、女性が約6割。年齢層は40代が最も多く、60代、50代と続く。また、水戸市からの来場者が約7割を占めている。※前年は60代が最も多かったが、今年は40代の来場者が最も多かった。性別・居住地については数%の増減はあったが、割合に大きな変化はみられなかった。

## 2. 来場の形態について

### ①会場までの交通手段

自家用車	バス	自転車	徒歩	電車
195	21	21	50	13
65.00%	7.00%	7.00%	16.67%	4.33%



▲交通手段

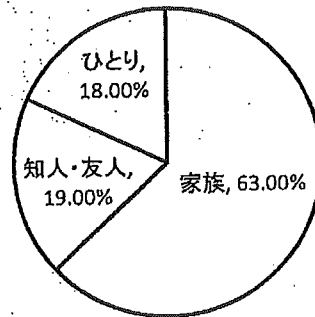
### 《比較対象(前年度)》

自家用車	101	80.80%
バス	1	0.80%
自転車	6	4.80%
徒歩	15	12.00%
電車	2	1.60%

※無料の駐車場が無いこともあり、自家用車での来場が2割ほど減少。会場が中心市街地にあることもあり、公共交通機関の利用や自転車・徒歩での来場が増加した。

### ②同伴者について

家族	知人・友人	ひとり
189	57	54
63.00%	19.00%	18.00%



### 《比較対象(前年度)》

家族	知人・友人	ひとり
101	15	9
80.80%	12.00%	7.20%

※前年と比べ、家族での来場が2割減少。知人・友人、ひとりの割合が増加した。イベントを楽しむ目的よりも、買い出しの感覚で野菜などの購入のため、来場した方が増えたことでひとりでの来場が増加したと思われる。

▲同伴者

### ③-1同伴人数(自身を含む)

1名	2名	3名	4名	5名	不明・未記入
61	128	51	34	26	0
20.33%	42.67%	17.00%	11.33%	8.67%	0.00%

### ③-2年齢層別同伴人数

	1名	2名	3名	4名	5名以上	合計
～10代	2	7	5	0	3	17
20代	1	9	4	4	3	21
30代	10	13	8	8	8	47
40代	11	25	14	8	6	64
50代	9	28	11	4	2	54
60代	16	28	5	6	2	57
70代	11	14	4	2	2	33
80代	1	4	0	2	0	7
	61	128	51	34	26	300

④-1 水戸市産業祭来場回数

はじめて	2~5回	6~9回	10回以上
102	121	36	40
34.00%	40.33%	12.00%	13.33%

※今回は、中心市街地での開催ということもあり、前年、前前年と比較すると、はじめてと回答する来場者が1割以上増加している。来場回数で最も多かったのは2~5回。

≪比較対象(前年度千波公園ふれあい広場)≫

はじめて	2~5回	6~9回	10回以上
24	57	25	19
19.20%	45.60%	20.00%	15.20%

≪比較対象(平成26年度水戸市総合運動公園開催)≫

はじめて	2~5回	6~9回	10回以上
64	105	63	50
22.70%	37.23%	22.34%	17.73%

④-2 年齢層別来場回数

	はじめて	2~5回	6~9回	10回以上	合計
~10代	11	5	1	0	17
20代	12	7	1	1	21
30代	21	19	4	3	47
40代	18	25	10	11	64
50代	16	22	7	8	53
60代	19	25	7	6	57
70代	4	18	5	6	33
80代	1	0	1	5	7
合計	102	121	36	40	299

来場形態をみると、自家用車での来場が約6割となり前年から2割減少。会場が中心市街地にあることもあり、公共交通機関や徒歩・自転車などでの来場が増加した。また、家族で来場される方が約6割と、前年と比べ2割減少。知人・友人、ひとりでの来場が増加した。

3. 買物について

① 買物の有無

した	しない	不明
203	86	6
67.67%	28.67%	2.00%

② 買物の金額 単位:円

1000未満	1,000~2,999	3,000~4,999	5,000~6,999	7,000~9,999	10,000以上	不明
27	55	20	10	1	1	3
23.08%	47.01%	17.09%	8.55%	0.85%	0.85%	2.56%

③ 年齢層別購入金額(買物をしたと答えた方の購入金額) 単位:円

	~999	1,000~2,999	3,000~4,999	5,000~6,999	7,000~9,999	10,000以上	平均購入額
~10代	2	1	0	0	0	0	767
20代	2	6	0	0	0	0	1,375
30代	5	7	4	1	0	0	1,747
40代	6	10	7	2	0	0	1,900
50代	3	15	7	2	0	1	2,629
60代	5	5	2	4	1	0	2,571
70代	4	7	0	5	0	0	1,100
80代	0	4	0	0	0	0	1,750
合計	27	55	20	14	1	1	2,039

④ 買ったもの(複数回答可)

野菜	日用品	菓子	パザー用品	食品	飲み物	乳製品	酒
139	25	28	7	105	20	7	8
総計エ・バルーンアート	その他						
3	2						

来場者のうち6割強が、会場内で買物をしている。  
買物金額は、1,000円~2,999円が最も多く、3,000円未満が全体の約7割を占める。  
また、50代の平均購入額が最も高い。  
購入物については、野菜・食品の順で続く。

#### 4. 食事について

##### ① 食事の有無

した	しない	不明
121	168	8
40.74%	56.57%	2.69%

##### ② 食事の金額 単位:円

1000未満	1,000~2,999	3,000~4,999	5,000~6,999	7,000~9,999	10,000以上
31	43	6	2	0	1
37.35%	51.81%	7.23%	2.41%	0.00%	1.20%

##### ※年齢層別食事金額(食事をしたと答えた方の食事金額)

	~999	1,000~2,999	3,000~4,999	5,000~6,999	7,000~9,999	10,000以上	平均購入額
~10代	2	1	0	0	0	0	900
20代	2	7	1	0	0	0	1,665
30代	4	8	1	0	0	0	1,354
40代	10	9	2	0	0	0	1,043
50代	5	9	2	0	0	1	1,982
60代	4	4	0	2	0	0	1,580
70代	3	4	0	0	0	0	1,021
80代	1	1	0	0	0	0	1,300
合計	31	43	6	2	0	1	1,423

来場者の4割が会場内で食事をしている。

食事の金額は、1,000円~2,999円が最も多く、10,000円以上が1名いた。

また、食事の金額については、年齢層別で50代が最も多かった。

#### 5. 会場内で興味をもったもの(複数回答可)

ステージイベント	展示物	野菜展示・販売	テクノ倶楽部	早飲み大会	コラボクイズ	オークション	ねりきり体験	木工体験
56	55	145	23	7	7	5	15	13
飲食コーナー	菓子コーナー	太陽光発電	農機具展示	JASスタンプラリー	女性会バザー	子ども向けイベント	計量コーナー	その他
85	39	8	8	22	26	33	14	0

##### ※ステージイベント内訳

関口流抜刀術	茨城県警察音楽隊	水戸市総合運動公園	常磐テア	BLUE BEGINNERS	風船王子	加納真実	不明
0	1	1	1	3	0	0	50

会場内で興味を持ったものとしては、野菜と飲食が多かった。

次いで、ステージイベント・展示物・子供向けイベントの人気も高い。

#### 6. 開催場所について

茨城県三の丸庁舎	ケーズデンキスタジアム	水戸市総合運動公園	その他
119	123	58	0
39.70%	41.00%	19.30%	0.00%

#### 6. 産業祭への要望等

##### ■ 駐車場について

- ・無料で利用できる駐車場を準備してほしい(同様13通)

##### ■ 会場・設備について

- ・食事できるスペース(イス・テーブル)を増やしてほしい。(同様4通)
- ・もっと規模を拡大してほしい
- ・現状のままで良い(同様2通)
- ・今回の会場は来場しやすい。
- ・今回の会場は中心市街地の活性化につながったと思う。
- ・今回の会場は不便(駐車場が無いため)。(同様8通)

##### ■ 出店内容について

- ・新鮮な野菜が買えてよかった。(同様2通)

##### ■ イベントについて

- ・戦隊ヒーローショーをやってほしい(同様2通)
- ・また、BLUE BEGINNERSを呼んでほしい。(同様3通)

##### ■ その他

- ・水戸の賑わいのため定期的(1年に数回)にイベントを開催してほしい。(同様2通)
- ・餅つきをしてほしい



## 行政評価調書

事務事業名	水戸黄門まつり開催事業	評価初年度	平成 28 年度
		担当部署名	産業経済部観光課
実施主体	水戸黄門まつり実行委員会		
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	未来に躍動する活力ある「みと」づくり	2	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 4
中項目	活力あふれる産業の振興	2	
小項目	戦略的観光の振興	1	
		名称	水戸市観光基本計画（第3次）

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	S36 年度	②事業の完了予定の有無（有/無）	無	年度
③事業の概要				
水戸黄門まつりは本市恒例の夏祭りとして毎年8月の第1金・土・日の3日間開催しており、多くの市民の参加のもと、本市を代表するまつりとして、例年多くの来場者でにぎわっている。 現在、少子・高齢化、都市環境の変化等、各自治体をとりまく環境は急速に変化しており、多くの自治体が持続的な都市の発展に向け、交流人口の増加策を検討しているところである。 そのような中、観光の振興は、交流人口を増加させ、経済波及効果を高める成長産業の一つとして全国的に注目され、観光地間の競争が激化している状況である。 水戸黄門まつりにおいても、これまで、市民が参加し楽しむまつりとして長年開催してきたところであるが、さらなる交流人口の増加を図るため、本市の観光の発展に寄与するまつりとして、内容の充実に努めているところである。				
④事業の目的				
ア【対象】誰を（何を）対象に		対象者（平成28年4月1日）		
市民、観光客		939,000人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。				
本市の観光交流人口450万人の実現に向けより多くの観光客が来場するまつりとして。				
⑤成果指標（市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。）				
成果指標 1				
指標	水戸黄門まつり観客数	説明	各年度における水戸黄門まつりの観客数	
成果指標 2				
指標	協賛企業社数	説明	各年度における水戸黄門まつりへの協賛企業社数	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。				
水戸黄門まつり実行委員会（事務局：水戸観光協会）が主催であり、運営協議会をはじめ、山車部会、水戸黄門パレード部会等、各種イベントごとに部会が組織され、多くの関係者が協議を行った上でまつりを開催している。より多くの観光客を誘致することを目指し、水戸黄門まつりの事業内容のリニューアルを検討していく。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。				
水戸黄門まつりは、市民が主体的に盛り上げている本市の夏を代表するまつりである。当まつりは、人が躍動する魅力ある観光資源であり、市民はもとより多くの観光客が参加していることから人々のニーズは高く、必要性が高い。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。				
企画から実施まで多くの市民が参加する水戸黄門まつりは、参加者間のコミュニティや、本市のブランドの形成・向上に寄与するとともに、その魅力を感じるために来訪する観光客の誘致に有効である。				
⑨類似事業（民間における類似事業、市が実施している類似事業）				
水戸市内各地域主催の夏まつり				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察（市直営⇒民間・NPO、実行委員会⇒市直営、民間・NPO）				
水戸黄門まつりは多くの関係者の協力のもと開催されており、市、民間・NPOが主体となって実施するには人的資源・資金面において負担が大きい。そのため、多様な主体の力を結集することができる、現状の実行委員会による開催が最も効率的である。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 水戸黄門まつり観客数（人）			成果指標 2 協賛企業社数		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
25年度	946,000	956,000	101.1	280	274	97.9
26年度	956,000	891,000	93.2	280	296	105.7
27年度	965,000	939,000	97.3	300	283	94.3
28年度	974,000	933,000	95.8	290	291	100.3
29年度	983,000			300		
30年度	992,000			300		
①目標値の根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光交流人口の数値目標達成に向けた設定</li> <li>課内方針</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>例年同等数を最低限の目標とし、景気等を勘案しながら上積みを目指す。</li> <li>課内方針</li> </ul>		
②数値で表せない効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>まつり開催を通じた市のイメージアップ</li> </ul>					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 25 決算	国県支出金		旅費		36.09
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	34,500	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	34,500		その他	34,500	
H 26 決算	国県支出金		旅費		38.72
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	34,500	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	34,500		その他	34,500	
H 27 決算	国県支出金		旅費		36.74
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	34,500	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	34,500		その他	34,500	
H 28 決算	国県支出金		旅費		36.98
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	34,500	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	34,500		その他	34,500	
H 29 予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	34,500	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	34,500		その他	34,500	

③コスト削減の取組  
なし

4 1年目評価

(1) 1次評価（内部評価） ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調査の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○		④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	例年多くの市民・観光客が訪れており、対象者のニーズが高い。
		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	
合計			評価結果	B
1	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調査の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
○		②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑧有効性 ・2-成果指標	企画から実施まで多くの市民が参加する水戸黄門まつりは、参加者間のコミュニティや、本市のブランドの形成・向上に寄与しているとともに、その魅力を感じるために来訪する観光客の誘致に有効である。
		③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	
○		④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	本市に居住、または本市を訪れる全員が対象者である。
○		⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	実行委員会を通し多くの関係者が運営に携わっており、手段が適切である。
合計			評価結果	A
3	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調査の確認箇所	理由等所見欄
		①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト	
		②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	
○		③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	多様な主体の力を結集することができる、現状の実行委員会による開催が最も効率的である。
		④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	
○		⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	観客数一人あたりの行政コストは前年より低くなっている。
合計			評価結果	B
2	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	ウ
方向性			
1 現状のまま継続			
2 見直しの上で継続			
	ア	主体を代える（実施主体を代える）	
	イ	手段を改善する（実施の手段を代える）	
	ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	
	エ	簡素化する（規模を縮小する）	
	オ	統合する（類似事業を統合する）	
3 休止，廃止			
②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止，廃止」の場合，記入する。） 事業の単位当たりのコストを下げ，より効率化を図るためには，成果指標となる観光客数を増加させることが必要である。より多くの観光客を誘致することを目指し，水戸黄門まつりの事業内容のリニューアルを検討していく。			

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（効率化を図る）
<p>評価する点，改善すべき点 水戸黄門まつりは，花火，市民カーニバル及び神輿渡御を通して，市民が参加し楽しむことを目的とした夏まつりであり，実行委員会が実施主体のイベントである。</p> <p>本イベントについては，90万人以上が参加する水戸を代表する観光資源として有益であるとともに，実行委員会による運営についても，おおむね評価できるものである。</p> <p>しかしながら，事業内容は，少しずつ改善されているものの，主な企画内容が固定化している印象がある。必ずしも市民参加型，あるいは観光交流型と目的を絞る必要はないが，まつりのあり方・方向性自体について，多くの人々が共通認識をもって取り組むことができるようにある程度明確にした上で，事業内容のリニューアルの検討をしていく必要があると思われる。</p> <p>まつりの評価方法も，各団体の反省会のみではなく，来場者へのアンケートの実施や，まつりのあり方を検証する庁内組織や外部検討委員会の設置など，評価のあり方について検討するべきである。</p> <p>また，観客数の測定が，前年度実績を元にした感覚的な測定であるため，客観的な測定方法を検討するべきである。</p> <p>評価方法や観客数の測定方法の改善は，まつり自体の内容を客観的に認識し，評価していく上で，基本的かつ根本的なものといえるので優先的に取り組むべきである。</p> <p>集客についても，例えば，同時期にひたちなか市で開催されているロック・イン・ジャパン・フェスティバルと連携して，水戸黄門まつりとの間で回遊性を持たせるなど，集客力向上に向けた取組を進めるべきである。</p> <p>さらに，補助金は毎年定額となっているが，市の関与の範囲を明確にするなど，補助金のあり方を再検討するべきである。加えて，協賛金について，うちわや花火など用途が限定される協賛金以外に，用途が特定されない協賛金を積極的に募るなど，新たな財源の確保に向けた積極的な取組が必要である。</p> <p>そのため，1次評価の「見直しの上で継続（効率化を図る）」は，妥当である。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続(手段を改善する)
<p>水戸黄門まつりは、実行委員会が実施主体のイベントであり、90万人以上が参加する水戸を代表する観光資源として有効であるとともに、実行委員会による運営についても適切に実施されている。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、主な企画内容が固定化しており、市民参加型のまつりから観光交流型のまつりへの転換など、事業内容のリニューアルの検討が必要である。まつりの評価方法も、各団体の反省会のほかに、来場者へのアンケートの実施や、まつりのあり方を検証する組織等の設置を検討する必要がある。</p> <p>また、観客数の測定については、より客観的な測定方法を検討する必要がある。集客についても、同時期にひたちなか市で開催されているロック・イン・ジャパン・フェスティバルと連携して、水戸黄門まつりとの間で回遊性を持たせるなど、集客力向上に向けた取組を検討する必要がある。</p> <p>さらに、補助金については、毎年度同額であるため、補助額の妥当性等の観点から、支出内容を精査し、費用対効果について検証する必要があるほか、協賛金も、用途を特定しない協賛金(うちわや花火など用途が限定される協賛金以外)を募るなど、新たな財源の確保に努める必要がある。そのため、「見直しの上で継続(手段を改善する)」とする。</p>	

5 1年目改善目標(1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	<p>事業を適切に評価するために来場者へのアンケートを実施する。あわせて、集客力向上に向けた事業内容のリニューアル等を進めるとともに、まつりのあり方を検証する組織の設置についても検討する。</p> <p>また、より客観的な観客数の測定方法を検討する。</p> <p>さらに、補助金の費用対効果の検証や、新たな財源の確保についても、事業内容を精査しながら方策を整理する。</p>
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>本年度の水戸黄門まつりにおいて、来場者への現状把握調査を行うほか、平成29年度10月に水戸黄門まつりリニューアル協議会を設置し、事業内容のリニューアルに向けて協議を進める。</p> <p>客観的な観客数の測定方法の検討、補助金の費用対効果の検証や新たな財源の確保についても、事業内容のリニューアルとともに方策を整理していく。</p>
---

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標(2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標(3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業)

## (収入)

科目	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 補助金	34,500,000	34,500,000	34,500,000	34,500,000	34,500,000		
2 協賛金	18,222,060	19,979,343	20,707,639	20,657,503	20,600,000	-50,136	
3 雑収入	58,984	60,379	104,157	104,224	90,000	67	
4 繰越金	612,454	106,399	155,658	93,200	210,499	-62,458	
合計	53,393,498	54,646,121	55,467,454	55,354,927	55,400,499	-112,527	

## (支出)

科目	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 報償費	538,075	486,916	687,398	627,943	650,000	-59,455	黄門パレード観光大使の減少
2 旅費	12,000	12,000	8,000	29,760	10,000	21,760	キャンペーン時の高速道路代
3 消耗品費	18,958,126	19,363,817	18,045,346	18,302,718	18,400,000	257,372	まつりハッピーを新調
4 燃料費	32,650	35,947	29,380	22,425	30,000	-6,955	
5 食料費	2,575,156	2,242,341	2,648,062	2,376,767	2,400,000	-271,295	黄門パレード参加者の減少
6 印刷製本費	4,735,185	4,884,840	5,535,000	5,512,860	5,500,000	-22,140	
7 通信運搬費	127,120	150,465	159,702	137,092	140,000	-22,610	
8 広告・宣伝費	199,500	178,200	199,800	172,800	180,000	-27,000	
9 保険料	1,337,280	1,504,120	1,687,007	1,643,475	1,650,000	-43,532	まつり出演者の減少による
10 手数料	146,445	108,074	153,780	278,492	280,000	124,712	し尿処理を委託料から手数料に科目替えしたため。花火大会天候情報取得手数料が新規で支出増加
11 委託料	10,589,880	10,951,066	11,017,990	12,006,551	12,000,000	988,561	雑路警備委託料の増加
12 使用料及び賃借料	2,444,048	2,789,334	3,184,872	3,598,925	3,600,000	414,053	バス借り上げ料の増加、仮設トイレ新設のため
13 工事請負費	1,083,469	1,131,840	1,177,200	604,800	610,000	-572,400	道路封鎖トラックの取り止めのため
14 負担金及び補助金	10,508,165	10,651,503	10,840,717	9,829,820	9,900,000	-1,010,897	サードリー・アフス、子ども黄門部会補助金の減額
15 予備費					50,499		
合計	53,287,099	54,490,463	55,374,254	55,144,428	55,400,499	-229,826	

## (収支)

	金額(円)				
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計	106,399	155,658	93,200	210,499	

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 水戸黄門まつり

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
水戸黄門まつり実行委員会	主催	本部, ステージ, 案内, 広報
水戸商工会議所	共催	本部, ステージ, 案内, 広報
水戸市	共催	本部, 記録, 案内, 広報, マスコットキャラクター
イベント会社	その他	ステージ設営等

(イベント当日の運営に係る職員)

※ 平成28年度実績 (開催日: 8月5日~7日)

	人数	主な業務
市職員	200人程度	各行事係員, 花火警備等200人
実行委員会	100人程度	本部20人, 案内所10人, 各行事責任者30名, 役員40人
委託会社職員	100人程度	花火業者50人, ステージ音響等設営関係50人
ボランティア	800人程度	旗門パレード200人, カーニバル20人, 子ども神輿400人, サマードリームフェスタ100人, 山川30人等
計	1,200人程度	

(イベント開催までのスケジュール)

※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年5月	第1回運営協議会 (各部会代表者による全体打合せ)
平成28年5月	第1回実行委員会 (顔合わせ, スケジュール確認, 役割分担確認等)
平成28年6月	各行事ごとに第1回部会をそれぞれ開催 (顔合わせ, スケジュール確認)
平成28年7月	各行事ごとに第2回部会をそれぞれ開催 (当日の役割分担確認等)
平成28年7月	第2回運営協議会 (各部会代表者による全体打合せ)
平成28年7月	第2回実行委員会 (各行事の詳細な行事内容の報告)
平成28年8月	水戸黄門まつり開催

(これまでの開催実績)

年月日	第○回	会場名	参加者数 (A)	係員数 (A)	係員数 (B)	総数 (A+B)
平成28年8月5日~7日	第56回	水戸黄門まつり	933,000	1,200	1,200	934,200
平成27年8月7日~9日	第55回	水戸黄門まつり	939,000	1,200	1,200	940,200
平成26年8月1日~3日	第54回	水戸黄門まつり	891,000	1,200	1,200	892,200
平成25年8月2日~4日	第53回	水戸黄門まつり	956,000	1,200	1,200	957,200
平成24年8月3日~5日	第52回	水戸黄門まつり	946,000	1,200	1,200	947,200
平成23年8月5日~7日	第51回	水戸黄門まつり	939,000	1,200	1,200	940,200

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員 (市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を含めてください。



(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
福島市	福島わらじまつり実行委員会	福島わらじまつり	昭和45年から	255,000	600	255,600	25,540	平成27年度実績
高松市	高松市, 高松まつり振興会	さぬき高松まつり	昭和39年から	650,000	797	650,797	80,925	平成27年度実績
宇都宮市	ふるさと宮まつり開催委員会	ふるさと宮まつり	昭和51年から	580,000	23,418	603,418	26,000	平成28年度実績
高崎市	高崎まつり実施本部	高崎まつり	昭和50年から	750,000	750	750,750	70,000	平成28年度実績

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。



## 行政評価調査

事務事業名	風土記の丘ふるさとまつり	評価初年度	平成 28 年度
		担当部署名	教育部歴史文化財課
実施主体	市		
第6次総合計画上の施策項目	コード	事業の根拠法令等	
大項目	水戸ならではの歴史、自然を生かした魅力ある「みと」づくり	3	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 1
中項目	歴史、文化の継承と振興	1	
小項目	歴史的資源の保全と活用	1	
		名称	文化財保護法第4条第2項

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	H3 年度	②事業の完了予定の有無 (有/無)	無	年度
③事業の概要 (概要) 国指定史跡「大串貝塚」の保存、活用のため、常陸国風土記に描かれた巨人の伝説に因んで整備された大串貝塚ふれあい公園において、地域との連携のもと、市民の文化財保護意識の高揚及び地域振興を目的とした、文化財を活用した「ふるさとまつり」を開催する。 具体的には、縄文人ファッションショー、国選択県指定無形民俗文化財「大串のささらばやし」・「大野のみろくばやし」の実演、小学生による郷土芸能発表を中心とした催し物を開催している。縄文人ファッションショーは、国庫補助を活用し、小中学生が制作した縄文服を発表する。(主催) 市・市教育委員会・風土記の丘ふるさとまつり実行委員会				
④事業の目的				
ア【対象】誰を(何を)対象に	対象者(平成28年4月1日)			
市民	約27万人			
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 史跡公園としての特色を生かしたまつりを開催することにより、市民の文化財保護意識の高揚を図るとともに、文化財を活用した地域振興を推進する。あわせて、常澄地区最大の住民交流イベントとして、地域交流の促進に寄与する。				
⑤成果指標(市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)				
成果指標1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標2				
指標	縄文服装等体験教室参加者数	説明	縄文人ファッションショー、勾玉作りに参加した児童生徒数	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 企画、運営及び管理を行う実行委員会(市が事務局)を設置し、地域住民、商工会等との連携のもとイベントを開催し、ボランティア等の協力により効率的な運営を実現している。 なお、会場設営及びステージ音響操作等は、業務委託により対応している。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 ふるさとまつりは、文化財の活用を通して、文化財保護意識の高揚を図るとともに、地域の魅力を発信し、にぎわいある地域づくりを推進するためのイベントとして、他に類似事業は存在しないことから、必要性が高い。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 市民が郷土の歴史、文化に親しむ場として、また、地域住民が催し物及びボランティア活動等に主体的に参加していることから、開催目的にかんがみ、有効である。				
⑨類似事業(民間における類似事業、市が実施している類似事業) なし				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察(市直営⇒民間・NPO, 実行委員会⇒市直営, 民間・NPO) 文化財の公開、活用による市民の文化財保護意識の高揚を目的の一つとしており、貴重な文化財の取扱い及び無形民俗文化財保存会等との綿密な連携が必要となる。また、円滑な運営について地元団体及びボランティアによる参画が必要であることから、市直営のもとに団体等により構成された実行委員会による開催が最も効率的である。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2 縄文服装等体験教室参加者（人）		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
25年度	5,200	8,000	153.8	100	151	151.0
26年度	5,400	5,500	101.9	110	121	110.0
27年度	5,600	2,000	35.7	120	123	102.5
28年度	5,800	5,500	94.8	130	168	129.2
29年度	6,000			140		
30年度	6,200			150		
①目標値の根拠	前年度目標値+200人			前年度目標値+10人		
②数値で表せない効果	・文化財保護意識の高揚					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 25 決算	国県支出金	247	旅費	0	300.50
	市債		報償費	280	
	その他		需用費	170	
	一般財源	2,157	役務費	0	
			委託料	1,914	
			使用料・賃借料	40	
	2,404		その他	0	
H 26 決算	国県支出金	250	旅費	0	427.09
	市債		報償費	230	
	その他		需用費	164	
	一般財源	2,099	役務費	0	
			委託料	1,917	
			使用料・賃借料	38	
	2,349		その他	0	
H 27 決算	国県支出金	250	旅費	0	1,180.50
	市債		報償費	230	
	その他		需用費	175	
	一般財源	2,111	役務費	0	
			委託料	1,918	
			使用料・賃借料	38	
	2,361		その他	0	
H 28 決算	国県支出金	250	旅費	0	448.00
	市債		報償費	330	
	その他		需用費	178	
	一般財源	2,214	役務費	0	
			委託料	1,918	
			使用料・賃借料	38	
	2,464		その他	0	
H 29 予算	国県支出金	250	旅費	0	
	市債		報償費	230	
	その他		需用費	130	
	一般財源	2,073	役務費	0	
			委託料	1,925	
			使用料・賃借料	38	
	2,323		その他	0	

③コスト削減の取組

専門的な技術を必要としない看板の設置や会場内の飾りつけなどについてボランティアを活用し、経費の増加を抑制している。

4 1年目評価

(1) 1次評価（内部評価） ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	文化財保護法に掲げる文化財の保存、活用等を図る事業である。
○	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。		・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	文化財の普及啓発とにぎわいのある地域づくりのためにイベントの継続が必要である。
○	④対象者のニーズが高い事業である。		・1-⑦必要性	郷土の歴史や文化財に関心を持つきっかけとなる事業であり、ニーズが高い。
○	⑤民間、NPO等に類似事業はない。		・1-⑩類似事業	多様な文化財の公開、活用を実施する市民イベントはない。
合計			評価結果	A
4	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。		・2-成果指標	
○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。		・1-⑩有効性 ・2-成果指標	文化財の普及啓発を図るために、イベントの継続が有効である。
	③成果指標の実績が目標に達している。		・2-成果指標	
○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。		・1-④事業の目的	全市民を対象にしたイベントである。
	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。		・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	
合計			評価結果	B
2	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①効率性向上の余地はない。		・3-①行政コスト	
○	②コスト削減への取組を実施している。		・3-③コスト削減の取組	看板の作成や会場内の飾りつけなどをボランティアの活用により実施している。
○	③他の主体が実施するよりも効率的である。		・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	ボランティアを有効活用しており、これ以上の経費削減を見込めないことから、効率的である。
○	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。		・1-⑩類似事業	文化財の普及啓発を主題としたイベントについて類似した事業はなく、統合も難しい。
	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。		・3-②単位当たりの行政コスト	
合計			評価結果	A
3	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ
方向性			
1 現状のまま継続			
2 見直しの上で継続			
	ア	主体を代える（実施主体を代える）	
	イ	手段を改善する（実施の手段を代える）	
	ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	
	エ	簡素化する（規模を縮小する）	
	オ	統合する（類似事業を統合する）	
3 休止、廃止			
②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の回数を増やし、天候の影響が少ない企画展を実施する等、催し物の見直しを行う。</li> <li>・縄文人ファッションショー等の参加者が増加するよう募集方法を改善する。</li> <li>・魅力のある模擬店を増やす。</li> <li>・開催周知のための広告媒体及び機会を増やす。</li> </ul>			

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
<p>評価する点、改善すべき点</p> <p>風土記の丘ふるさとまつりは、市民の文化財保護意識の高揚と地域振興を目的とした、市直営のイベントである。</p> <p>本イベントについては、水戸市の歴史を学び、文化財の魅力を伝える場として、また、常澄地区におけるにぎわいある地域づくりを推進するためのイベントとして有益であるとともに、運営についても、おおむね適正に執行されていた。</p> <p>しかしながら、地元の来場者が多く、他地域も含めたより多くの来場者を集めるため、広報の手段や範囲を見直す必要があると思われる。</p> <p>イベントの内容についても、文化財の普及啓発の趣旨に沿った企画を増やすとともに、市民参加を促進できる内容とするほか、荒天時の対応も含め、企画内容を再検討するべきである。また、現在も、勾玉作りや火おこしなどの体験会を開催しているが、子どもが理解できるように内容の一層の充実を図るべきである。</p> <p>そのため、1次評価の「見直しの上で継続（手段を改善する）」は、妥当である。</p> <p>なお、本イベントの活性化に向けた取組に加え、小・中学校での郷土学習等において使用する教材に公園の情報を掲載するなど、公園自体の魅力を発信するための取組についても、検討するべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
<p>風土記の丘ふるさとまつりは、市直営のイベントであり、本市の歴史を学び、文化財の魅力を伝える場として、また、常澄地区におけるにぎわいある地域づくりを推進するためのイベントとして有効であるとともに、運営についても適切に実施されている。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、他地域も含めたより多くの来場者を集めるため、広報の手段や範囲を見直す必要がある。</p> <p>また、イベントの内容も、文化財の普及啓発の趣旨に沿った企画を増やすとともに、子どもを対象とした体験会の充実等、市民参加を促進できる内容とするなど、企画内容を再検討する必要がある。あわせて、屋外での企画が主であることから、荒天時への対応の検討も必要である。</p> <p>そのため、「見直しの上で継続（手段を改善する）」とする。</p>	

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。）

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	<p>市内全域からより多くの来場者を集めるため、広報の手段や範囲を見直す。</p> <p>また、市民参加の促進を図るため、文化財の普及啓発の趣旨に沿った企画の見直しや子どもを対象とした体験会の充実を図るなど、内容を再検討する。</p> <p>あわせて、荒天時の対応について検討する。</p>
-----------------------	---

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況 平成29年11月12日(日)に開催予定の第27回風土記の丘ふるさとまつりでは、市内遺跡の発掘調査成果について、TVのバラエティ番組を活用した展覧会を企画するなど、地元コミュニティはもとより、市内全域から来場いただくための魅力ある文化財普及啓発事業(子どもを対象とした新たな体験企画を含む。)を展開する。 広報については、ポスター・チラシ等のデザイン・ポップの見直しやSNS等の電子媒体をフルに活用し、広報手段を強化する。 荒天時については、隣接する常澄中学校と連携し、プログラムの一部について体育館で実施できるよう調整中である。
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)	

7 2年目改善目標(2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標(3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--

## (別紙1-①)事業費内訳(市直営事業)

## (収入)

科目	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 国庫支出金	246,750	249,588	249,750	249,966	250,000	216	
2 市債							
3 その他							
4 一般財源	2,157,351	2,099,484	2,110,832	2,213,882	2,097,880	103,050	
合計	2,404,101	2,349,072	2,360,582	2,463,848	2,347,880	103,266	

## (支出)

科目	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 旅費							
特別旅費							
2 報償費	280,000	230,000	230,000	330,000	230,000	100,000	
謝礼金等	280,000	230,000	230,000	330,000	230,000	100,000	常澄地区以外の文化財保持団体に新たに出演いただいたため。
3 需用費	169,951	163,856	175,042	177,876	155,000	2,834	
消耗品費	41,501	39,397	34,487	39,636	25,000	5,149	
食糧費	128,450	124,459	140,555	138,240	130,000	△ 2,315	
4 役務費							
通信運搬費							
5 委託料	1,914,150	1,917,216	1,917,540	1,917,972	1,924,880	432	
事務事業等委託料	1,914,150	1,917,216	1,917,540	1,917,972	1,924,880	432	
6 使用料及び賃借料	40,000	38,000	38,000	38,000	38,000		
賃借料(土地)	40,000	38,000	38,000	38,000	38,000		
7 その他							
臨時雇賃金							
合計	2,404,101	2,349,072	2,360,582	2,463,848	2,347,880	103,266	

## (収支)

	金額(円)				
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計					



(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 風土記の丘ふるさとまつり

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
水戸市	主催	本部, 案内, 広報, マスコットキャラクター
実行委員会	主催	本部, ステージ, 案内
イベント会社	その他	ステージ設営, 司会進行等

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日: 11月8日)

	人数	主な業務
市職員	17人程度	本部8人, 記録1人, マスコットキャラクター4人, 売店4人
実行委員会	13人程度	本部13人
委託会社職員	4人程度	ステージ4人
ボランティア	27人程度	受付2人, 総務2人, 来賓案内2人, 売店12人, お茶接待9人
計	61人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年8月	第1回実行委員会 (第25回まつり事業報告, 第26回まつり基本方針, 実施計画等)
平成28年9月	第2回実行委員会 (第26回まつり実施計画, タイムテーブル, 参加団体説明会等)

(これまでの開催実績)

年月日	第〇回	会場名	参加者数 (人) (A)	係員数 (人) (B)	総数 (人) (A+B)
平成24年11月11日	22	大串貝塚ふれあい公園	6,500	65	6,565
平成25年11月10日	23	大串貝塚ふれあい公園	8,000	65	8,065
平成26年11月9日	24	大串貝塚ふれあい公園	5,500	65	5,565
平成27年11月8日	25	大串貝塚ふれあい公園	2,000	65	2,065
平成28年11月13日	26	大串貝塚ふれあい公園	5,500	61	5,561

※ 係員数には, イベント当日の運営に係る職員 (市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
美浦村	村	陸平縄文ムラまつり	27	1,000	25	1,025	1,200	1日間 陸平貝塚
千葉市	市	縄文ムラまつり	27	16,500	20	16,520	700	3日間 加曽利貝塚
郡山市	市	古墳まつり	27	4,000	60	4,060	1,500	2日間 大安場古墳
小山市	市	寺野東遺跡縄文まつり	26	1,000	100	1,100	600	1日間 寺野東遺跡
吉野ヶ里町	実行委員会	吉野ヶ里ふるさと炎まつり	27	37,312	100	37,412	6,000未満	2日間 吉野ヶ里遺跡

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	(無)

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

## 行政評価調書

事務事業名	七ツ洞公園再生事業	評価初年度	平成 28 年度	
		担当部署名	都市計画部公園緑地課	
実施主体	水戸市（平成28年度まで）、七ツ洞公園活性化事業実行委員会（平成29年度から）			
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等	
大項目	水戸ならではの歴史、自然を生かした魅力ある「みと」づくり	3	種類	1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項
中項目	交流を創出する魅力の向上と発信	3		4. 計画等 5. 特になし
小項目	魅力ある交流拠点の形成	1	名称	

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	H26 年度	②事業の完了予定の有無（有/無）	無	年度
③事業の概要 （概要）全国的にも数少ない英国式庭園として整備された七ツ洞公園は花々の枯死や施設の老朽化等により来園者数が伸び悩んでいた。英国式庭園の開園15周年を契機に、平成26年度から公園の再生事業を開始した。再生していく七ツ洞公園の魅力をイベントを通して発信し、認知度向上と来園者増加、また交流拠点づくりを推進する。 （主催）水戸市（平成28年度まで）、七ツ洞公園活性化事業実行委員会（平成29年度から）				
④事業の目的				
ア【対象】誰を（何を）対象に	対象公園（平成28年4月1日） 七ツ洞公園 1公園			
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。	イベントの開催等を通して、七ツ洞公園の再生と魅力を発信し認知度向上を図り、交流人口の増加を創出する。			
⑤成果指標（市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。）				
成果指標 1				
指標	年間来園者数 （大規模イベントを除く）	説明	平常時の来園者数の増加を目標としており、1回の開催で来園者数に大きな影響のある大規模イベントを除いた来園者数を指標とする。	
成果指標 2				
指標	水戸市公式ホームページの年間アクセス件数 （件） （ページID：6455、英国式庭園（七ツ洞公園）について）	説明	七ツ洞公園の認知度増加を目標としており、七ツ洞公園について紹介する水戸市公式ホームページのアクセス件数を指標とする。	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 七ツ洞公園の再生と魅力を発信し認知度向上を図り、交流人口の増加を創出するため、七ツ洞公園において魅力的なイベントを開催する。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 七ツ洞公園の認知度が十分でなく、本格的な英国式庭園である魅力を発信する機会が必要であるため。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 七ツ洞公園再生事業開始直近の4年間（来園者カウントを始めたのがH22年度から）の平均来園者数（18,528人）と比較して、次年度以降の来園者数（大規模イベントを除く）が2倍以上増加していることから、有効と判断する。				
⑨類似事業（民間における類似事業、市が実施している類似事業） 七ツ洞公園を対象とした再生と魅力向上のためのイベントは他に無い。なお、茨城県近代美術館前ではマルシェ・ド・ノエル実行委員会主催のマルシェ・ド・ノエル（クリスマス・マーケット）がある。				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察（市直営⇒民間・NPO、実行委員会⇒市直営、民間・NPO） 民間・NPO主体により実施した場合、行政の枠にとらわれず、民間事業者等のもつ技術、知識、経験、ネットワーク、資金等の民間活力を活用し、効率的かつ効果的な魅力発信を期待できる。				

## 2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 年間来園者数（人） （大規模イベントを除く）			成果指標 2 水戸市公式ホームページの年間アクセス 件数（件） （ページID：6455、英国式庭園（七ツ洞 公園）について）		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
26年度	37,056	42,345	114.3	21,856	40,847	186.9
27年度	38,056	41,788	109.8	22,856	37,760	165.2
28年度	39,056	36,895	94.5	23,856	42,387	177.7
29年度	40,056			24,856		
30年度	41,056			25,856		
①目標値の 根拠	初年度は直近平均来園者数の2 倍、次年度以降は年間1,000人の 増加を目標値とする。			初年度は平成25年度のアクセス件数の2 倍、次年度以降は年間1,000件の増加を目 標値とする。		
②数値で表 せない効果	日本屈指の英国式庭園である七ツ洞公園の魅力向上 国田地区の地域コミュニティの活性化					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

## 3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たり の行政コスト （①行政コス ト／成果指標 1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 26  決算	国県支出金		旅費	33	98.31
	市債		報償費	201	
	その他		需用費	278	
	一般財源	4,163	役務費	453	
			委託料	2,814	
			使用料・賃借料	384	
	4,163		その他	0	
H 27  決算	国県支出金		旅費	20	157.87
	市債		報償費	490	
	その他		需用費	431	
	一般財源	6,597	役務費	367	
			委託料	4,190	
			使用料・賃借料	780	
	6,597		その他	319	
H 28  決算	国県支出金		旅費	0	160.56
	市債		報償費	331	
	その他		需用費	399	
	一般財源	5,924	役務費	408	
			委託料	4,364	
			使用料・賃借料	422	
	5,924		その他	0	
H 29  予算	国県支出金		旅費		
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	5,000	役務費		
			委託料		
			使用料・賃借料		
	5,000		その他	5,000	

### ③コスト削減の取組

イベントの企画提案や会場装飾など、事業の一部について地元団体や出店者等の民間活力を活用し、コスト削減やサービス向上に努めた。また、イベントの実施にあたっては、MEG（水戸イングリッシュガーデンクラブ）による秘密の花苑の管理等、ボランティアの協力を得ている。

4 1年目評価

(1) 1次評価(内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○		④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	大規模イベントでは日当たり5千人を超える来園者数があり、ニーズは高い。
○		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	七ツ洞公園の再生と魅力向上のためのイベントは他に無い。
合計			評価結果	B
2	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
○		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	毎年度、目標値を前年度よりも高く設定している。
		②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑧有効性 ・2-成果指標	
○		③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	毎年度、目標値よりも実績が上回っている。
○		④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	全公園利用者を対象にしたイベントである。交通手段のない人のために水戸駅間のバス運行をした。
○		⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	来園実績から、イベントを通して七ツ洞公園の再生と魅力を発信し認知度向上を図れていると判断できる。
合計			評価結果	A
4	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト	
○		②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	イベントの企画提案や会場装飾など民間活力の活用によりコスト削減やサービス向上に努めた。
		③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	
○		④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	七ツ洞公園の再生と魅力向上のための市の類似事業は他に無い。
		⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	
合計			評価結果	B
2	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	ア
方向性			
1 現状のまま継続			
2 見直しの上で継続			
	ア	主体を代える（実施主体を代える）	
	イ	手段を改善する（実施の手段を代える）	
	ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	
	エ	簡素化する（規模を縮小する）	
	オ	統合する（類似事業を統合する）	
3 休止、廃止			

②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。）  
 イベントの企画提案や会場装飾など、これまで民間活力を導入してきた実績を活かして、今後は更なる効率的かつ効果的な魅力発信を目指すため、民間事業者等への補助金により事業の継続を模索する。

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（主体を代える）
<p>評価する点、改善すべき点            セツ洞公園再生事業は、セツ洞公園の魅力発信し、公園の再生を目的とした、市直営のイベントである。            本イベントについては、セツ洞公園の魅力向上させるために、四季を通じて様々なイベントを実施するとともに、民間事業者の協力によりヨーロッパ風の演出をするなど、公園の魅力発信という点で有益である。また、地元である国田地区の活性化にもつながっているほか、水戸イングリッシュガーデンクラブをはじめとしたボランティアを効果的に活用するなど、運営についても、おおむね適正に執行されていた。            しかしながら、さらなる魅力の向上に向けて、民間主体の実行委員会を設置して、市から補助金を支出するなど、民間の創意工夫の活用を検討するべきである。            また、事業費について、市の財政的負担を軽減するために、出店料の徴収など、事業収入の確保に向けた取組について検討する必要がある。            そのため、1次評価の「見直しの上で継続（主体を代える）」は、妥当である。            なお、公園自体の魅力発信については、英国式庭園としての位置付けを生かし、イベント時のみならず、通常時の来園者の増加に向け、ホームページに公園施設の詳細な説明を掲載するなど、多方面への周知を図る取組が必要である。また、現在、水戸イングリッシュガーデンクラブのボランティアが庭園の管理を行っているが、ボランティア会員の増強なども必要である。さらに、施設全体が無料であるが、有料化に向けた検討も行うべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続（主体を代える）
<p>セツ洞公園再生事業は、市直営のイベントであり、セツ洞公園の魅力向上させるために、四季を通じて様々なイベントを実施するとともに、民間事業者の協力によりヨーロッパ風の演出をするなど、公園の魅力発信という点で有効である。また、地元である国田地区の活性化にも寄与しているほか、水戸イングリッシュガーデンクラブをはじめとしたボランティアを効果的に活用するなど、運営についても適切に実施されている。            しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、民間主体の実行委員会を設置して、市から補助金を支出するなど、民間主体のイベントへの移行を検討する必要がある。            また、事業費についても、出店料の徴収など事業収入の確保に向けた取組について検討する必要がある。            そのため、「見直しの上で継続（主体を代える）」とする。</p>	

5. 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	民間主体の実行委員会を設置し、市から補助金を支出するなど、民間主体のイベントへの移行を検討する。 事業費についても、出店料の徴収など事業収入の確保に向けた取組について検討する。
-----------------------	---

6 2年目評価（進行管理）

(1) 1次評価（内部評価）

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>平成28年度は、大規模イベントで安定した集客を確保する一方で、通常時の来場者数は目標値を下回る結果となった。しかしながら、ホームページのアクセス数は大きく目標値を上回ったことから認知度は上がったと評価できる。</p> <p>1年目評価結果を踏まえ、平成28年度末に民間主体の実行委員会が組織されたため、平成29年度からは実行委員会がイベントの主催者となり、市から補助金を支出する形態へ移行した。新体制での最初のイベントが本年5月に開催され、そこでは、出店料を徴収し、事業収入を確保した。その収益を今後のイベント資金として活用する。今後、さらに民間活力を活用した効果的な魅力発信についても取り組む。</p>
---

(2) 2次評価（外部評価）

今後の方向性	
○特記事項（行政評価委員会からの指摘事項など）	

(3) 3次評価（総合評価）

今後の方向性	
○特記事項（行政改革推進本部からの指示事項など）	

7 2年目改善目標（2年目評価で見直しを指摘された場合に記入）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	
-----------------------	--

8 3年目評価（進行管理）

(1) 1次評価（内部評価）

○見直しの状況など事務事業の現況
------------------

(2) 2次評価（外部評価）

今後の方向性	
○特記事項（行政評価委員会からの指摘事項など）	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--



## (別紙1-①)事業費内訳(市直営事業)

## (収入)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 国庫支出金						
2 市債						
3 その他						
4 一般財源	4,163,228	6,597,386	5,924,502		-672,884	事業頻度削減のため
5 補助金(一般財源より)				5,000,000		29年度より補助事業に移行
6 事業収入				108,000		実行委員会自主財源分(出店料)
合計	4,163,228	6,597,386	5,924,502	5,108,000	-672,884	

## (支出)

科目	金額(円)				増減(28-27年度)	増減理由
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
1 旅費	32,490	20,420			-20,420	
特別旅費	32,490	20,420			-20,420	要しなかったため
2 報償費	201,000	489,890	331,000		-158,890	
謝礼金等	201,000	489,890	331,000		-158,890	謝礼イベント減少のため
3 需用費	277,610	430,619	399,359	450,000	-31,260	
消耗品費	54,050	32,920	60,434	99,000	27,514	
印刷製本費	223,560	397,699	338,925	351,000	-58,774	低効果の媒体を削減したため
4 役務費	453,168	366,768	408,240	162,000	41,472	
通信運搬費						
広告料	453,168	366,768	408,240	162,000	41,472	イベント広告拡充のため
5 委託料	2,814,480	4,190,400	4,364,280	4,062,000	173,880	
	2,814,480	4,190,400	4,364,280	4,062,000	173,880	イベント内容拡充のため
6 使用料及び賃借料	384,480	779,825	421,623	434,000	-358,202	
	384,480	779,825	421,623	434,000	-358,202	シャトルバス賃貸借回数減少のため
7 その他		319,464			-319,464	
備品購入費		319,464			-319,464	既存の物品で賄えたため
合計	4,163,228	6,597,386	5,924,502	5,108,000	-436,882	

## (収支)

	金額(円)			
	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
合計				

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 English Rose Fair

(実施主体等との関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
水戸市	主催	本部, 案内, 広報
イベント会社	その他	会場設営等

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日: 5月21日~6月5日)

	人数	主な業務
市職員	5人程度	本部3人, 記録1人, シヤトルバス誘導1人
計	5人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年4月	イベント協力依頼文送付
平成28年5月	会場設営等業務委託発注
平成28年5月	「English Rose Fair」開催

(これまでの開催実績)

年月日	第〇回	会場名	参加者数(人)(A)	係員数(人)(B)	総数(人)(A+B)
平成28年5月21日~6月5日	3	七ツ洞公園	18,330	5	18,335
平成27年5月23日, 24日	2	七ツ洞公園	11,300	5	11,305
平成26年5月17日, 15日, 21日, 22日	1	七ツ洞公園	8,800	4	8,804

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員(市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等)を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
						0		
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	<input checked="" type="radio"/> 無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 ブライダル&スイーツフェア

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
水戸市	主催	本部, 案内, 広報
イベント会社	その他	会場設営等

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日: 7月3日)

	人数	主な業務
市職員	4人程度	本部4人
計	4人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年4月～5月	イベント協力依頼文送付
平成28年6月	会場設営等業務委託発注
平成28年7月	「ブライダル&スイーツフェア」開催

(これまでの開催実績)

年月日	第〇回	会場名	参加者数(人)(A)	係員数(人)(B)	総数(人)(A+B)
平成28年7月3日	1	七ツ洞公園	1,600	4	1,604

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員(市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等)を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数 (人)	係員数 (人)	総数 (人)	事業費 (千円)	備考
						0		
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	<input checked="" type="radio"/> 無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 Autumn Fair in Nanatsudo

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
水戸市	主催	本部, 案内, 広報
イベント会社	その他	会場設営等

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成28年度実績 (開催日: 10月23日)

市職員	人数	主な業務
	7人程度	本部5人, 記録1人, イベント補助1人
計	7人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成28年度実績

年月	内容
平成28年7月～9月	イベント協力依頼文送付
平成28年10月	会場設営等業務委託発注
平成28年10月	「Autumn Fair in Nanatsudo」開催

(これまでの開催実績)

年月日	第○回	会場名	参加者数(人)(A)	係員数(人)(B)	総数(人)(A+B)
平成28年10月23日	3	七ツ洞公園	2,300	7	2,307
平成27年10月17日, 18日	2	七ツ洞公園	10,000	7	10,007
平成26年10月25日, 26日, 11月1日, 2日, 3日	1	七ツ洞公園	11,530	3	11,533

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員(市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等)を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数 (人)	係員数 (人)	総数 (人)	事業費 (千円)	備考
						0		
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数（市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等）を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。





## 行政評価調書

事務事業名	開放学級事業保護者負担金滞納整理事務	評価初年度	平成 27 年度
		担当部署名	教育委員会総合教育研究所
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	市民と行政との協働による自主・自立した「みと」づくり	4	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 1
中項目	市民主体の行政運営の推進	2	
小項目	行財政改革の推進	3	
		名称	地方自治法第240条

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	平成17年度	②事業の完了予定の有無（有／無）	無	年度
③事業の概要 開放学級事業保護者負担金を納期までに納めない個人に対し、納付するように指導し、又は差押えや公売等を行うことにより、歳入の確保を図る。				
④事業の目的				
ア【対象】誰を（何を）対象に 開放学級事業保護者負担金滞納者			対象者（平成27年4月1日） 163人	
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 滞納状態を解消する。				
⑤成果指標（市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。）				
成果指標 1				
指標	収納率	説明	各年度末における調定額に対する収入済額の割合	
成果指標 2				
指標	滞納者（件）数	説明	各年度末における滞納者（件）数	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 督促、催告など				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 未納者から債権を確実に収納しないと、財源が確保されず、市民サービスの提供が困難になる。また、ほかの納付者に対して公平性を保てない。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 滞納整理事務は、収納率の向上につながっており、有効である。				
⑨類似事業（民間における類似事業、市が実施している類似事業） 非強制徴収債権（私債権） 類似事業：水道料金、市営住宅家賃等				
⑩民間・NPOが実施した場合の効率性についての考察				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 収納率 (%)			成果指標 2 滞納者数 (人)		
	目標	実績	達成率 (%)	目標	実績	達成率 (%)
24 年度	98.0	96.1	98.1	未設定	133	—
25 年度	97.5	96.4	98.9	未設定	141	—
26 年度	97.4	96.3	98.9	未設定	163	—
27 年度	98.0	96.4	98.4	未設定	166	—
28 年度	99.0	96.6	97.6	未設定	160	—
29 年度	97.0			未設定		
①目標値の根拠	課内方針			過去の実績に基づく数値		
②数値で表せない効果						

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（②事業費は別紙2「行政コスト内訳」から転記してください。）

	①行政コスト (②+③) (千円)	②事業費 (千円)		③人件費 (千円)		④単位当たりの行政コスト (①行政コスト/成果指標 2) (単位千円)
		内訳 (千円)		平均給与 (千円)	人役 (%)	
H 24		国県支出金 1,063		3,788		30
決算	3,983	市債	195	行政	8,368	
		その他		技労	0	
		一般財源 2,920		嘱託	2,197	
				臨時	0	
H 25		国県支出金 1,075		3,765		28
決算	3,974	市債	209	行政	8,306	
		その他		技労	0	
		一般財源 2,899		嘱託	2,209	
				臨時	0	
H 26		国県支出金 1,735		4,054		26
決算	4,307	市債	253	行政	8,306	
		その他		技労	0	
		一般財源 2,572		嘱託	3,651	
				臨時	0	
H 27		国県支出金 1,740		4,191		26
決算	4,403	市債	212	行政	8,625	
		その他		技労	0	
		一般財源 2,663		嘱託	3,702	
				臨時	0	
H 28		国県支出金 1,760		4,197		27
決算	4,452	市債	255	行政	8,637	
		その他		技労	0	
		一般財源 2,692		嘱託	3,706	
				臨時	0	
H 29		国県支出金 1,786		7,275		
予算	7,499	市債	224	行政	16,290	
		その他		技労	0	
		一般財源 5,713		嘱託	3,795	
				臨時	0	

⑤コスト削減の取組

4 1年目評価

(1) 1次評価(内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
○	①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	財源の確保及び公平性の観点から必要である。
/	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
/	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。		・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
/	④対象者のニーズが高い事業である。		・1-⑦必要性	
/	⑤民間、NPO等に類似事業はない。		・1-⑨類似事業	
合計			評価結果	A
4	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
○	①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。		・2-成果指標	
○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。		・1-⑧有効性 ・2-成果指標	収納率の維持、向上のためには有効である。
	③成果指標の実績が目標に達している。		・2-成果指標	
○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者(※)が、特定の者に偏っていない。 ※ 強制徴収又は強制執行を受ける者		・別紙1 実施率	滞納者すべてが督促、催告の対象である。
	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。		・1-⑥手段 ・別紙1 全体	
合計			評価結果	B
2	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
○	①効率性向上の余地はない。		・3-①行政コスト	督促及び催告については、効率的に執行できている。
	②コスト削減への取組を実施している。		・3-⑥コスト削減の取組	
	③市が実施する方が民間やNPOが実施するより効率的である。(又は、市が実施を義務付けられている。)		・1-⑩民間、NPOが実施した場合の効率性についての考察	
	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。		・1-⑨類似事業	
	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。		・3-④単位当たりの行政コスト	
合計			評価結果	A
4	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ
方向性		評価の考え方（滞納整理事務の場合）	
1 現状のまま継続			
2 見直しの上で継続			
	ア 主体を代える（実施主体を代える）		
	イ 手段を改善する（実施の手段を代える）	手段別シートのいずれかの手段において、変更をしたほうが良いものがある場合。又は、事務手続を拡大若しくは縮小する必要がある場合	
	ウ 効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	手段別シートのいずれかの手段において、効率化（廃止を含む。）を図る必要がある場合	
	エ 簡素化する（規模を縮小する）	手段別シートのいずれかの手段において、簡素化を図る必要がある場合	
	オ 統合する（類似事業を統合する）		
3 休止，廃止			
②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止，廃止」の場合，記入する。） 高額滞納者に対する納付相談の実施や電話での催告を実施する。			

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続(手段を改善する)
<p>評価する点，改善すべき点          開放学級事業保護者負担金は，私法上の原因に基づいて発生し，差押えに訴訟の提起が必要な私債権である。          滞納整理事務については，督促及び催告を適切に実施している。          しかし，長期間未回収の債権については，訴訟を提起するか，免除をするかなどの手法を検討する必要がある。          そのため，1次評価の「見直しの上で継続(手段を改善する)」は妥当である。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続(手段を改善する)
<p>開放学級事業保護者負担金は，督促及び催告は適切に実施している。          しかし，行政評価委員会からの意見にあるとおり，長期間未回収の債権については，強制執行，免除等の手続をする必要があることから，「見直しの上で継続(手段を改善する)」とする。</p>	

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止，廃止」の場合に記入する。）

改善目標 (又は休止，廃止の方向性)	長期間未回収の債権について，強制執行，免除等の手続を実施する。
-----------------------	---------------------------------

## 6 2年目評価(進行管理)

### (1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況  
 長期間未回収の債権について、強制執行や免除等の手続の実施に向け検討中である。

### (2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など) 開放学級事業保護者負担金は、昨年度の評価を受け、長期間未回収債権について、強制執行、免除等の手続の実施を改善目標に掲げているところであるが、手続の実施に向けた検討にとどまっている。平成29年度は、10年の消滅時効を迎える初年度であることから、債務の承認のほか、強制執行、免除等の手続の実施の強化を図るなど、債権管理上、更なる改善を進めるべき重要な年度といえる。そのため、次年度も引き続き評価を継続するものとする。	

### (3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など) 開放学級事業保護者負担金は、長期間未回収債権について、強制執行、免除等の手続の実施を2年目改善目標としている。 しかし、現状は、手続の実施に向けた検討を進めているところである。行政評価委員会からの意見にあるとおり、当該事業は平成19年度から開始しており、平成29年度に、初年度の債権が10年の消滅時効を迎えることから、債務の承認のほか、強制執行、免除等の手続の実施の強化を図る必要がある。 このようなことから、次年度も評価を継続するものとする。	

## 7 2年目改善目標(2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	長期間未回収債権について、債務の承認のほか、強制執行、免除等の手続を実施する。 また、自主納付を推進するために、児童手当からの申出徴収の強化を図る。
-----------------------	---

## 8 3年目評価(進行管理)

### (1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況  
 長期間未回収債権のうち、平成17年度分の債権については、不納欠損に向けた手続を進めていたところであるが、4人分、74,000円のうち、3人分、49,000円を徴収することができた。  
 引続き、残る1人分、25,000円の債権についても、現在、納付相談中であることから、不納欠損は現在のところ、実施していない。  
 また、平成18年度以降の債権についても、債務の承認のほか、支払督促等の法的手続や、権利放棄等の手続を実施していくこととしている。  
 さらに、児童手当からの申出徴収についても、入級時や催告書の送付時に申出用紙を同封するなど、申出を奨励し、徴収の強化に努めている。

### (2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

(別紙1)手段別シート

課名 総合教育研究所  
 事務事業名 開放学級事業保護者負担金滞納整理事務

番号	1	2	
手段	督促(督促状の送付)	催告(催告書の送付)	
対象者数(延べ件数)	1,234	498	
手段実施者数(延べ件数)	1,234	498	
実施率(%)	100.0	100.0	
時期,回数	納期の20日以内。年12回	年3回(4月,8月,12月)	
手段の詳細 (誰が何をやる) (どこに何をさせる)	正職員1人が督促状に滞納者情報を印刷し,正職員2人と嘱託員2人でチェックしたのち,別納郵便にて発送する。	正職員1人が催告書に滞納者情報を印刷し,正職員2人と嘱託員2人でチェックしたのち,別納郵便にて発送する。	
担当者	正職員	2	2
	嘱託員	2	2
	臨時職員	0	0
有効性	督促状の発送直後は納付件数が上がったり,問合せが増えるため,有効である。	催告書の発送直後は納付件数が上がったり,問合せが増えるため,有効である。	
効率性	対象が多いが明確であり,迅速かつ簡易な事務作業で実施できるため,効率的である。	対象が多いが明確であり,迅速かつ簡易な事務作業で実施できるため,効率的である。	
コスト削減の取組	なし	なし	
創意工夫している取組	なし	なし	
さらなる改善に向けた取組	なし	なし	
実績(件)	H25	1,225	479
	H26	1,264	491
	H27	1,234	498
	H28	1,231	495

※ 実績件数以外は,平成28年度の状況

(別紙2)行政コスト内訳(職員人件費、嘱託員・臨時職員に係る経費を除く事業費)

	金額(円)							増減(28-27年度)	増減理由
	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算			
事業費	195,000	208,900	252,512	212,280	255,000	224,000	42,720		
消耗品費									
燃料費									
印刷製本費	42,000	39,900	39,312	71,280	86,000	78,000	14,720		
修繕料									
通信運搬費	153,000	169,000	213,200	141,000	169,000	146,000	28,000		
手数料									
保険料									
委託料									
使用料及び賃借料									
公課費									
その他									
合計	195,000	208,900	252,512	212,280	255,000	224,000	42,720		



(別添3) 滞納整理事務基礎資料

税・料名	開放学級卒業保護者負担金											
------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	平成24年度決算			平成25年度決算			平成26年度決算			平成27年度決算			平成28年度決算		
	合計	現年度	過年度	合計	現年度	過年度	合計	現年度	過年度	合計	現年度	過年度	合計	現年度	過年度
取納率(%) [(A-B-C)/A]	96.1	98.9	10.4	96.4	98.2	18.1	96.3	99.1	15.0	96.4	99.4	14.9	96.6	99.5	11.8
A 額定額(円)	75,818,610	73,491,550	2,327,060	83,722,780	80,822,500	2,900,280	87,406,990	84,434,250	2,972,740	93,880,710	90,606,900	3,273,810	99,753,310	96,405,300	3,348,010
B 収納未済額(円)	2,921,280	836,400	2,084,880	3,008,280	634,000	2,374,280	3,264,810	736,650	2,528,160	3,348,010	560,600	2,787,410	3,417,510	465,200	2,952,310
C 不納欠損額(円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
納付者率(%) [(D-E)/D]	94.0			94.5			94.1			93.9			94.4		
D 納付義務者数(人)	2,205			2,586			2,760			2,700			2,841		
E 滞納者数(人)	133			141			163			166			160		

※納付義務者数(人)の欄は、利用者数を入力。義務者は原則保護者となるが、利用者には兄弟姉妹等がおり、利用者数>保護者数となるため、実数より多くなっている。



## 行政評価調書

事務事業名	斎場管理運営事務	評価初年度	平成 25 年度
		担当部署名	生活環境部衛生管理課
第5次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	人と自然が共生し快適に暮らせるまちづくり	2	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 1・2 名称 墓地, 埋葬等に関する法律 斎場条例及び施行規則
中項目	快適な生活環境の実現	2	
小項目	斎場の整備	7	

### 1 事業の概要, 目標

①事業の開始時期	昭和52年度	②事業の完了予定の有無(有/無)	無	年度	
③事業の概要 公衆衛生の向上及び市民の福祉増進を図るため、斎場を設置し以下のような業務を行っている。 火葬許可を受けた遺体の火葬業務 通夜式・告別式を行うための式場及び待合室の貸出し業務 式場及び火葬施設の維持管理業務					
④事業の目的 【対象】誰を(何を)対象に 全市民(市外利用者も可)					
対象を表す数値	269, 636人(平成25年4月1日現在 水戸市の常住人口) + α(本市以外の住民で利用を希望する者)				
【理想像】どのような状態にしたいのか。 本格的な高齢化社会の到来に伴う火葬件数の増加など、多様化する利用者ニーズに対応した施設の管理運営が行われている状態。					
⑤成果指標(市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)					
成果指標1					
指標	火葬件数	説明	年間火葬件数		
成果指標2					
指標	式場及び待合室使用件数	説明	年間式場及び待合室使用件数		
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 御霊となられた遺体を火葬する。(日最大 11件) 通夜や葬儀の式場及び待合室を提供する。(通夜及び葬儀 日最大 9件) 年次的に施設や設備の改修を行う。					
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 市内では他に火葬場がなく、公衆衛生その他公共の福祉の見地から必要不可欠である。 また、火葬場と併設した式場は、利用者の利便性から必要である。					
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 市民の火葬需要に適切に対応することで、公衆衛生の向上及び市民の福祉増進に寄与する。 火葬場に式場を併設するなど、市民の多様化するニーズに対応し、利用者の利便性向上を図っている。					
⑨類似事業(民間における類似事業、市が実施している類似事業) 火葬業務については、市内では市斎場以外に業務を行う施設はない。 葬送儀礼については、民間葬祭業者の式場施設がある。					
⑩民間・NPOが実施した場合の効率性についての考察 民間のノウハウを活用し、市民の多様なニーズに応じた要員配置が可能になるものと考察されるが、一方で火葬業務は、遺族にとって最後のお別れの場であり、業務の性質上馴染まない面があるものと考察される。					

## 2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1			成果指標 2		
	火葬件数（件）			式場及び待合室使用件数（件）		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
21年度	2,250	2,372	105.42	4,150	4,160	100.24
22年度	2,250	2,559	113.73	4,150	4,552	109.69
23年度	2,350	2,690	114.47	4,200	4,458	106.14
24年度	2,350	2,549	108.47	4,200	4,202	100.05
25年度	2,500	2,656	106.24	4,250	4,208	99.01
26年度	2,500	2,652	106.08	4,250	4,136	97.32
27年度	2,500	2,721	108.84	4,250	4,000	94.12
28年度	2,710	2,752	101.55	4,330	3,777	87.23
29年度	2,800			4,000		
①目標値の根拠	火葬件数の実績から算出			式場等の使用件数の実績から算出		
②数値で表せない効果	市内で唯一の火葬業務を執行している。					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

## 3 行政コストの推移（行政コスト内訳は別紙のとおり）

### ① 火葬に係る行政コストの推移

	①行政コスト（②+③）（千円）	②事業費（千円）		③人件費（千円）			④単位当たりの行政コスト（①行政コスト/成果指標1実績）（円）	
		内訳（千円）		平均給与（千円）	人役（%）			
H 23 決算	59,779	国県支出金	19,377	40,402			22,223	
		市債		行政	5,531	8,509		65
		その他 19,817		技労	33,773	7,505		450
		一般財源 39,962		嘱託	1,099	2,197		50
			臨時	0				
H 24 決算	61,793	国県支出金	21,483	40,310			24,242	
		市債		行政	5,439	8,368		65
		その他 19,226		技労	33,773	7,505		450
		一般財源 42,567		嘱託	1,099	2,197		50
			臨時	0				
H 25 決算	67,850	国県支出金	26,013	41,837			25,546	
		市債		行政	5,399	8,306		65
		その他 20,340		技労	35,334	7,852		450
		一般財源 47,510		嘱託	1,105	2,209		50
			臨時	0				
H 26 決算	71,250	国県支出金	28,905	42,345			26,866	
		市債		行政	5,399	8,306		65
		その他 36,361		技労	35,334	7,852		450
		一般財源 34,889		嘱託	1,141	2,282		50
			臨時	471	1883	25		
H 27 決算	71,751	国県支出金	28,546	43,205			26,369	
		市債		行政	5,606	8,625		65
		その他 19,786		技労	35,960	7,991		450
		一般財源 51,965		嘱託	1,157	2,314		50
			臨時	482	1,929	25		

H 28 決算	69,377	国県支出金		26,679	42,698			25,210	
		市債			行政	5,614	8,637		65
		その他	20,310		技労	34,866	7,748		450
		一般財源	49,067		嘱託	1,737	2,316		75
					臨時	481	1,925		25
H 29 予算	68,759	国県支出金		25,263	43,496			25,210	
		市債			行政	5,294	8,145		65
		その他	21,259		技労	35,928	7,984		450
		一般財源	47,500		嘱託	1,779	2,372		75
					臨時	494	1,977		25
⑤コスト削減の取組 照明器具の間引き点灯による節電									

②式場における行政コストの推移

	①行政コスト(②+③) (千円)	内訳 (千円)		②事業費 (千円)	③人件費 (千円)			④単位当たりの行政コスト(①行政コスト/成果指標2実績) (円)	
					平均給与 (千円)	人役 (%)			
H 23 決算	46,502	国県支出金		29,065	17,437			10,431	
		市債			行政	11,487	8,509		135
		その他	42,570		技労	3,753	7,505		50
		一般財源	3,932		嘱託	2,197	2,197		100
					臨時	0			
H 24 決算	49,471	国県支出金		32,225	17,246			11,773	
		市債			行政	11,297	8,368		135
		その他	39,524		技労	3,753	7,505		50
		一般財源	9,947		嘱託	2,197	2,197		100
					臨時	0			
H 25 決算	52,824	国県支出金		35,477	17,348			12,553	
		市債			行政	11,213	8,306		135
		その他	38,370		技労	3,926	7,852		50
		一般財源	14,454		嘱託	2,209	2,209		100
					臨時	0			
H 26 決算	48,564	国県支出金		31,143	17,421			11,742	
		市債			行政	11,213	8,306		135
		その他	19,512		技労	3,926	7,852		50
		一般財源	29,052		嘱託	2,282	2,282		100
					臨時	0	1,883		
H 27 決算	49,143	国県支出金		30,224	18,919			12,286	
		市債			行政	11,644	8,625		135
		その他	33,207		技労	3,996	7,991		50
		一般財源	15,936		嘱託	2,314	2,314		100
					臨時	965	1,929		50
H 28 決算	51,173	国県支出金		31,202	19,971			13,549	
		市債			行政	11,660	8,637		135
		その他	30,509		技労	3,874	7,748		50
		一般財源	20,664		嘱託	3,474	2,316		150
					臨時	963	1,925		50
H 29 予算	49,719	国県支出金		30,185	19,534			25,210	
		市債			行政	10,996	8,145		135
		その他	38,492		技労	3,992	7,984		50
		一般財源	11,227		嘱託	3,558	2,372		150
					臨時	989	1,977		50
⑤コスト削減の取組 照明器具の間引き点灯による節電									

4 1年目評価

(1) 1次評価（内部評価） ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

事務事業の評価	必要性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	○	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	墓地、埋葬等に関する法律第4条第2項 火葬は、火葬場以外で行ってはならない
	○	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	市内唯一、火葬業務を行っている
	○	④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	市内唯一、火葬業務を行っている
		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	
	合計		評価結果	A
	3	点		
	有効性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
	○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑧有効性 ・2-成果指標	市民福祉増進に寄与
	○	③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	
	○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・2-成果指標	市内・市外問わず申請がある
	○	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-④事業の目的 ・2-成果指標	
	合計		評価結果	A
4	点			
効率性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄	
	①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト		
○	②コスト削減への取組を実施している。	・3-⑥コスト削減の取組	業務に支障のない範囲での節電対策	
	③市が実施する方が民間やNPOが実施するより効率的である。（又は、市が実施を義務付けられている。）	・1-⑩民間、NPOが実施した場合の効率性についての考察		
○	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	斎場は単独施設である	
	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-④単位当たりの行政コスト		
合計		評価結果	B	
2	点			

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ
1 現状のまま継続 2 見直しの上で継続 ア 主体を代える（実施主体を代える） イ 手段を改善する（実施の手段を代える） ウ 効率化を図る（結果単位当たりのコストを下げる） エ 簡素化する（規模を縮小する） オ 統合する（類似事業を統合する） 3 休止、廃止			

- ②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。）
- 1 新しい斎場の整備に合わせて、指定管理者制度等の導入について検討する。
  - 2 市民の要望に対しては、継続して応えていくことで、市民サービスの向上に努める。

〔備考〕

（これまでの主な取り組み）

- ・火葬業務については、冬季の繁忙時において、1日当たり最大受入れ件数を11件から12件に増やして柔軟な対応を実施。
- ・各待合室に、和室用のイスを設置し、利用者（高齢者）の利便性を図る。
- ・式場における生花等の数の制限について緩和を実施。（各式場3対から、第1式場18基、第2式場12基、第3式場10基に緩和）
- ・第3式場については、利用者の利便性に配慮し、和室から洋室へ改装を実施。（第1・第2式場は洋室）

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
<p>評価する点、改善すべき点</p> <p>斎場は、遺体の火葬及び通夜等のための式場の貸出しを行い、公衆衛生の向上及び市民の福祉増進に寄与するために設置されている施設である。</p> <p>斎場は、多くの市民が利用する施設であり、また、安定した運営が求められる点からも行政が担う役割は大きい。式場業務など民間の持つノウハウを活用することで、一層のサービスの向上が見込まれる業務については、委託化等の検討を行うべきである。そのため、一次評価の「見直しの上で継続（手段を改善する。）」は妥当である。</p> <p>なお、施設の老朽化が進んでいるので、清掃等の施設管理を十分行うとともに、利用者に対するきめ細かなサービスについても十分に配慮する必要がある。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
<p>斎場は、遺体の火葬及び通夜等のための式場の貸出しを行い、公衆衛生の向上及び市民の福祉増進に寄与するために設置されている施設である。</p> <p>行政評価委員会から「式場業務など民間の持つノウハウを活用することで、一層のサービスの向上が見込まれる業務については、委託化等の検討を行うべきである。」という意見が出されていること、また、他市においても、式場業務及び火葬業務に委託を導入している事例があることから、管理運営手法について検討を行う必要がある。</p> <p>そのため、市民サービスの維持・向上及び効果的な運営に向け、民間活力活用の検討を進めることとし、「見直しの上で継続（手段を改善する。）」とする。</p> <p>また、施設管理に当たり、利用者に対するきめ細かなサービスについても十分に配慮することとする。</p>	

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	<p>施設の管理運営について、本館の耐震化補強工事に合わせて、施設・設備の充実を図り、利用者のサービス向上に努める。</p> <p>また、他市町村の状況調査を実施するなど、民間活力活用の検討を行う。</p>
-----------------------	---

## 6 2年目評価(進行管理)

### (1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況  
施設管理に当たっては、今年度、本館耐震化補強工事に合わせてオムツ替えスペースを兼ねた授乳室の整備、本館1階の男女和式トイレの洋式化などの整備を行い施設の充実を図る。  
また、管理運営手法については、他市の事例を含め調査検討中である。

### (2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など) 斎場の管理運営については、昨年度の評価を受け、本館の耐震化補強工事に合わせた施設設備の充実化、民間活力活用の検討を改善目標に掲げているところである。 このうち、施設設備の充実化については、今年度、本館耐震補強工事に合わせて、オムツ替えスペースを兼ねた授乳室の整備や、本館1階のトイレの洋式化などを実施予定であり、この点については評価終了とする。 しかし、民間活力活用の検討については、他市事例の調査にとどまっていることから、さらなる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。	

### (3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など) 斎場の管理運営については、本館の耐震化補強工事に合わせた施設設備の充実化、民間活力活用の検討を1年目改善目標としている。 このうち、施設設備の充実化については、今年度、本館耐震補強工事に合わせて、オムツ替えスペースを兼ねた授乳室の整備や、本館1階のトイレの洋式化などを実施予定であり、この点については評価終了とする。 しかし、民間活力活用の検討については、他市事例の調査にとどまっているため、検討が必要である。 このようなことから、次年度も評価を継続するものとする。	

## 7 2年目改善目標(2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	市民サービスの向上及び施設管理の効率化を図るため、民間活力活用の対象範囲(火葬業務、施設管理業務)について、他市事例を参考に検討を行う。
-----------------------	--

## 8 3年目評価(進行管理)

### (1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況  
市民サービスの向上及び施設管理の効率化を図るため、民間活力活用の対象範囲(火葬業務、施設管理業務)について、平成26年度に調査した他市事例を参考に導入業務、時期及び運営方法の比較検討を行う。

### (2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など) 斎場の管理運営については、2年目評価を受け、他市事例を参考とした民間活力活用の対象範囲(火葬業務、施設管理業務)の検討を改善目標として掲げているところである。 民間活力活用の対象範囲の検討については、他市事例の調査にとどまっている。 今後は、他市事例の調査結果を踏まえ、管理運営手法について検討が必要であることから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。	



### (3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など) 斎場の管理運営については、他市事例を参考とした民間活力活用の対象範囲 (火葬業務、施設管理業務) の検討を2年目改善目標としている。 しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、他市事例の調査にとどまっているため、今後は、他市事例の調査結果を踏まえ、管理運営手法について検討を進めることとする。 このようなことから、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

### 9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
	<p>市民サービスの向上及び施設管理の効率化を図るため、斎場の管理運営について、他市事例結果を参考とした民間活力活用の対象範囲 (火葬業務、施設管理業務) 及び運営の手法について検討を行う。</p>

### 10 4年目評価(進行管理)

#### (1) 1次評価 (内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況 市民サービスの向上及び施設管理の効率化を図るため、平成28年7月から、市のホームページ上にインターネットを利用した24時間対応の斎場受付システムを導入することとした (年間1,544千円の運営経費の削減)。また、他市の事例調査の結果を参考とし、斎場の管理運営に係る民間活力活用の対象範囲 (火葬業務、施設管理業務) 及び運営の手法について、新斎場の整備検討に向けた基本構想を策定する中で、あわせて検討を行う。</p>
--

#### (2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など) 斎場の管理運営については、昨年度の評価を受け、他市事例を参考とした民間活力活用の対象範囲及び管理運営手法の検討を改善目標として掲げているところである。 民間活力活用の対象範囲の検討については、施行時特例市など他市事例の調査にとどまっている。 今後は、他市事例の調査結果を踏まえ、管理運営手法について検討が必要であることから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

### (3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など) 斎場の管理運営については、他市事例を参考とした民間活力活用の対象範囲及び管理運営手法の検討を4年目改善目標としている。 斎場受付システムの導入により、24時間受付が可能になるなど、市民サービスの向上及び業務の効率化を図ったところであるが、行政評価委員会からの意見にあるとおり、管理運営に係る民間活力活用の対象範囲の検討については、施行時特例市など他市事例の調査にとどまっている。 今後は、他市事例の調査結果を踏まえ、平成29年度までに、管理運営手法について検討していく必要がある。 このようなことから、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

11 4年目改善目標（4年目評価で見直しを指摘された場合に記入）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	他市の事例を精査の上、民間活力活用によって、利用者サービスの維持・向上の観点で期待できる効果や、対象とする業務の範囲、手法、経費削減の可能性について十分な検討を行い、本市の斎場にふさわしい民間活力活用のあり方について方向性を確立していく。
-----------------------	---

12 5年目評価（進行管理）

(1) 1次評価（内部評価）

○見直しの状況など事務事業の現況 新斎場整備基本構想を策定する中で、将来の火葬需要の推計を行い、そのピーク時に対応するため本市全体で12基の火葬炉を整備する方針とした。新斎場の整備計画の具体化に伴い、現斎場についても将来の施設規模が今後定まってくる。そのため、平成29年度に行う新斎場整備基本計画の策定後、現斎場の民間活力活用の対象範囲（火葬業務、施設管理業務）についても、具体的な金額ベースで費用対効果を検討する。
---

(2) 2次評価（外部評価）

今後の方向性	
○特記事項（行政評価委員会からの指摘事項など）	

(3) 3次評価（総合評価）

今後の方向性	
○特記事項（行政改革推進本部からの指示事項など）	

13 5年目改善目標（4年目評価で見直しを指摘された場合に記入）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	
-----------------------	--

行政コスト内訳(事業費)(火葬)

	金額(円)							増減(28-27年度)	増減理由
	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	増減		
維持管理費	21,483,000	26,012,802	28,904,723	28,546,192	26,679,267	25,262,953	-1,866,925		
斎場清掃業務委託料	882,000	878,472	861,840	867,888	889,056	898,128	21,168		
斎場樹木管理業務委託	158,760	158,760	163,296	163,296	202,608	202,608	39,312		
斎場火葬残灰処理業務委託	1	1	1	1	1	157,000			
斎場空調設備保守点検管理業務委託									
斎場火葬施設保守点検業務委託	129,150	129,150	132,840	132,840	132,840	270,000			
斎場池浄化設備保守点検業務委託	12,348	12,348	12,701	12,701	12,701	12,701			
斎場自動電気工作物保守点検業務委託	39,406	36,749	34,474	39,133	32,483	39,010	-6,650		
斎場消防設備保守点検管理業務委託	17,640	17,640	12,096	11,794	11,794	16,632			
斎場火葬場及び式場使用電話予約受付	798,601	811,650	834,840	825,840	206,640	311,040	-619,200	契約方法の見直し(委託→賃貸借)のため	
斎場自動下り保守点検業務委託									
斎場エレベータ保守点検業務委託									
斎場警備業務委託									
斎場樹木伐採業務委託		44,100	63,504						
燃費基準法第12条点検業務委託				84,067			-84,067		
光熱費	1,440,590	1,526,703	1,695,208	1,480,779	1,250,173	1,631,000	-230,606	使用料の減少のため	
燃料費	13,700,882	16,877,997	15,568,660	12,482,445	11,370,317	12,750,000	-1,112,128	燃料単価の変動のため	
消耗品費	516,765	889,770	738,922	716,327	952,099	237,440	235,772	消耗品購置の必要性が生じたため	
修繕費	3,620,610	3,672,279	7,817,031	10,736,908	10,537,156	7,743,320	-199,752		
借地料		810,739	810,739	810,739	799,648	799,648	-11,091		
その他	166,247	146,444	158,571	181,434	281,751	194,427	100,317	斎場予約システムの契約方法の見直し(委託→賃貸借)のため	
事業費									
その他									
合計	21,483,000	26,012,802	28,904,723	28,546,192	26,679,267	25,262,953	-1,866,925		

長寿命化計画策定業務委託								
斎場PAS交換及び保守フェール交換工事			105,840					
斎場待合棟搬入口改修工事			176,904					







### 行政評価調書

事務事業名	保育所管理運営事務	評価初年度	平成 24 年度
		担当部署名	教育部幼児教育課
第5次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	思いやり、助け合い、安らぎの心を育むまちづくり	3	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし [1, 2, 4] 名称 児童福祉法第39条, 第51条第3項/水戸市 保育所設置条例/水戸市次世代育成支援対 策行動計画
中項目	ともに支えあう福祉社会の実現	1	
小項目	子育て支援の充実	1	

#### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	S28 年度	②事業の完了予定の有無(有/無)	無	年度
③事業の概要 保護者の委託を受けて、保育を必要とする乳児又は幼児を保育することを目的として、市立保育所を設置、運営する。				
④事業の目的 【対象】誰を(何を)対象に 保育を必要とする乳幼児(0～5歳児)				
対象を表す数値	市立保育所在籍数 965人(平成24年4月1日現在)			
【理想像】どのような状態にしたいのか。 引き続き児童福祉法の趣旨に沿って保育所運営を行う。				
⑤成果指標(市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)				
成果指標 1				
指標	市立保育所入所児童数	説明	平成29年4月1日現在における入所児童数 925人	
成果指標 2				
指標	待機児童の数	説明	平成29年4月1日現在における待機児童数 113人	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 ・民間保育所の整備促進 ・地域型保育事業の拡充				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 子育て世代の支援のため、民間認可保育所等の整備促進による入所定員増を図り、保育所待機児童を解消する必要がある。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 ・保育を必要とする乳幼児に良好な保育環境を与え、心身の健全な発達に寄与する。 ・保護者の就労等を支援し、社会経済活動の向上に寄与する。				
⑨類似事業(民間における類似事業、市が実施している類似事業) 民間認可保育園における保育 ※公立私立にかかわらず、児童福祉法に基づき実施し、入所措置は市が行う。				
⑩民間・NPOが実施した場合の効率性についての考察 ・民間保育所の施設整備に当たっては、国県の補助制度がある。市立には直接的な補助制度がない。 ・運営費について、民間保育園については平成27年4月子ども・子育て支援新制度の施行により、国・県補助制度から施設型給付に移行した。市立保育所の運営費は、平成16年度から一般財源化されている。				

2 成果指標 (事務事業の実績)

指標名	成果指標 1 市立保育所入所児童数 (人)			成果指標 2 待機児童の数 (公立・民間含む) (人)		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
21 年度	960	971	101.15	0	140	-
22 年度	960	1,006	104.79	0	69	-
23 年度	960	991	103.23	0	39	-
24 年度	980	977	99.69	0	88	-
25 年度	980	993	101.33	0	91	-
26 年度	1,000	1,027	102.70	0	116	-
27 年度	1,000	965	96.50	0	158	-
28 年度	1,000	969	96.90	0	123	-
29 年度	1,000			0		-
①目標値の根拠	市立保育所の定員			待機児童の解消		
②数値で表せない効果	保育所入所児童の心身の健全な発達					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移

	①行政コスト (②+③) (千円)		②事業費 (千円)	③人件費 (千円)			④単位当たりの行政コスト (①行政コスト/成果指標1実績) (円)
	内訳 (千円)			平均給与 (千円)	人役 (%)		
H 21 決算	国県支出金	863	139,728	行政	0	—	143,901
	市債			技労	0	—	
	その他	299,467		嘱託	0	—	
	一般財源	969,160		臨時	0	—	
H 22 決算	国県支出金	86,316	146,842	行政	1,141,120	—	1,280,280
	市債	5,200		技労	840,015	8,485	
	その他	313,420		嘱託	109,905	7,327	
	一般財源	1,002,059		臨時	147,000	1,500	
H 23 決算	国県支出金	142,849	180,675	行政	1,225,223	—	1,418,666
	市債	126,900		技労	842,391	8,509	
	その他	315,849		嘱託	105,070	7,505	
	一般財源	1,085,460		臨時	232,882	2,197	
H 24 決算	国県支出金	38,323	164,705	行政	1,251,699	—	1,449,748
	市債			技労	828,432	8,368	
	その他	333,288		嘱託	105,070	7,505	
	一般財源	1,030,856		臨時	265,837	2,197	
H 25 決算	国県支出金	31,184	178,483	行政	1,228,400	—	1,416,801
	市債			技労	830,600	8,306	
	その他	380,480		嘱託	102,076	7,852	
	一般財源	984,176		臨時	256,244	2,209	
H 26 決算	国県支出金	23,778	187,060	行政	1,245,349	—	1,394,751
	市債			技労	838,906	8,306	
	その他	400,993		嘱託	102,076	7,852	
	一般財源	995,415		臨時	276,122	2,282	
H 27 決算	国県支出金	23,736	169,712	行政	1,282,541	—	1,504,925
	市債			技労	862,500	8,625	
	その他			嘱託	103,883	7,991	
	一般財源	1,428,517		臨時	289,250	2,314	



H 28 決算	1,420,636	国庫支出金	20,576	178,706	1,241,930			1,466,085	
		市債			行政	820,515	8,637		9,500
		その他	375,868		技労	100,724	7,748		1,300
		一般財源	1,024,192		嘱託	291,816	2,316		12,600
					臨時	28,875	1,925		1,500
H 29 予算	1,221,827	国庫支出金			1,221,827				
		市債			行政	757,485	8,145		9,300
		その他			技労	103,792	7,984		1,300
		一般財源	1,221,827		嘱託	324,964	2,372		13,700
					臨時	35,586	1,977		1,800

⑤コスト削減の取組

市立保育所において嘱託職員の活用による人件費の縮減を図っている。

4 1年目評価

(1) 1次評価(内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調査の確認箇所	理由等所見欄
	①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	保育にかける乳幼児の保育が求められている。
○	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	同上
○	④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	保育所待機児童の解消が求められている。
○	⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	
合計		評価結果	A
4	点		
有効性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調査の確認箇所	理由等所見欄
	①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑩有効性 ・2-成果指標	
○	③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	新たに民間保育所が設置された。
○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・2-成果指標	入所措置の公平性を確保している。
○	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-④事業の目的 ・2-成果指標	民間保育所の整備促進による待機児童解消施策を推進している。
合計		評価結果	A
3	点		
効率性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調査の確認箇所	理由等所見欄
	①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト	
○	②コスト削減への取組を実施している。	・3-⑤コスト削減の取組	市立保育所において嘱託職員の活用による人件費の縮減を図っている。
	③市が実施する方が民間やNPOが実施するより効率的である。(又は、市が実施を義務付けられている。)	・1-⑩民間、NPOが実施した場合の効率性についての考察	
	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	
	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-④単位当たりの行政コスト	
合計		評価結果	B
1	点		

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ
1 現状のまま継続 2 見直しの上で継続 ア 主体を代える（実施主体を代える） イ 手段を改善する（実施の手段を代える） ウ 効率化を図る（結果単位当たりのコストを下げる） エ 簡素化する（規模を縮小する） オ 統合する（類似事業を統合する） 3 休止、廃止			
②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。） 民間活力の活用を視野に入れながら、待機児童の解消に向け、幼稚園、保育所全体で適正規模、適正配置の検討を行う。			

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
評価する点、改善すべき点 非常に市民ニーズが高い施設であるため、待機児童数が多くなっており、民間活力の活用を視野に入れながら、適正規模、適正配置の検討などの待機児童の解消に向けた取組を早急に進める必要がある。そのため、1次評価の「見直しの上で継続（手段を改善する）」は妥当である。 ただし、見直しを進めるに当たっては、保育所の設置について、公から民への流れがある中で、今後、市立保育所が積極的に担っていくべき機能を十分に精査し、例えば、障害児対応に重きをおくなど、民との役割分担を図っていくべきである。 さらには、医療機関、保健センター（保健所）、児童相談所、幼稚園、小学校、主任児童委員等との連携の下、情報の共有化等の重層的なネットワーク作成の主体となることも検討すべきである。	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
保育所は、保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳児又は幼児を保育するための施設である。現在、保育所に入所できない待機児童が多数いることが、本市の大きな課題となっている。そのため、定員充足率が減少している幼稚園と合わせて適正規模・適正配置の検討を行うとともに、民間保育所の活用についても検討を行うこととする。また、他市においては、民営化や指定管理者の導入事例があり、管理運営手法についても検討を行う必要があることから、「見直しの上で継続（手段を改善する）」とする。 なお、検討に当たっては、民間保育所との役割分担についても十分に精査し、市立保育所が担っていく役割や機能を整理することとする。	

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	幼稚園・保育所の適正配置に係る基礎調査を行い、より詳細な現状把握に努めるとともに、国の動向を把握しながら、保育所入所待機児童の解消をはじめ、公立保育所と民間保育所との役割分担、保育所及び幼稚園の適正規模、配置のあり方など、多方面からの検討を行い、平成25年度中の適正配置方針の決定を目指す。あわせて、民間活力活用による管理運営手法の検討を行う。 なお、施設の耐震化については、平成26年度末までの完了目標に向けた整備を進める。
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況	平成25年度中に幼稚園・保育所の適正配置方針の決定を行うため、昨年度に引き続き、検討を進めている。また、平成24年8月に成立した「子ども・子育て関連3法」の施行に先がけ、国の施策として示された待機児童解消加速化プランを本市に見合った内容で積極的に取り入れていく。さらに質の高い保育・教育環境の整備についても、重要項目の一つとされているため、幼稚園と併行し、認定こども園のあり方について整理を行っている。昨年度指摘のあった民営化や指定管理者の導入については、国の動向を見ながら検討を進め、第2期幼児教育振興基本計画に位置づけを図っていく。
------------------	--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)</p> <p>保育所の管理運営については、昨年度の評価を受け、適正配置方針の検討及び決定、民間活力による管理運営手法の検討、施設耐震化の完了を改善目標として掲げているところである。</p> <p>このうち、適正配置方針の検討については、幼稚園・保育所適正配置に係る基礎調査は実施しているところであるが、国及び県の動向を踏まえた対応が必要であると、決定には至っていない。</p> <p>また、民間活力活用による管理運営手法の検討についても、国の動向を踏まえる必要があるとして未実施であり、また、施設の耐震化については、平成26年度完了を目指して進めている段階である。</p> <p>このようなことから、さらなる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p> <p>なお、民間保育所の定員増員を図っていることは評価するが、今後も待機児童解消に向けた一層の取組を図る必要があることから、改善については、早急な取組を進めるべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)</p> <p>保育所の管理運営については、1年目改善目標として、適正配置方針の検討及び決定、民間活力活用による管理運営手法の検討、施設耐震化の完了を行うこととしている。</p> <p>このうち、適正配置方針の検討については、幼稚園・保育所適正配置に係る基礎調査を実施しているところであり、国及び県の動向を踏まえながら方針の決定をする必要がある。</p> <p>また、施設の耐震化については、平成26年度完了を目指して推進しているが、民間活力活用による管理運営手法の検討については、早期の検討が必要である。</p> <p>このようなことから、次年度も評価を継続するものとする。</p> <p>なお、今後も待機児童解消に向けた一層の取組を早急に進めることとする。</p>	

7 2年目改善目標(2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	<p>平成26年度の「子ども・子育て支援事業計画」の策定に併せて、幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法を検討する。</p> <p>施設の耐震化については、平成26年度の完了を目指す。</p> <p>なお、待機児童解消加速化プランを活用した民間保育所の整備とともに、グループ型小規模保育事業など市独自施策を推進し、保育所待機児童の解消を図る。</p>
-----------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>平成26年度中に幼稚園・保育所の適正配置方針の決定を行うため、昨年度に引き続き、検討を進めている。施設の耐震化については、平成26年度2箇所実施し、完了する見込みである。待機児童解消加速化プランを活用し、昨年度2か所の民間保育所整備等により200人の定員増を図った。平成26年度は民間保育所の整備とともに、グループ型小規模保育事業により15人の乳幼児を保育できる施設の整備を図ることで、保育所待機児童の解消を図る。</p>
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)</p> <p>保育所の管理運営については、2年目評価を受け、適正配置方針の決定、民間活力の活用による管理運営手法の検討、施設耐震化の完了、待機児童解消プランを活用した民間保育所の整備、グループ型小規模保育事業など市独自政策の推進を改善目標として掲げているところである。</p> <p>このうち、施設の耐震化は、今年度の完了を予定している。</p> <p>また、待機児童解消プランを活用した保育所整備により、昨年度に200名の定員増を図ったほか、今年度は、グループ型小規模保育事業として、15名の乳幼児を保育できる施設を整備予定であり、この点については評価終了とする。</p> <p>しかし、適正配置方針の決定及び民間活力活用による管理運営手法の検討については、適正配置方針の決定後に行うこととして未実施であることから、さらなる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p> <p>なお、潜在的なニーズの把握をするなど、今後も待機児童解消に向けた一層の取組を図る必要がある。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など) 保育所の管理運営については、適正配置方針の決定、民間活力の活用による管理運営手法の検討、施設耐震化の完了、待機児童解消プランを活用した民間保育所の整備、グループ型小規模保育事業など市独自政策の推進を2年目改善目標としている。 このうち、施設の耐震化は、今年度の完了を予定している。 また、待機児童解消プランを活用した保育所整備により定員増を図ったほか、今年度は、グループ型小規模保育対応の施設を整備予定であり、この点については評価終了とする。 しかし、適正配置方針の決定及び民間活力活用による管理運営手法の検討については、適正配置方針の決定後に行うこととして未実施であるため検討が必要である。 このようなことから、次年度も評価を継続するものとする。 なお、潜在的なニーズの把握をするなど、今後も待機児童解消に向けた一層の取組を図ることとする。</p>	

9 3年目改善目標(3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標(又は休止、廃止の方向性)	評価継続
<p>平成27年度策定予定の「水戸市幼児教育振興基本計画(第2次)」の策定に併せて、幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討を行う。また、潜在的なニーズの把握に努め、待機児童解消に向けた一層の取組を推進する。</p>	

10 4年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況 平成27年度に策定する「水戸市幼児教育振興基本計画(第2次)」の中で、幼稚園・保育所の認定こども園への移行、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法を検討する。また、水戸市子ども・子育て支援事業計画みと・すくすくプランに基づき、待機児童解消に向けた保育環境の整備を推進する。</p>
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など) 保育所の管理運営については、3年目評価を受け、「水戸市幼児教育振興基本計画(第2次)」の策定に併せて、幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討を行うとともに、潜在的なニーズの把握に努め、待機児童解消に向けた一層の取組を推進することを改善目標として掲げているところである。 潜在的なニーズの把握については、保護者に対してアンケート調査を実施しており、調査結果を「水戸市幼児教育振興基本計画(第2次)」に反映させていくことから評価終了とする。 しかし、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討については、平成27年度に策定予定の「水戸市幼児教育振興基本計画(第2次)」の中で位置付けることとして未実施であることから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など) 保育所の管理運営については、「水戸市幼児教育振興基本計画(第2次)」の策定に併せて、幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討を行うとともに、潜在的なニーズの把握に努め、待機児童解消に向けた一層の取組を推進することを3年目改善目標としている。 潜在的なニーズの把握については、保護者に対してアンケート調査を実施しており、調査結果を「水戸市幼児教育振興基本計画(第2次)」に反映させていくこととしていることから評価終了とする。 しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討については、平成27年度に策定予定の「水戸市幼児教育振興基本計画(第2次)」の中で位置付けることとする。 このようなことから、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

11 4年目改善目標（4年目評価で見直しを指摘された場合に記入）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）を策定する中で、民間活力活用による管理運営手法の検討を位置づけるとともに、適正配置方針を決定する。
-----------------------	---

12 5年目評価（進行管理）

(1) 1次評価（内部評価）

○見直しの状況など事務事業の現況  
 現在、「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」については、平成27年度に、基本方針を定めるところであり、平成28年度内の策定に向けて作業を進めている。  
 民間活力による管理運営手法や適正規模・適正配置については、「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」を策定していく中で、方針等も検討していく。

(2) 2次評価（外部評価）

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項（行政評価委員会からの指摘事項など）                  保育所の管理運営については、昨年度の評価を受け、「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」を策定する中で、民間活力活用による管理運営手法の検討を位置づけるとともに、適正配置方針を決定することを改善目標として掲げているところである。                  「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」は、平成27年度中に基本方針を定めたところであり、平成28年度内の策定に向けて作業を進めている。この計画の中に、民間活力活用による管理運営手法の検討や適正規模・適正配置方針を位置づけることとしており、未実施であることから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

(3) 3次評価（総合評価）

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項（行政改革推進本部からの指示事項など）                  保育所の管理運営については、「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」を策定する中で、民間活力活用による管理運営手法の検討を位置づけるとともに、適正配置方針を決定することを5年目改善目標としている。                  現在、「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」の策定と並行して、民間活力活用による管理運営手法及び適正規模・適正配置についても検討していることから、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

13 5年目改善目標（5年目評価で見直しを指摘された場合に記入）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」は、平成28年度内に策定する。あわせて、適正規模・適正配置の方策については、有識者等による検討会を立ち上げて意見を求め、基本計画との整合性を図りながら、平成29年度内に方向性を定める。
-----------------------	--

14 6年目評価（進行管理）

(1) 1次評価（内部評価）

○見直しの状況など事務事業の現況  
 「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」は、平成29年度上半期の策定を図る。  
 適正規模・適正配置の方策については、「水戸市立幼稚園・保育所あり方検討会」を設置し、6月に第1回目の会合を実施したところであり、30年3月に提言として取りまとめ、方向性を定める。

(2) 2次評価（外部評価）

今後の方向性	
<p>○特記事項（行政評価委員会からの指摘事項など）</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

15 6年目改善目標 (5年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--

## 行政コスト内訳(事業費)

	金額(円)							増減(28-27年度)	増減理由
	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算			
維持管理費	164,704,672	178,483,481	187,060,897	169,712,248	161,205,780	177,582,000	-8,506,468		
警備委託料	491,400	491,400	491,400	505,440	482,070	483,000	-23,370		
清掃委託料				37,800			-37,800		
その他の委託料	3,474,289	4,114,572	5,071,659	5,840,304	5,907,208	6,802,000	66,904		
消耗品費	13,064,455	10,494,021	14,004,104	11,699,578	11,224,222	8,900,000	-475,356		
燃料費	4,204,325	4,430,935	4,142,069	3,629,553	3,598,714	2,957,000	-30,839		
食糧費	2,171,809	2,236,753	2,370,092	2,215,745	2,190,537	2,634,000	-25,208		
印刷製本費	430,038	530,021	395,373	640,904	346,669	20,000	-294,235		
光熱水費	24,234,644	26,585,159	28,871,933	26,426,828	25,701,374	29,200,000	-725,454		
修繕料	13,557,454	21,703,085	19,748,004	11,909,075	4,600,370	5,015,000	-7,308,705	27年度は、下水道接続及び空調設備等を実施したため。	
賄材料費	89,120,608	94,934,224	98,833,435	91,926,443	93,739,380	106,436,000	1,812,937	野菜の価格高騰等のため。	
役務費	5,132,814	4,758,360	5,464,924	5,734,236	5,173,241	5,351,000	-560,995		
使用料・賃借料	4,237,917	4,220,575	4,106,325	4,070,721	4,070,721	4,046,000			
原材料費	38,514	165,060	224,013	386,196	16,977	500,000	-369,219		
備品購入費	3,228,120	2,781,471	2,261,170	3,581,967	2,859,225	3,250,000	-722,742		
負担金補助及び交付金	1,311,685	1,037,845	1,068,796	1,107,458	1,288,472	1,988,000	181,014		
補償補填及び賠償金			1,000						
公課費	6,600		6,600		6,600		6,600		
事業費									
その他									
合計	164,704,672	178,483,481	187,060,897	169,712,248	161,205,780	177,582,000	-8,506,468		

(別紙2)

行政コスト内訳(人役)

	人役												増減(28-27年度)			増減理由												
	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		行政	技労	嘱託		臨時											
	行政	技労	行政	技労	行政	技労	行政	技労	行政	技労	行政	技労																
維持管理費	9900	1400	12100	2800	10000	1300	11600	2100	1500	12100	1300	10100	10100	1500	1400	12500	1400	9500	1300	1300	1500	1500	1800	-500	100	100		
〇〇委託料																												
光熱費																												
燃料費																												
消耗品費																												
修繕費																												
借地料																												
負担金																												
その他																												
專業費																												
合計	9900	1400	12100	2800	10000	1300	11600	2100	1500	12100	1300	10100	10100	1500	1400	12500	1400	9500	1300	1300	1500	1500	1800	-500	100	100		



### 行政評価調査書

事務事業名	幼稚園管理運営事務	評価初年度	平成 24 年度
		担当部署名	教育部幼児教育課
第5次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	次代を担う人材を育むまちづくり	4	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 1, 2, 4 名称 学校教育法/水戸市立小、中学校及び幼稚園設置条例/水戸市幼児教育振興基本計画
中項目	生涯学習・教育の充実	1	
小項目	学校教育の充実	2	

#### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	S24 年度	②事業の完了予定の有無(有/無)	無	年度
③事業の概要 義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的として、市立幼稚園を設置、運営する。				
④事業の目的 【対象】誰を(何を)対象に 水戸市立幼稚園に在籍する4, 5歳児				
対象を表す数値	市立幼稚園在籍数 880人(平成24年5月1日現在=学校基本調査)			
【理想像】どのような状態にしたいのか。 ・将来的な幼児の人口推移や、地域の実情を踏まえるとともに、私立幼稚園との共存や保育所入所待機児童の問題を考慮しつつ、幼稚園教育の本来の目的である社会性を育む集団保育を実施できるよう一定の園児数を確保するため、市立幼稚園の適正配置等あり方について検討を進め、より教育効果の高い幼稚園の運営に努める。 ・幼保一体化に向けた取り組みを推進し、本市のすべての小学校就学前の子どもが、幼稚園・保育所で分け隔てなく、幼児期にふさわしい環境の中で大切に育まれるよう施策を推進する。				
⑤成果指標(市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)				
成果指標 1				
指標	園児数	説明	市立幼稚園の園児数	
成果指標 2				
指標		説明		
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 ・私立幼稚園との共存の観点をはじめ、地域の実情や保育所入所待機児童の問題等にも十分配慮しながら、地域全体の幼児施設のあり方について検討する。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 ・近年少子化や働く女性の増加等の影響で、市立幼稚園の定員に対する充足率が減少傾向にある。集団保育を通して教育的効果を高めるためには、ある一定程度の園児数を確保し、規模の適正化を図る必要があるため。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 ・財源や人材に限られている中で、より教育的効果を高めるため、幼稚園の適正配置の検討を進める。				
⑨類似事業(民間における類似事業、市が実施している類似事業) ・私立幼稚園における幼稚園設置運営				
⑩民間・NPOが実施した場合の効率性についての考察 ・市立幼稚園の運営を民間やNPOに移管する場合、市立幼稚園の適正規模・適正配置計画の策定及び実施により、一定の規模を確保する必要がある。 ・市立幼稚園を統廃合する場合、通園の利便に供するため、スクールバスの導入等を検討する必要がある。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 市立幼稚園の園児数			成果指標 2		
	(園児)			( )		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率
21 年度	1,555	1,001	64.37			
22 年度	1,555	976	62.77			
23 年度	1,555	921	59.23			
24 年度	1,555	880	56.59			
25 年度	1,555	829	53.31			
26 年度	1,485	817	55.02			
27 年度	1,485	784	52.79			
28 年度	1,485	706	47.54			
29 年度	1,485					
①目標値の根拠	公立幼稚園における募集定員 (石川幼稚園改築に伴い平成26年度から募集定員70減)					
②数値で表せない効果	・幼稚園における就学前教育の充実 ・障害児への早期支援による障害の程度の軽減、小学校への円滑な接続					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移

	①行政コスト(②+③) (千円)		②事業費 (千円)	③人件費 (千円)			④単位当たりの行政コスト(①行政コスト/成果指標1実績) (円)	
		内訳 (千円)			平均給与 (千円)	人役 (%)		
H 21 決算	52,864	国県支出金	52,864	0			52,811	
		市債		行政	0	—		—
		その他		技労	0	—		—
		一般財源		嘱託	0	—		—
H 22 決算	620,546	国県支出金	51,506	569,040			635,805	
		市債		行政	543,040	8,485		6,400
		その他		技労	0	7,327		
		一般財源		嘱託	9,000	1,500		600
				臨時	17,000	1,700		1,000
H 23 決算	627,019	国県支出金	50,561	576,458			680,802	
		市債		行政	544,576	8,509		6,400
		その他		技労	0	7,505		
		一般財源		嘱託	13,182	2,197		600
				臨時	18,700	1,870		1,000
H 24 決算	628,926	国県支出金	57,752	571,174			714,689	
		市債		行政	535,552	8,368		6,400
		その他		技労	0	7,505		
		一般財源		嘱託	13,182	2,197		600
				臨時	22,440	1,870		1,200
H 25 決算	625,326	国県支出金	57,471	567,855			754,314	
		市債		行政	539,890	8,306		6,500
		その他		技労	0	7,852		
		一般財源		嘱託	11,045	2,209		500
				臨時	16,920	1,880		900
H 26 決算	622,748	国県支出金	48,453	574,295			762,237	
		市債		行政	539,890	8,306		6,500
		その他		技労	0	7,852		
		一般財源		嘱託	13,692	2,282		600
				臨時	20,713	1,883		1,100
H 27 決算	642,809	国県支出金	58,097	584,712			819,909	
		市債		行政	552,000	8,625		6,400
		その他		技労	0	7,991		
		一般財源		嘱託	11,570	2,314		500
				臨時	21,142	1,922		1,100

H 28 決算	579,072	国県支出金	45,371	533,701			820,215	
		市債		行政	500,946	8,637		5,800
		その他		技労	0	7,748		
		一般財源		嘱託	11,580	2,316		500
				臨時	21,175	1,925		1,100
H 29 予算	516,139	国県支出金	45,371	516,139			820,215	
		市債		行政	480,555	8,145		5,900
		その他		技労	0	7,984		
		一般財源		嘱託	11,860	2,372		500
				臨時	23,724	1,977		1,200

⑤コスト削減の取組

幼稚園において嘱託職員、臨時職員を活用し、人件費の縮減を図っている。

4 1年目評価

(1) 1次評価(内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。		評価調査の確認箇所	理由等所見欄
	合計	点		
	①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	幼児の健やかな成長のために適当な環境を与え、心身の発達を助長する。
○	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。		・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	幼児に対し、良好な就学前教育を行う。
○	④対象者のニーズが高い事業である。		・1-⑦必要性	保護者の就学前教育の充実への期待がある。
	⑤民間、NPO等に類似事業はない。		・1-⑨類似事業	
合計			評価結果	A
3	点			
有効性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。		評価調査の確認箇所	理由等所見欄
	合計	点		
	①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。		・2-成果指標	
○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。		・1-⑧有効性 ・2-成果指標	幼稚園の適正配置により、運営コストの縮減を図る。
	③成果指標の実績が目標に達している。		・2-成果指標	
○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。		・2-成果指標	入園における公平性を確保している。
	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。		・1-④事業の目的 ・2-成果指標	
合計			評価結果	B
2	点			
効率性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。		評価調査の確認箇所	理由等所見欄
	合計	点		
	①効率性向上の余地はない。		・3-①行政コスト	
○	②コスト削減への取組を実施している。		・3-⑤コスト削減の取組	幼稚園において嘱託職員、臨時職員を活用し、人件費の縮減を図っている。
	③市が実施する方が民間やNPOが実施するより効率的である。(又は、市が実施を義務付けられている。)		・1-⑩民間、NPOが実施した場合の効率性についての考察	
	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。		・1-⑨類似事業	
	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。		・3-④単位当たりの行政コスト	
合計			評価結果	B
1	点			

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒	うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ
1 現状のまま継続 2 見直しの上で継続 ア 主体を代える（実施主体を代える） イ 手段を改善する（実施の手段を代える） ウ 効率化を図る（結果単位当たりのコストを下げる） エ 簡素化する（規模を縮小する） オ 統合する（類似事業を統合する） 3 休止、廃止				

②課題と解決方法（「見直しの上継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。）  
 市立幼稚園の適正配置の検討に当たっては、地域の実情を踏まえるとともに、私立幼稚園との共存や保育所入所待機児童の問題を考慮する必要がある。

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（簡素化する）
<p>評価する点、改善すべき点</p> <p>市立幼稚園の定員に対する充足率が減少傾向にある中で、幼稚園教育の本来の目的である社会性を育む集団保育を実施できるよう、一定の園児数の確保に向けた市立幼稚園の適正配置の検討は、必要であると考えられる。そのため、1次評価の「見直しの上で継続（簡素化する）」は妥当である。</p> <p>ただし、適正配置を行うに当たっては、市立幼稚園が今後目指していく方向性を十分に議論したうえで、私立幼稚園との役割について棲み分けを行っていくべきである。その際、小中学校との一貫教育が行えることやベテランの教諭が多いなどの市立幼稚園の強みを十分に把握するとともに、障害児への対応の充実や様々な教育モデルの実践など、新たな存在意義の模索も行っていくべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続（簡素化する）
<p>幼稚園は、幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とした施設である。</p> <p>現在、市立幼稚園の定員充足率は減少しており、社会性を育む集団保育の実施に向け、一定程度の園児数の確保が求められている。</p> <p>そのため、待機児童が多数いる保育所と合わせて適正規模・適正配置の検討を行うとともに、私立幼稚園の活用についても検討を行うこととする。また、他市においては、民営化の導入事例があり、管理運営手法についても検討を行う必要があることから、「見直しの上で継続（簡素化する）」とする。</p> <p>なお、検討に当たっては、小中学校との一貫教育の実施などの市立幼稚園の強みを把握しながら、私立幼稚園との役割分担についても十分に精査し、市立幼稚園が担っていく役割と機能を整理することとする。</p>	

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。）

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	<p>幼稚園・保育所の適正配置に係る基礎調査を行い、より詳細な現状把握に努めるとともに、国の動向を把握しながら、保育所入所待機児童の解消をはじめ、公立幼稚園と私立幼稚園との役割分担、幼稚園及び保育所の適正規模、配置のあり方など、多方面からの検討を行い、平成25年度中の適正配置方針の決定を目指す。あわせて、民間活力活用による管理運営手法の検討を行う。</p> <p>なお、施設の耐震化については、平成26年度末までの完了目標に向けた整備を進める。</p>
-----------------------	---

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況	<p>平成25年度中に幼稚園・保育所の適正配置方針の決定を行うため、昨年度に引き続き、検討を進めている。また、平成24年8月に成立した「子ども・子育て関連3法」の施行に先がけ、国の施策として示された待機児童解消加速化プランを本市に見合った内容で積極的に取り入れていく。その中で水戸市立幼稚園における預かり保育の長時間化についても私立幼稚園の動向を注視しながら実施に向けた検討を行っている。昨年度指摘のあった民営化や指定管理者の導入については、国の動向を見ながら検討を進め、第2期幼児教育振興基本計画に位置づけを図っていく。</p>
------------------	---

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)</p> <p>幼稚園の管理運営については、昨年度の評価を受け、適正配置方針の検討及び決定、民間活力による管理運営手法の検討、施設耐震化の完了を改善目標として掲げているところである。</p> <p>このうち、適正配置方針の検討については、幼稚園・保育所適正配置に係る基礎調査は実施しているところであるが、国及び県の動向を踏まえた対応が必要であることとし、決定には至っていない。</p> <p>また、施設の耐震化については、平成26年度が完了予定であり、民間活力活用による管理運営手法の検討についても、国の動向を踏まえる必要があるとして未実施である。</p> <p>このようなことから、さらなる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p> <p>なお、預かり保育の長時間化の検討を進めていることは評価するが、今後も待機児童解消に向けた取組が必要な中で、保育所を含めた一体的な検討については、早急な取組を進めるべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)</p> <p>幼稚園の管理運営については、1年目改善目標として、適正配置方針の検討及び決定、民間活力活用による管理運営手法の検討、施設耐震化の完了を行うこととしている。</p> <p>このうち、適正配置方針の検討については、幼稚園・保育所適正配置に係る基礎調査を実施しているところであり、国及び県の動向を踏まえながら方針の決定をする必要がある。</p> <p>また、施設の耐震化については、平成26年度完了を目指して推進しているが、民間活力活用による管理運営手法の検討については、早期の検討が必要である。</p> <p>このようなことから、次年度も評価を継続するものとする。</p>	

7 2年目改善目標(2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標(又は休止、廃止の方向性)	
	<p>平成26年度の「子ども・子育て支援事業計画」の策定に併せて、幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法を検討する。</p> <p>施設の耐震化については、平成26年度の完了を目指す。</p>

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>平成26年度に、子ども課において「子ども・子育て支援事業計画」を策定予定であり、平成27年度から施行される国の「子ども・子育て支援新制度」との整合を図りながら、幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針、民間活力を活用した管理運営手法の検討を進め、第2期幼児教育振興基本計画を策定していく。また、国田小中学校を小規模特認校にし、国田幼稚園を小中学校内に移転したことに伴い、耐震化された建物に園児を移し、安全を確保するとともに、預かり保育の時間延長(長期休業中の預かり保育の実施含む)や給食提供を実施することとしたが、その成果を検証するとともに、他の幼稚園についても、保育サービス向上のため、預かり保育の時間延長や給食提供の拡充を検討していく。施設の耐震化については、平成26年度に、浜田幼稚園及び酒門幼稚園の改築による耐震化を進める。その他の幼稚園についても、小中学校及び幼稚園の一体的な改築事業を予定している見川幼稚園を除き、仮設園舎による対応等により、平成26年度中に、耐震化された建物に園児を移すことにより、安全を確保した上で、平成27年度以降耐震補強工事等の対応を行う。</p>
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)</p> <p>幼稚園の管理運営については、2年目評価を受け、適正配置方針の決定、民間活力の活用による管理運営手法の検討、施設耐震化の完了を改善目標として掲げているところである。</p> <p>施設の耐震化については、仮設園舎などに園児を移すなど安全性の確保を図っているが、完了に至っていない。</p> <p>また、適正配置方針の決定及び民間活力活用による管理運営手法の検討についても、適正配置方針の決定後に行うこととして未実施であることから、さらなる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p> <p>なお、今後も保育所の待機児童解消及び幼稚園の定員割れ解消に向けた取組が必要な中で、保育所を含めた一体的なあり方の検討を進めるべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など) 幼稚園の管理運営については、適正配置方針の決定、民間活力の活用による管理運営手法の検討、施設耐震化の完了を2年目改善目標としている。 施設の耐震化については、仮設園舎などに園児を移すなど安全性の確保を図っているが、完了に至っていない。 また、適正配置方針の決定及び民間活力活用による管理運営手法の検討についても、適正配置方針の決定後に行うこととして未実施であるため、検討が必要である。 このようなことから、次年度も評価を継続することとする。 なお、今後も保育所の待機児童解消及び幼稚園の定員割れ解消に向けた取組が必要な中で、保育所を含めた一体的なあり方の検討を進めることとする。</p>	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	平成27年度策定予定の「水戸市幼児教育振興基本計画 (第2次)」の策定に併せて、幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討を行う。また、施設の耐震化については、平成27年度の完了 (改築を予定している見川幼稚園を除く。) を目指す。

10 4年目評価(進行管理)

(1) 1次評価 (内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況 平成26年度に「子ども・子育て支援新制度」への移行作業を行った。また、子ども課において「子ども・子育て支援実施計画一みと・すくすくプラン」を策定した。 「子ども・子育て支援新制度」や「子ども・子育て支援事業計画一みと・すくすくプラン」との整合を図りながら、平成27年度に「水戸市幼児教育振興基本計画 (第2次)」を策定し、その中で、保育サービスの向上とともに、適正配置方針、民間活力の活用、保育所も含めた一体的なあり方等総合的に検討していく。 幼稚園の耐震化については、平成26年度中に、飯富幼稚園及び妻里幼稚園の園児を耐震化された建物に移すことで安全の確保を行い、平成27年度に浜田幼稚園及び酒門幼稚園園舎改築を完了させ、妻里幼稚園の耐震補強工事を実施することで、小中学校及び幼稚園の一体的な改築事業を予定している見川幼稚園を除き、施設の耐震化を完了させる。</p>
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など) 幼稚園の管理運営については、3年目評価を受け、平成27年度策定予定の「水戸市幼児教育振興基本計画 (第2次)」の策定に併せた幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討、平成27年度中の施設の耐震化の完了 (改築を予定している見川幼稚園を除く。) を改善目標として掲げているところである。 このうち、幼稚園の耐震化については、平成27年度中に耐震化を完了させる予定であり、この点については評価終了とする。 しかし、幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討については、平成27年度に策定予定の「水戸市幼児教育振興基本計画 (第2次)」の中で保育サービスの向上とともに、適正配置方針、民間活力の活用、保育所も含めた一体的なあり方等総合的に検討していくこととして未実施であることから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など) 幼稚園の管理運営については、平成27年度策定予定の「水戸市幼児教育振興基本計画 (第2次)」の策定に合わせた幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討、平成27年度中の施設の耐震化の完了 (改築を予定している見川幼稚園を除く。) を3年目改善目標としている。 このうち、幼稚園の耐震化については、平成27年度中に耐震化を完了することから評価終了とする。 しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、幼稚園・保育所の今後のあり方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討については、平成27年度に策定予定の「水戸市幼児教育振興基本計画 (第2次)」の中で保育サービスの向上とともに、適正配置方針、民間活力の活用、保育所も含めた一体的なあり方等総合的に検討していくこととする。 このようなことから、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

11 4年目改善目標（4年目評価で見直しを指摘された場合に記入）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）を策定する中で、民間活力活用による管理運営手法の検討を位置づけるとともに、適正配置方針を決定する。
-----------------------	---

12 5年目評価（進行管理）

(1) 1次評価（内部評価）

○見直しの状況など事務事業の現況  
 現在、「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」については、平成27年度に、基本方針を定めたところであり、平成28年度内の策定に向けて作業を進めている。  
 民間活力による管理運営手法や適正規模・適正配置については、「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」を策定していく中で、方針等も検討していく。

(2) 2次評価（外部評価）

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項（行政評価委員会からの指摘事項など）                  幼稚園の管理運営については、昨年度の評価を受け、「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」を策定する中で、民間活力活用による管理運営手法の検討を位置づけるとともに、適正配置方針を決定することを改善目標として掲げているところである。                  「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」は、平成27年度中に基本方針を定めたところであり、平成28年度内の策定に向けて作業を進めている。この計画の中に、民間活力活用による管理運営手法の検討や適正規模・適正配置方針を位置づけることとしており、未実施であることから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

(3) 3次評価（総合評価）

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項（行政改革推進本部からの指示事項など）                  幼稚園の管理運営については、「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」を策定する中で、民間活力活用による管理運営手法の検討を位置づけるとともに、適正配置方針を決定することを5年目改善目標としている。                  現在、「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」の策定と並行して、民間活力活用による管理運営手法及び適正規模・適正配置についても検討していることから、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

13 5年目改善目標（5年目評価で見直しを指摘された場合に記入）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」は、平成28年度内に策定する。あわせて、適正規模・適正配置の方策については、有識者等による検討会を立ち上げて意見を求め、基本計画との整合性を図りながら、平成29年度内に方向性を定める。
-----------------------	--

14 6年目評価（進行管理）

(1) 1次評価（内部評価）

○見直しの状況など事務事業の現況  
 「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」は、平成29年度上半期の策定を図る。  
 適正規模・適正配置の方策については、「水戸市立幼稚園・保育所あり方検討会」を設置し、6月に第1回目の会合を実施したところであり、30年3月に提言として取りまとめ、方向性を定める。

(2) 2次評価（外部評価）

今後の方向性	
○特記事項（行政評価委員会からの指摘事項など）	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

15 6年目改善目標 (5年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--



(別紙1)

## 行政コスト内訳(事業費)

	金額(円)						増減(28-27年度)	増減理由
	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
維持管理費	57,752,365	57,471,901	48,453,957	58,097,799	57,506,716	57,728,000	-591,083	
警備委託料	2,101,846	2,101,846	2,101,846	1,940,473	1,805,918	1,712,000	-134,555	
清掃委託料	72,450	40,950	154,116	144,936	115,560	140,000	-29,376	
その他の委託料	8,536,669	6,608,958	6,445,120	12,605,483	9,834,343	10,067,000	-2,771,140	27年度に妻里幼幼補強設計業務委託を実施したため
消耗品費	14,322,897	11,453,889	10,608,835	12,168,078	11,699,636	9,908,000	-468,442	
燃料費	2,481,509	2,248,821	2,240,651	1,041,317	923,810	1,277,000	-117,507	
食糧費	150,315	150,968	150,675	151,881	153,723	143,000	1,842	
印刷製本費	1,442,237	1,500,086	1,530,551	1,585,573	1,349,992	1,455,000	-235,581	
光熱水費	10,890,434	10,894,012	11,530,789	14,198,577	16,483,725	14,410,000	2,285,148	27年度に空調を整備し、28年度から本格稼働となったため
修繕料	6,713,573	13,435,885	4,298,677	5,289,794	5,858,621	5,934,000	568,827	施設の修繕が増加したため
役員費	4,995,022	3,372,774	4,522,031	4,212,335	4,034,203	3,555,000	-178,132	
使用料・賃借料	2,262,494	2,231,726	2,163,930	2,067,484	2,061,026	4,180,000	-6,458	
原材料費	225,582	148,554	22,636	67,908	90,544	181,000	22,636	
備品購入費	2,718,565	2,118,275	1,558,552	1,329,881	2,297,246	3,729,000	967,365	耐火書庫等を購入したため
負担金補助及び交付金	740,372	1,066,757	1,016,848	1,195,679	693,369	921,000	-502,310	27年度に愛工記念式典(浜田幼・酒門幼)へ補助金を交付したため
公課費	98,400	98,400	108,700	98,400	105,000	116,000	6,600	
							0	
							0	
事業費	0						0	
							0	
							0	
その他	0						0	
							0	
							0	
							0	
合計	57,752,365	57,471,901	48,453,957	58,097,799	57,506,716	57,728,000	-591,083	



## 行政評価調書

事務事業名	少年自然の家管理運営事務	評価初年度	平成 24 年度
		担当部署名	教育部生涯学習課
第 5 次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	次代を担う人材を育むまちづくり	4	種類 1. 法令 ②. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 2
中項目	生涯学習・教育の充実	1	
小項目	青少年の健全育成	3	
		名称	水戸市少年自然の家条例及び同施行規則

### 1 事業の概要, 目標

①事業の開始時期	50 年度	②事業の完了予定の有無 (有/無)	無 年度
③事業の概要 自然環境の中で行う集団宿泊訓練, 野外活動等を通じて, 少年の健全な育成を図ることを目的に事業を行っている。少年自然の家では, 利用者を受け入れてその活動を支援する「受け入れ事業」と少年自然の家が自ら事業を企画する「主催事業」を実施し, 豊かな自然環境を生かした体験活動の場や活動プログラムを提供している。 平成24年に県が策定した青少年の健全な成長に向けた方策についての中で青少年の体験及び体験活動の重要性がうたわれている。			
④事業の目的 【対象】誰を(何を)対象に 幼児・児童生徒, 少年団体等を対象に, 少年の集団宿泊訓練, 野外活動, 少年団体の育成および指導等を行う。			
対象を表す数値	平成24年度 利用延べ人数 14,481人		
【理想像】どのような状態にしたいのか。 ・大規模改修を行い, 利用者が安全に利用できる施設とする。 ・小・中学校の宿泊学習等の利用実績の増加 ・市内外を合わせて利用者数の増加			
⑤成果指標 (市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。)			
成果指標 1			
指標	少年自然の家利用者数延べ人数	説明	少年自然の家の1日当たりの利用者数の年間累計
成果指標 2			
指標	市内及び市外の利用のあった小・中学校数	説明	利用のあった小・中学校数
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 ・小・中学校の宿泊学習を前年度に優先的に受付する。 ・市内各小・中学校へ訪問説明や校長会などで宿泊学習先として活用してもらえるようPRを行う。 ・市内の少年団などの青年団体等にPRを行う。			
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 ・小・中学生の教育活動や体験活動を体験する場所や機会が必要。 ・少年の団体の活動場所や機会が必要。 ・自然体験活動は, 青少年の健全育成のために極めて有効である。			
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 ・市内小・中学校が水戸市の自然豊かな山根地区において宿泊体験などの自然体験活動を実施することに意義があるため。 ・郷土愛や集団の一員としての自覚を醸成するために必要であるため。			
⑨類似事業 (民間における類似事業, 市が実施している類似事業) ・水戸市には, 類似する宿泊施設はなし。 ・県立施設で類似施設あり。(白浜少年自然の家等)			
⑩民間・NPOが実施した場合の効率性についての考察 ・料金体系の変更(値上げ)が予想され, 小・中学校の利用率が落ちる恐れがある。 ・教育的効果を優先させることが困難である。 ・対象となる学校の多くが公立小中学校であり, 校長会など教育関係団体との連携が重要であるため, 民間・NPOでは効果が浅くなる。			

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標1 少年自然の家利用者数延べ人数 (人)			成果指標2 市内及び市外の利用のあった小・中学校数 (件)		
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
22年度	8,000	7,409	92.6125	未設定	4	—
23年度	9,000	9,848	109.4222	未設定	8	—
24年度	10,000	14,481	144.81	10	23	230
25年度	11,000	14,408	130.9818	15	31	206.6667
26年度	12,000	15,750	131.25	20	36	180
27年度	3,000	4,390	146.3333	6	11	183.3333
28年度						
29年度	15,000			35		
①目標値の根拠	24年度以降は1,000人の目標を設定。			24年度以降は5校ずつ増加させる目標を設定。		
②数値で表せない効果	・主催事業の中で、広く市民に周知することができた。					

(大規模改造工事に伴う受け入れ停止のため)

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移

	①行政コスト(②+③) (千円)		②事業費 (千円)	③人件費 (千円)			④単位当たりの行政コスト (①行政コスト/成果指標1実績)	
	内訳 (千円)	平均給与 (千円)		人役 (%)				
H 22 決算			国県支出金				13,612	行政
	市債		技労	16,715	8,485	197		
	その他		嘱託	0				
	一般財源	36,252	臨時	3,375	1,500	225		
H 23 決算	国県支出金		16,126	行政	31,405		4,826	
	市債			技労	25,527	8,509		300
	その他			嘱託	0			
	一般財源	47,531		臨時	4,943	2,197		225
H 24 決算	国県支出金		17,325	行政	24,233		2,870	
	市債			技労	16,485	8,368		197
	その他			嘱託	0			
	一般財源	41,558		臨時	4,943	2,197		225
H 25 決算	国県支出金		15,002	行政	24,402		2,735	
	市債			技労	16,612	8,306		200
	その他			嘱託	0			
	一般財源	39,404		臨時	4,970	2,209		225
H 26 決算	国県支出金		14,676	行政	30,331		2,858	
	市債			技労	24,254	8,306		292
	その他			嘱託	0			
	一般財源	45,007		臨時	5,135	2,282		225
H 27 決算	国県支出金		5,457	行政	12,283		4,041	
	市債			技労	8,625	8,625		100
	その他			嘱託	0			
	一般財源	17,740		臨時	1,736	2,314		75
H 28 決算	国県支出金		4,770	行政	17,274			
	市債			技労	17,274	8,637		200
	その他			嘱託	0			
	一般財源	22,044		臨時	0	2,316		
H 29 予算	国県支出金		24,936	行政	35,109			
	市債			技労	24,435	8,145		300
	その他			嘱託	0			
	一般財源	60,045		臨時	9,488	2,372		400
	60,045			1,186	1,977	60		

⑤コスト削減の取組

使用しない施設や必要以上の電気は節約している。

4 1年目評価

(1) 1次評価（内部評価） ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

事務事業の評価	必要性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	○	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	水戸市少年自然の家条例及び同施行規則により事業を実施してきた。
		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	○	④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	宿泊学習等学校教育においても貴重な体験学習の機会となっている。また子ども会等でも、体験する場の提供は求められている。
		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	
	合計		評価結果	B
	2	点		
	有効性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	○	①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	成果指標2は、開所した昭和50年度からの数字がある。
	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-⑧有効性 ・2-成果指標		
○	③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標		
○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・2-成果指標	水戸市内の小中学校の児童生徒を対象としている。	
○	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-④事業の目的 ・2-成果指標	水戸市少年自然の家利用促進方策に基づき実施する。	
合計		評価結果	A	
4	点			
効率性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄	
	①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト		
○	②コスト削減への取組を実施している。	・3-⑤コスト削減の取組	使用しない施設や必要以上の電気は節約している。職員の勤務形態を工夫して事業を進めている。	
○	③市が実施する方が民間やNPOが実施するより効率的である。（又は、市が実施を義務付けられている。）	・1-⑩民間、NPOが実施した場合の効率性についての考察	料金を上げると小中学校の教育活動の利用に支障が出る	
○	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	市において宿泊施設は他にない。H23は、避難所として6ヶ月利用した。	
	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-④単位当たりの行政コスト		
合計		評価結果	A	
3	点			

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ, ウ
1 現状のまま継続 2 見直しの上で継続 ア 主体を代える（実施主体を代える） イ 手段を改善する（実施の手段を代える） ウ 効率化を図る（結果単位当たりのコストを下げる） エ 簡素化する（規模を縮小する） オ 統合する（類似事業を統合する） 3 休止、廃止			
②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。） 水戸市少年自然の家の利用促進方策に基づき、活動プログラムの開発を行い、また、学校等と連携しながら事業を継続する。			

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する。効率化を図る。）
評価する点、改善すべき点 本施設がその役割を果たしていくためには、魅力的な事業の品揃えと高度な安全性の確保が必要不可欠であり、水戸市少年自然の家の利用促進方策に基づく見直しなどの取組を引き続き進めていく必要がある。そのため、1次評価の「見直しの上で継続（手段を改善する。効率化を図る。）」は妥当である。 今後、県内の同様の施設等との競合も考えられることから、独自の強みを生かし、他にない当施設の差別優位性を明確にすべきである。そのためには、NPOや近隣施設等の外部の知恵や力を借りることが有効であると考えられる。 また、安全衛生管理など管理監督機能の強化を図るとともに、使用頻度の低い遊休施設・設備の有効活用など、市民サービスの向上と効率性の両立化に資するような手法を検討し、経営能力の向上を進めるべきである。 なお、担当課では少年以外までターゲットを広げようとしているが、本来の機能・役割を見失い、魅力や強みを低下させたり、コスト増につながるおそれがある。本来の役割にターゲットとコンセプトを絞り込み、青少年の社会性、自立心、道徳心の育成を深く追求するべきである。	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
少年自然の家は、自然環境の中で行う集団宿泊訓練、野外活動等を通じて、少年の健全な育成を図ることを目的とした施設である。 施設の利用者が減少していることから、今後の施設整備の検討と合わせ、魅力的な事業の展開による集客力の向上と安全性を高める管理運営機能の強化を図ることとし、「見直しの上で継続（手段を改善する）」とする。 なお、検討に当たっては、山根小学校跡地の利活用及び森林公園等との連携による地域活性化の視点を持って、他市の施設にない当施設の強みや目指すべき方向性を明確にするとともに、施設・設備の有効活用について配慮することとする。 また、行革プラン2010において民間活力の活用を検討する施設としているため、施設整備の方針決定後に、指定管理者制度や業務委託など、幅広い民間活力の活用について、検討を進めることとする。	

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。）

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	設置目的である青少年の健全育成に向けた新規プログラム開発と平日における宿泊学習の利用者数及び冬季(閑散期)における子ども会等の利用促進を図る。 また、他市の施設にない当施設の強みや目指すべき方向性を明確化するとともに、施設・設備の有効活用について検討する。あわせて、民間活力活用による管理運営手法の検討を行う。
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況          少年自然の家の設立の趣旨を踏まえ、教職員の会議やPTA・子ども会の指導者研修などについて積極的な誘致に努めるなど利用促進に努めてきた。その結果、小中学校の利用と合わせて、利用者は順調に増加している。また、専用ブログを3月に開設するなど、積極的な情報発信に努めるとともに、同時に複数団体の対応をすること、新規活動プログラムの開発協力(ペットボトルロケット等)などに、専門的な知識(社会教育主事)を持つボランティアに協力をお願いして、施設運営の活性化を図っている。          今年度は、耐震診断の実施があり、その結果を踏まえた施設整備方針も定め、その後に方針を踏まえた民間活力活用の検討をする必要がある。</p>
---

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)          少年自然の家の管理運営については、昨年度の評価を受け、利用促進、施設の強みや目指すべき方向性の明確化、施設・設備の有効活用の検討、民間活力活用による管理運営手法の検討を改善目標として掲げているところである。          このうち、利用促進については、青少年の健全育成に向けた新規プログラムの開発を実施したほか、学校やPTA、子ども会の誘致に努め、また、教育経験者のボランティア支援を得るなど効率的・効果的な運営に取り組んでいる。          しかし、施設の強みや目指すべき方向性の明確化が十分整理されていないほか、施設・設備の有効活用の検討や、民間活力活用の検討についても進んでいない。          このようなことから、さらなる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。          なお、今後は、施設を目指すべき方向性やコンセプトを早期に明確化したうえで、新規プログラムの開発に取り組むとともに、民間活力活用については、市が教育機関として担うべきソフト面と、施設運営というハード面を分けて検討する必要がある。また、改善が実施できない理由を安易に人員不足とすることなく、他の成功事例等を分析し、民間のノウハウを活用したプロモーションを実施するなどの工夫を行うべきである。          さらに、施設利用効果については、具体的事例や客観的な数値で説明ができるようにすべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)          少年自然の家の管理運営については、1年目改善目標として、利用促進、施設の強みや目指すべき方向性の明確化、施設・設備の有効活用の検討、民間活力活用による管理運営手法の検討を行うこととしている。          このうち、利用促進については、青少年の健全育成に向けた新規プログラムの開発を実施したほか、学校やPTA、子ども会の誘致に努め、また、教育経験者のボランティア支援を得るなど効率的・効果的な運営に取り組んでいる。          施設を再整備する方向で検討を進めている中において、施設の強み、目指すべき方向性の明確化、施設設備の有効活用、さらには、民間活力の活用について今後も検討を進める必要がある。          このようなことから、次年度も評価を継続するものとする。          なお、施設運営に当たっては、他の成功事例等の分析や民間のノウハウを活用したプロモーションの検討を行うこととする。</p>	

7 2年目改善目標(2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	<p>地域特性や立地資源、少年自然の家の特色や魅力を再検証するとともに、施設設備の有効活用や民間活力の活用について検討を進める。それらを踏まえ、少年の健全育成を目的とする教育施設として、新たな利用者層を拡大するための新規プログラムの開発や施設設備の充実に向けた施設整備方針を定め、「水戸市少年自然の家再整備方針」を策定する。          また、施設再整備までの間についても、引き続き、他の成功事例や広報手法を研究し、それらのノウハウを活用して少年自然の家の魅力を効果的にプロモーションすることで、より一層の利用促進を図るとともに、多くの子ども達に様々な体験活動を提供できるように努める。</p>
-----------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況  
 現在、大学との連携事業を活用し、特色ある主催事業及び活動プログラムの開発について、常磐大学が協力を受諾した。今後は、NPO法人や企業等との連携についても検討する。  
 また、本年度の秋には、山根地区の生徒が在籍する双葉台中学校の事業である「収穫祭」を少年自然の家で開催することになった。これにより、学校関係者だけでなく、地域住民との交流の場を設けるなど、地域との連携についても検討を進め、ソフトの充実を図っていく。  
 利用の多くは小中学校であるため、本年度から、夏休みを利用して、教員を対象にした宿泊学習の研修を開催することにより、自然体験活動の意義や手法を習得させると共に、児童生徒の生きる力を育むために有効な活動内容を検証する場とする。  
 これらを踏まえた事業の充実が図れるよう、総合的観点から施設設備の有効活用についての方針を策定し、再整備を進める。  
 再整備後の施設の有効な運用方法や立地資源を生かした特色あるソフトの開発については、上記のことを取込みながら、現在の利用促進方策を見直した、新たな利用促進方策を策定する上で一層の充実を図る。  
 また、本年度に県内の類似施設を訪問し、ノウハウの研究をしてきたが、引き続き近隣県の成功例や運用方法の取得に努める。

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)                      少年自然の家の管理運営については、2年目評価を受け、少年自然の家の特色や魅力の再検証や施設整備の有効活用の検討、民間活力の活用の検討、新規プログラムの開発、水戸市少年自然の家再整備方針の策定、効果的なプロモーション、子ども達に様々な体験活動を提供することを改善目標として掲げているところである。                      このうち、今秋に収穫祭の開催を予定するなど子ども達への体験活動の場の提供にも努めており、この点については評価終了とする。                      しかし、新規プログラムの開発については、常磐大学と共同開発をしているところであり、また、少年自然の家の特色や魅力の再検証、施設設備の有効活用の検討、民間活力活用の検討、水戸市少年自然の家再整備方針の策定、効果的なプロモーションについては進んでいないことから、さらなる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。                      なお、施設を目指すべき方向性を早期に明確化するべきである。民間活力活用についても、市が教育機関として担うべきソフト面と、施設運営というハード面を分けて検討する必要がある。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)                      少年自然の家の管理運営については、少年自然の家の特色や魅力の再検証や施設整備の有効活用の検討、民間活力の活用の検討、新規プログラムの開発、水戸市少年自然の家再整備方針の策定、効果的なプロモーション、子ども達に様々な体験活動を提供することを2年目改善目標としている。                      このうち、収穫祭の開催するなど子ども達への体験活動の場の提供にも努めるほか、水戸市少年自然の家再整備方針を策定しており、この点については評価終了とする。                      しかし、新規プログラムの開発については、常磐大学と共同開発をしているところであり、また、少年自然の家の特色や魅力の再検証、施設設備の有効活用の検討、民間活力活用の検討、効果的なプロモーションについては進んでいないことから、検討が必要である。                      このようなことから、次年度も評価を継続することとする。                      なお、施設を目指すべき方向性を早期に明確化するとともに、民間活力活用についても、市が教育機関として担うべきソフト面と、施設運営というハード面を分けて検討することとする。</p>	

9 3年目改善目標(3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

<p>改善目標 (又は休止、廃止の方向性)</p>	<p>平成27年度策定予定の「利用促進方策(第2期)」の策定に併せて、地域特性や立地資源、少年自然の家の特色や魅力を再検証するとともに、施設設備の有効活用、民間活力の活用、大学等とのプログラムの共同開発などソフト事業の充実及び効果的なプロモーション手法についての検討を行う。</p>
-------------------------------	---



10 4年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況  
 施設は、宿泊棟及び管理棟の耐震補強や設備工事、食堂棟の改築等、平成27年度から平成28年度の期間中に大規模改築事業を実施するため、工事期間中は閉鎖する。この間、リニューアルに向けて、新規プログラムの開発を常磐大学との共同開発により取り組んでおり、今後は、企業やNPO法人等との連携を進めるとともに、少年自然の家の特色や魅力を生かすため、地域のにぎわい創出等も視野に入れた地域との連携事業を検討する。さらに、元教員等によるボランティア支援の拡充や自然体験活動指導できる専門的知識を有する人材の確保についての検討を進める。  
 また、民間のノウハウを活用したプロモーション等の検討については、県内の類似施設を所管している自治体に対し、調査を実施しているところである。  
 これらを踏まえ、庁内や関係機関と十分な協議・調整を進め、ソフト・ハードの両面から施設の有効活用や民間活力の活用方法について、利用促進方策(第2次)を策定するうえで自然の家のこれからの方向性等を明確にしていく。

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)                      少年自然の家の管理運営については、3年目評価を受け、平成27年度策定予定の「利用促進方策(第2期)」の策定に併せて、地域特性や立地資源、少年自然の家の特色や魅力の再検証、施設設備の有効活用、民間活力の活用、大学等とのプログラム共同開発などソフト事業の充実及び効果的なプロモーション手法についての検討を改善目標として掲げているところである。                      この施設はリニューアルするため、平成27年度から平成28年度までの期間に大規模改築を実施するため閉鎖している。これらの改善目標については、現在策定中の「第2次水戸市少年自然の家利用促進方策」の中で検討を進めることとし、未実施であることから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)                      少年自然の家の管理運営については、平成27年度策定予定の「利用促進方策(第2期)」の策定に併せて、地域特性や立地資源、少年自然の家の特色や魅力の再検証、施設設備の有効活用、民間活力の活用、大学等とのプログラムの共同開発などソフト事業の充実及び効果的なプロモーション手法についての検討を3年目改善目標としている。                      しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、この施設はリニューアルするため、平成27年度から平成28年度まで閉鎖しており、これらの改善目標については、現在策定中の「第2次水戸市少年自然の家利用促進方策」の中で検討を進めることとする。                      このようなことから、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

11 4年目改善目標(4年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

<p>改善目標 (又は休止、廃止の方向性)</p>	<p>地域特性や立地資源、少年自然の家の特色や魅力の再検証、施設設備の有効活用及び民間活力の活用については、「第2次水戸市少年自然の家利用促進方策」の策定に併せて検討を行う。                      大学等とのプログラムの共同開発などソフト事業の充実及び効果的なプロモーション手法については、個別に検討を行う。</p>
-------------------------------	--

## 12 5年目評価(進行管理)

### (1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況  
 昨年度から管理棟、宿泊棟、食堂棟を閉鎖し、耐震補強及び大規模改造工事を実施している。さらに年度内に多目的ホール、創作のやかた、飯ごう場の改修工事を行うなど、平成29年4月には、ほぼ全ての施設がリニューアルされる予定である。  
 来年度のオープンに向けて、今年度から教員経験を有する社会教育主事を配置することにより、常磐大学、NPO法人、企業といった民間との連携を強化し、学校教育に関する知見の活用や主たる利用者である児童生徒、教員にとって利用しやすい機能的な施設、魅力的なプログラムの開発を進めているところである。  
 今後、新たな施設や設備の有効活用に加えて、地域特性や立地資源など、少年自然の家の特色や魅力、効果的なプロモーション手段など、施設の一層の利用促進に向けた施策の推進を図る必要があることから、民間活力活用の検討も含め、利用促進方策(第2次)の策定を進めながら、取組の方向性を示していくこととしている。

### (2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)                  少年自然の家の管理運営については、昨年度の評価を受け、平成27年度策定予定の「第2次水戸市少年自然の家利用促進方策」の策定に併せて、地域特性や立地資源、少年自然の家の特色や魅力の再検証、施設設備の有効活用、民間活力の活用、大学等とのプログラムの共同開発などソフト事業の充実及び効果的なプロモーション手法についての検討を改善目標として掲げているところである。                  これらの改善目標については、現在策定中の「第2次水戸市少年自然の家利用促進方策」の中で検討を進めることとしており、未実施であることから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

### (3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)                  少年自然の家の管理運営については、平成27年度策定予定の「第2次水戸市少年自然の家利用促進方策」の策定に併せて、地域特性や立地資源、少年自然の家の特色や魅力の再検証、施設設備の有効活用、民間活力の活用、大学等とのプログラムの共同開発などソフト事業の充実及び効果的なプロモーション手法についての検討を5年目改善目標としている。                  行政評価委員会からの意見にあるとおり、これらの改善目標については、現在策定中の「第2次水戸市少年自然の家利用促進方策」の中で検討を進めることとしており、今後、取組の方向性を明らかにする必要があるため、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

## 13 5年目改善目標(5年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	<p>平成29年4月のリニューアルオープンに向けて、利用校等の拡大、関係団体との連携強化、現代的な教育課題への対応、山根地区の自然を生かした運営という観点から、民間委託等の民間活力活用も含め、新たな施設や設備の有効活用や利用促進に向けた取組を進めており、更なる検討が必要である。                  今後、地域特性や立地資源など、少年自然の家の特色や魅力の再検証を行いながら、取組の方向性や一層の推進策を明らかにしていくとともに、ソフト事業の充実や効果的なプロモーション手法など、有効活用や利用促進に向けた更なる検討を進めていくこととする。</p>
-----------------------	---

## 14 6年目評価(進行管理)

### (1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況  
 平成28年度において新たな利用促進方策を策定し、山根地区の自然や近隣施設を活用した特色ある事業の展開、周知範囲・対象の拡充、地元大学との連携による特色ある研修プログラムの開発など、ソフト事業の充実に向けた方向性を示した。また、民間活力の活用については、給食事業について、プロポーザルによる業者選定を行い、事業者とともに、地産地消による食事の提供も含めた食育事業の展開を図ることとしている。施設の管理運営については、大幅な機能増進を図った施設において、利用促進方策に示す様々な試みを実践し、当面は直営とすることとした。  
 なお、市内小・中学校における校外学習活動の場として、教育委員会内部と学校長会の連携強化により、市内小・中学校の利用予約を受けていることをはじめ、関係機関・団体や県内外への周知により、平成29年6月時点において18,000人を超える利用が見込まれている。今後も利用促進方策の推進により更なる利用増加が見込める状況である。

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)	

15 6年目改善目標 (5年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--



(別紙1)

## 行政コスト内訳(事業費)

	金額(円)					増減(28-27年度)	増減理由
	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算		
維持管理費	17,074,344	14,831,586	14,467,518	5,456,827	4,769,647	-687,180	
清掃委託料	1,491,000	1,707,300	1,756,080	243,000	50,544	-243,000	大規模改造工事の実施により受入れを停止していたため (H27.7からH28.3)
警備委託料	49,140	49,140	50,544			117,000	
樹木管理等委託料	1,260,000	1,260,000	1,296,000			1,296,000	
浄化槽管理委託料	493,500	493,500	507,600	502,200	496,800	-5,400	
消防用設備保守点検委託料	148,050	148,050	152,280			207,000	
自家用電気工作物点検委託料	153,631	143,274	118,800	118,800	106,920	-11,880	
害虫防除委託料	126,000	147,000	151,200	30,240		-30,240	"
地下タンク清掃漏洩検査委託料			320,760				
ボイラー保守点検委託料	210,000	210,000	167,400			778,000	
受水槽高梁水槽清掃委託料	161,700	161,700	166,320			292,000	
堂火場排風機清掃委託料	52,500	52,500	54,000	54,000		-54,000	"
ばい煙測定委託料	80,325	80,325	82,620			126,000	
連絡通路ガラス清掃委託料					432,000	432,000	大規模改造後のリニューアルオープンに向けて清掃委託を実施したため
浴室用ろ過装置保守委託料						370,000	
浄化槽汚泥引き抜き委託料						95,000	
ごみ収集業務委託料						200,000	
消耗品費	761,567	403,365	312,907	113,919	152,966	376,000	39,047
燃料費	1,650,739	1,642,500	1,792,261	230,096	207,660	1,589,000	-22,436
印刷製本費							
光熱水費	3,194,033	3,621,585	4,009,881	2,288,992	2,096,635	8,802,000	-192,357
修繕費	4,047,246	1,995,504	823,802	208,741	133,326	160,000	-75,415
通信運搬費	413,454	183,991	158,762	124,572	156,483	110,000	31,911
手数料	66,400	66,400	67,840	41,920	16,000	68,000	-25,920
火災保険料	68,850	68,850	68,850	68,850	68,850	69,000	
自動車損害保険料	43,587	73,037	46,667	73,037	46,667	74,000	-26,370
使用料及び賃借料	1,788,990	1,522,788	1,560,469	413,924	29,604	3,868,000	-384,320
借地料	747,092	747,092	747,092	747,092	747,092	748,000	
原材料費	44,940	33,285	43,783				
備品購入費							
負担金	15,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
公課費	6,600	15,400	6,600	15,400	6,600	16,000	-8,800
報償費				126,500	16,500		-110,000
							大規模改造工事の実施により主催事業を縮小したため

	金額(円)						増減(28-27年度)	増減理由
	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算		
事業費	251,600	169,542	207,773			1,984,000		
○振興関係経費								
旅費	71,320							
消耗品費	40,320							
食料費	3,000							
通信運搬費	28,000							
○行事関係経費	180,280	169,542	207,773			1,666,000		
報償金	141,000	145,500	163,000			432,000		
消耗品費	35,280	20,042	31,943			488,000		
印刷製本費			8,878			10,000		
通信運搬費	4,000	4,000	3,952			74,000		
手数料						26,000		
○移動天文車関係経費						318,000		
消耗品費						50,000		
燃料費						36,000		
修繕費						140,000		
自動車損害保険料						57,000		
公課費						35,000		
合計	17,325,944	15,001,128	14,675,291	5,456,827	4,769,647	24,936,000	-687,180	



人役積算参考資料

	大平	宮田	川又	福田	坂本	安藤	中川	臨時
維持管理	70	40	70	50	20	20	20	30
行事関係	25	55	30	50	80	80	20	30
移動天文	5	5					60	
合計	100	100	100	100	100	100	100	60

(参考) 臨時=146日/244日÷0.6